

「第二次湖南省総合計画」策定に係る  
まちづくりアンケート調査

# 調査報告

平成 27 年 1 月

湖南省

# 【 目 次 】

## 第1部 調査の概要

1. 調査対象	2
2. 調査方法	2
3. 調査基準日	2
4. 調査期間	2
5. 回収率	2

## 第2部 調査結果の概要

1. 回答者の属性	4
(一般)	
(中学生)	
2. 住みごころ	6
1) 住みごころ	6
(一般) 湖南省が住みやすいかどうか	
(中学生) 湖南省が好きかどうか	
2) 住みごころの理由	11
(一般) 住みやすい理由	
(中学生) 好きな理由	
(一般) 住みにくい理由	
(中学生) 好きでない理由	
3. まちの将来像	25
1) 将来の湖南省のイメージ	25
(一般) イメージする言葉	
(中学生) イメージする言葉	
2) どんなまちにしたいか	32
(一般) どんなまちにしたいか	
(中学生) どんなまちにしたいか	
(比較) どんなまちにしたいか	

4. まちづくりへの市民参加 -----	41
1) まちづくりで市民が参加できること (一 般) -----	41
2) まちづくりで自分が参加できること -----	44
(一 般) 自分が参加できること	
(中学生) 自分が参加できること	
5. 今後のまちづくりに必要なこと -----	50
1) 人権尊重のまちづくり (一 般) -----	50
2) 自立・自助のまちづくり (一 般) -----	53
3) 自然を活かし、自然と共生するまちづくり (一 般) -----	57
4) 生活基盤の整った暮らしやすいまちづくり (一 般) -----	61
5) 産業がさかんで賑わいのあるまちづくり (一 般) -----	65
6) 健康で暮らし続けられるまちづくり (一 般) -----	69
7) 互いに支え合うまちづくり (一 般) -----	72
8) 安全で安心なまちづくり (一 般) -----	75
9) 誇りとなる市民文化を創造するまちづくり (一 般) -----	78
10) 行政サービスの水準と市民負担の関係 (一 般) -----	81
11) 効率的・効果的な行財政システムづくり (一 般) -----	83
12) 公共施設の再編 (一 般) -----	86
6. これまでのまちづくり -----	88
1) これまでのまちづくりについて評価できる取り組み (一 般) -----	88
7. 湖南市の土地利用について -----	91
1) 土地利用の方針 (一 般) -----	91
2) 拠点となる各市街地の整備のあり方 (一 般) -----	95
8. 自由意見 -----	99
(一 般)	
(中学生)	

# 第1部 調査の概要

## 1. 調査対象

一般市民：市内に在住する16歳以上の住民4,000人を無作為抽出

中学生：市内の中学校に在籍する中学2年生および3年生1,084人

## 2. 調査方法

一般市民：郵送による配布・回収

中学生：教員による直接配布・回収

## 3. 調査基準日

平成26年（2014年）10月1日

## 4. 調査期間

平成26年10月30日から平成26年11月22日まで

## 5. 回収率

	配 布 数	有 効 回 答 数	回 収 率
一 般 市 民	4,000	1,558	39.0%
中 学 生	1,084	961	88.7%

## 第2部 調査結果の概要

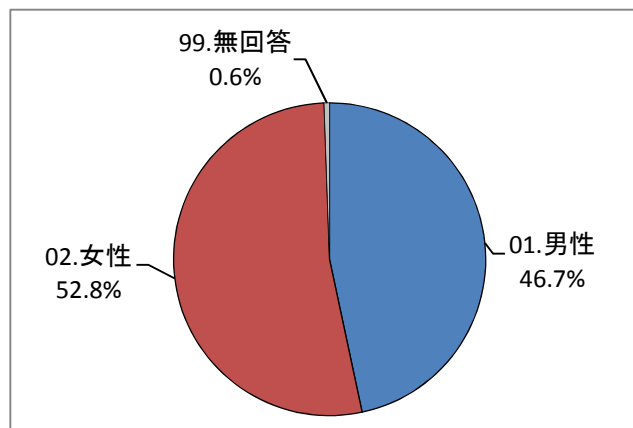
# 1. 回答者の属性

## 一般

### ◆あなたの性別（1つ選択）

#### ◆回答者の性別

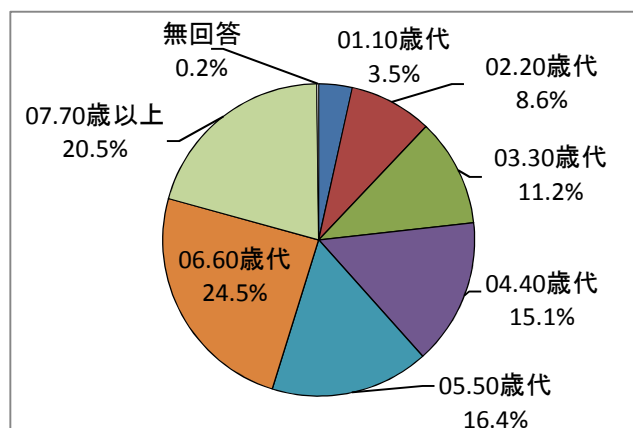
性別	回収数	構成比
01. 男性	727	46.7%
02. 女性	822	52.8%
99. 無回答	9	0.6%
合計	1,558	100.0%



### ◆あなたの年齢（1つ選択）

#### ◆回答者の年齢

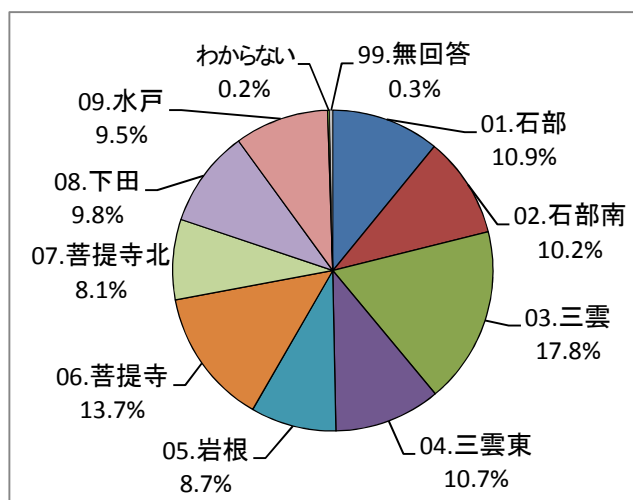
年齢別	回収数	構成比
01. 10歳代	54	3.5%
02. 20歳代	134	8.6%
03. 30歳代	174	11.2%
04. 40歳代	236	15.1%
05. 50歳代	256	16.4%
06. 60歳代	381	24.5%
07. 70歳以上	320	20.5%
99. 無回答	3	0.2%
合計	1,558	100.0%



### ◆あなたのお住まいの地域（1つ選択）

#### ◆回答者の居住地

地区別	回収数	構成比
01. 石部小学校区	170	10.9%
02. 石部南小学校区	159	10.2%
03. 三雲小学校区	278	17.8%
04. 三雲東小学校区	167	10.7%
05. 岩根小学校区	135	8.7%
06. 菩提寺小学校区	214	13.7%
07. 菩提寺北小学校区	126	8.1%
08. 下田小学校区	153	9.8%
09. 水戸小学校区	148	9.5%
10. わからない	3	0.2%
99. 無回答	5	0.3%
合計	1,558	100.0%

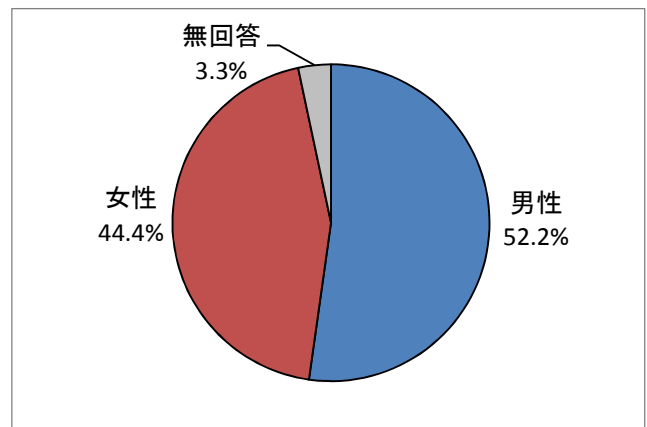


## 中学生

### ◆あなたの性別（1つ選択）

#### ◆回答者の性別

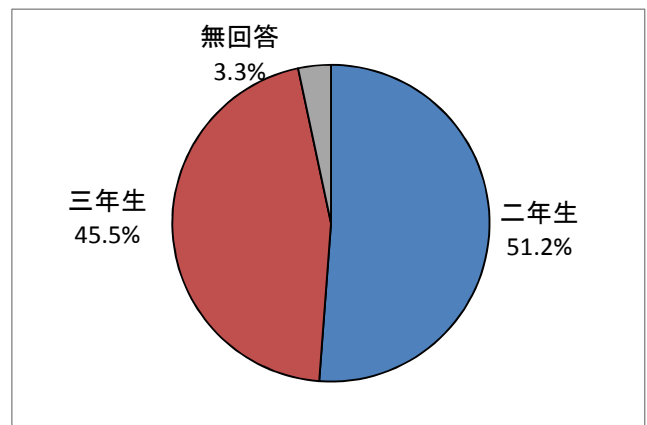
性別	回収数	構成比
01. 男性	502	52.2%
02. 女性	427	44.4%
99. 無回答	32	3.3%
合計	961	100.0%



### ◆あなたの学年（1つ選択）

#### ◆回答者の学年

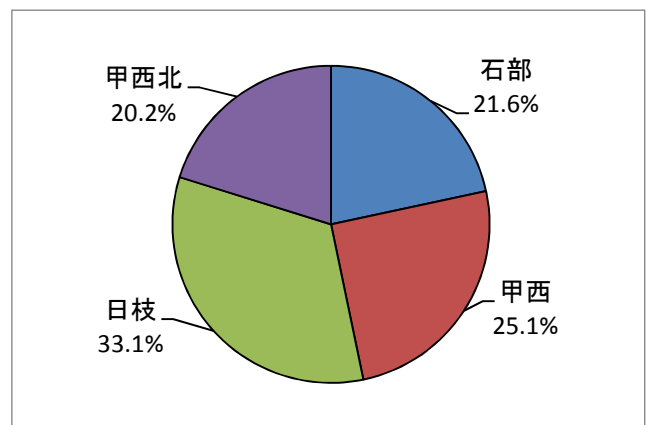
学年	回収数	構成比
01. 二年生	492	51.2%
02. 三年生	437	45.5%
99. 無回答	32	3.3%
合計	961	100.0%



### ◆あなたの中学校名

#### ◆回答者の中学校

学年	回収数	構成比
01. 石部中学校	208	21.6%
02. 甲西中学校	241	25.1%
03. 日枝中学校	318	33.1%
04. 甲西北中学校	194	20.2%
合計	961	100.0%





## 2. 住みごち

### 1) 住みごち

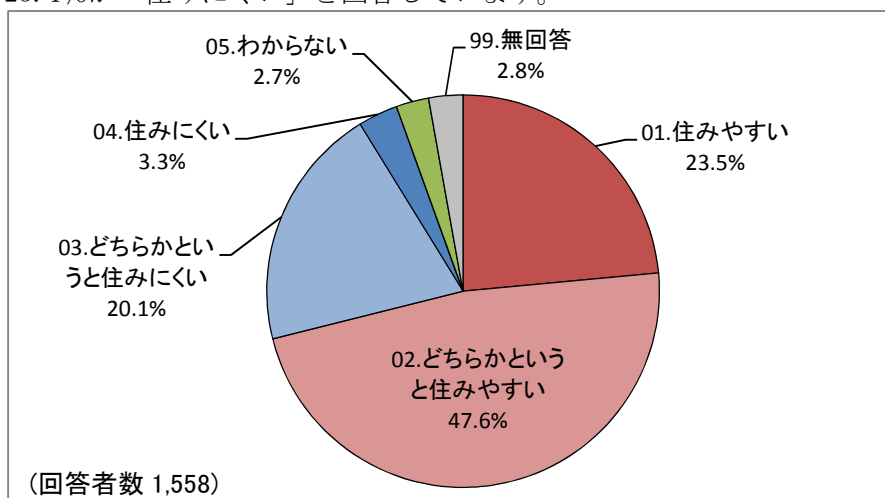
一般 湖南省が住みやすいかどうか

問1：湖南省は、住みやすいと思いますか。（1つ選択）

#### (1) 全体の傾向

現在の住みごちに対する評価は、「01.住みやすい」が23.5%、「02.どちらかという住みやすい」が47.6%で、合わせると回答者の71.1%が「住みやすい」と回答しています。

一方、「03.どちらかという住みにくい」が20.1%、「04.住みにくい」が3.3%で、合わせると回答者の23.4%が「住みにくい」と回答しています。



小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

#### (2) 年齢別の傾向

60歳代で「01.住みやすい」、「02.どちらかという住みやすい」の合計が最も多く、回答者の75.9%が「住みやすい」と回答しています。次いで30歳代(72.5%)、70歳以上(71.9%)、10歳代(70.4%)の順となっています。

一方、50歳代で「03.どちらかという住みにくい」、「04.住みにくい」の合計が最も多く、回答者の29.3%が「住みにくい」と回答しています。

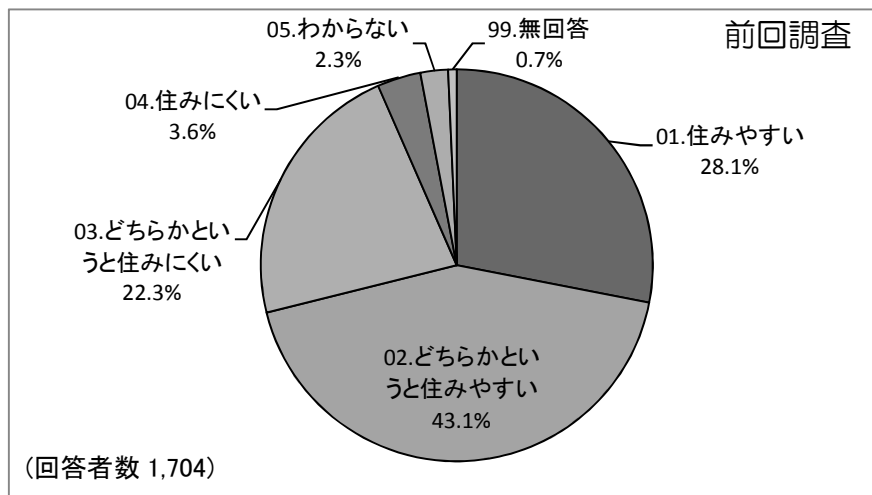
#### (3) 居住地区別の傾向

三雲で「01.住みやすい」、「02.どちらかという住みやすい」の合計が最も多く、回答者の77.0%が「住みやすい」と回答しています。次いで、石部南(74.2%)、岩根(74.1%)の順となっています。

一方、下田で「03.どちらかという住みにくい」、「04.住みにくい」の合計が最も多く、回答者の34.0%が「住みにくい」と回答しています。

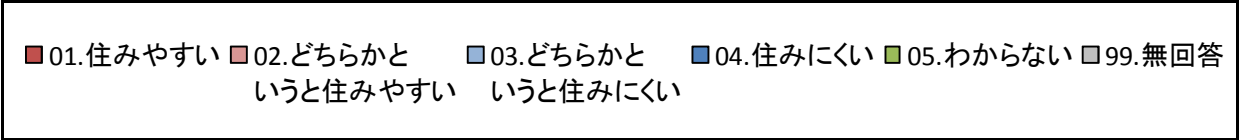
#### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

前回の調査と比較し、大きな相違はありませんが、今回の調査では「01. 住みやすい」と回答した割合が低くなり、「02. どちらかという住みやすい」が高くなっており、合計が変わらない状況です。



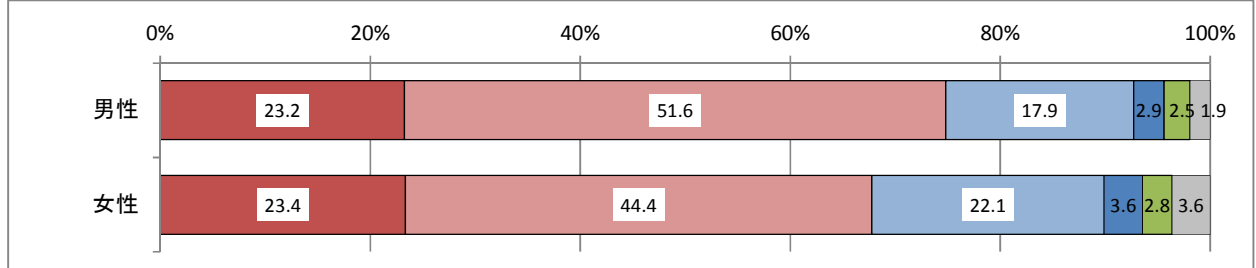
小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

凡例

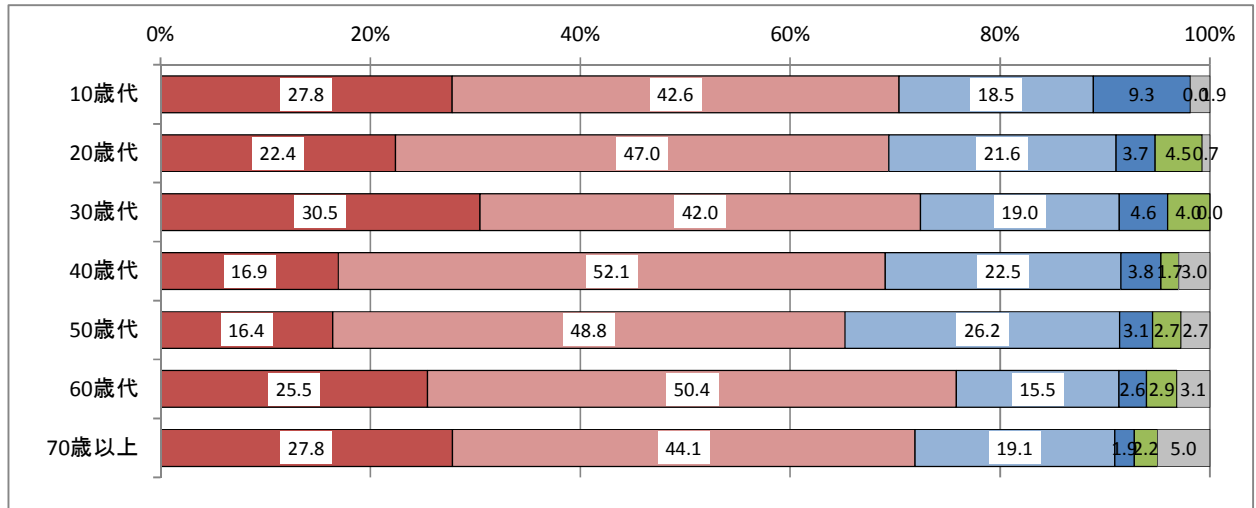


小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

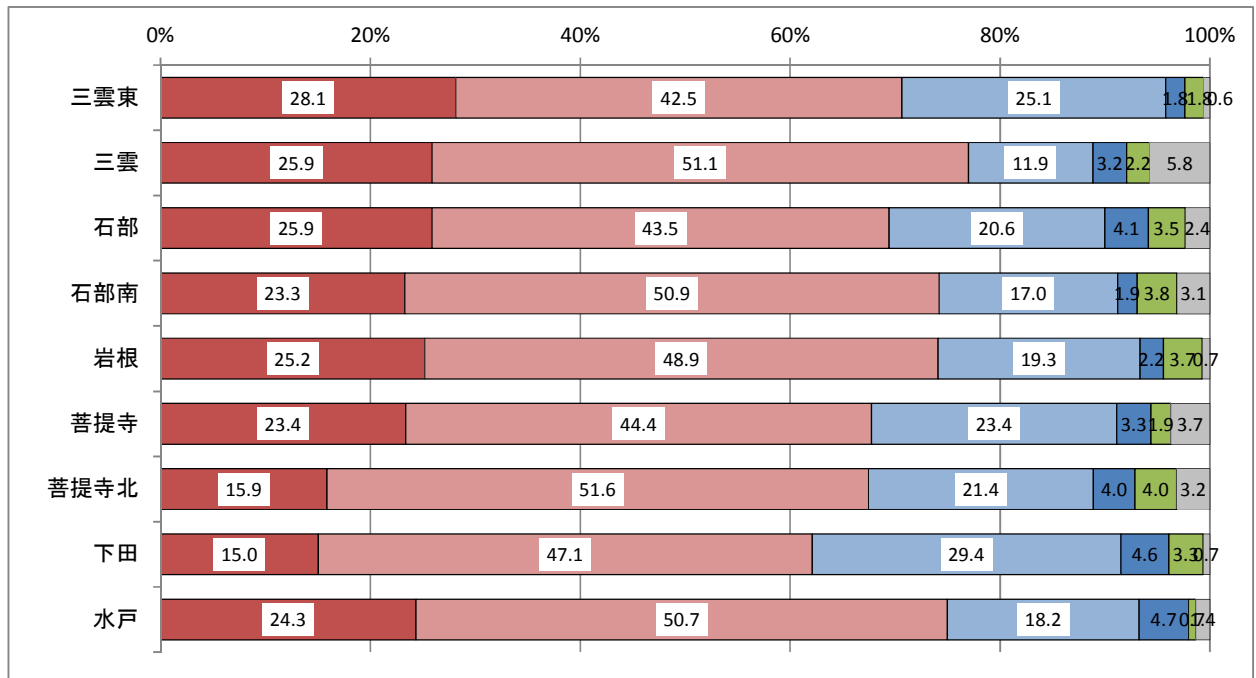
性別



年齢別



居住地区別

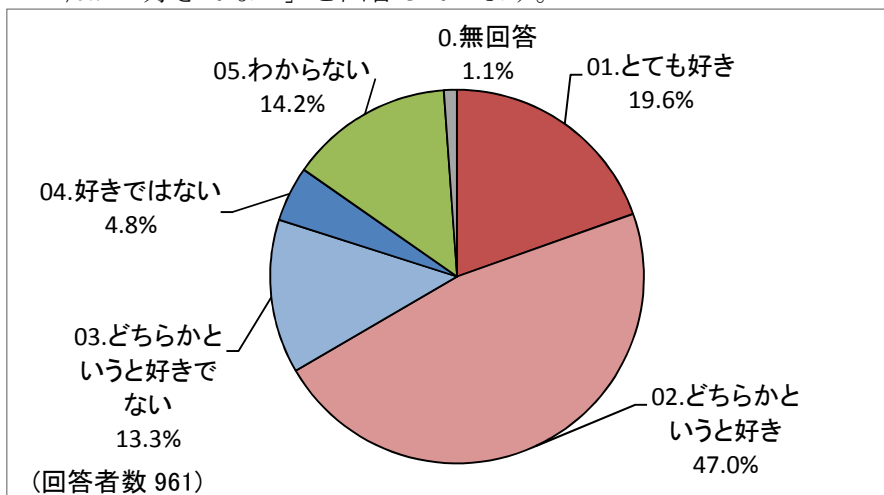


問1：あなたは、今住んでいる湖南省が好きですか。(1つ選択)

(1) 全体の傾向

湖南省が好きかどうかについては、「01. とても好き」が19.6%、「02. どちらかというとき好き」が47.0%で、合わせると回答者の66.6%が「好き」と回答しています。

一方、「03. どちらかというとき好きでない」が13.3%、「04. 好きでない」が4.8%で、合わせると回答者の18.1%が「好きでない」と回答しています。



小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

(2) 性別の傾向

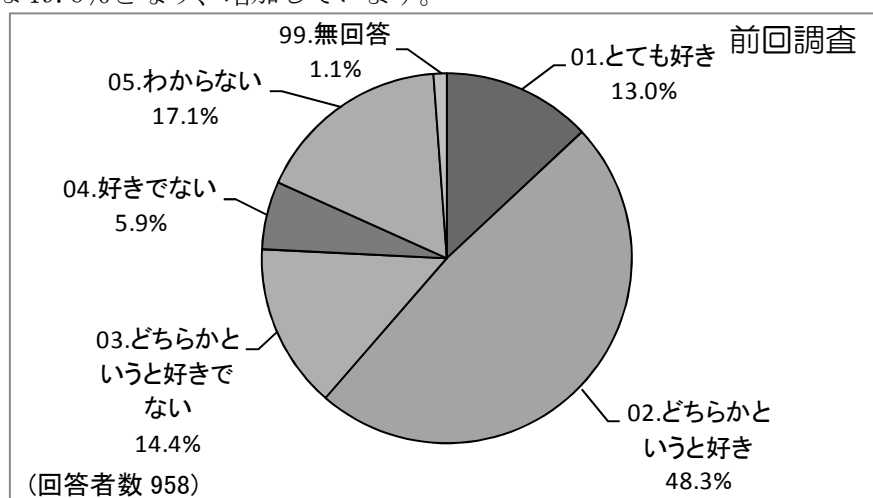
男性は「01. とても好き」を、女性は「02. どちらかというとき好き」を選択する割合が高くなっています。

(3) 中学校別の傾向

中学校別では、「01. とても好き」、「02. どちらかというとき好き」の合計が、甲西北で最も多く、70.4%の生徒が「好き」と回答しています。また、甲西・石部・日枝においても60%を超える生徒が「好き」と回答しています。

#### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

前回の調査と同様の傾向にありますが、前回は「01. とても好き」が 13.0%であったのに対し、今回調査では 19.6%となり、増加しています。



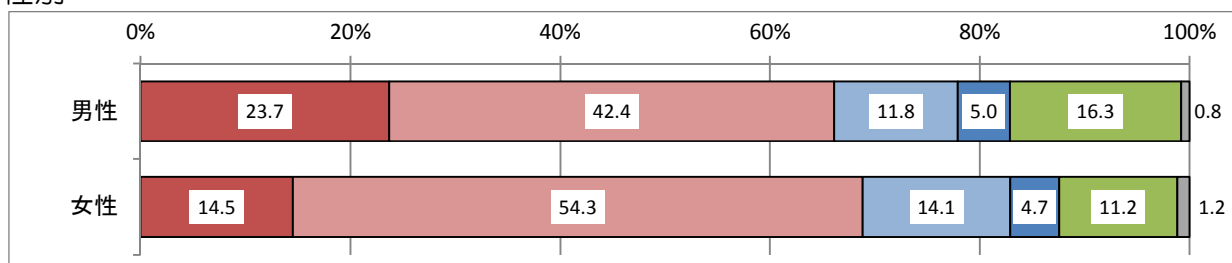
小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

#### 凡例

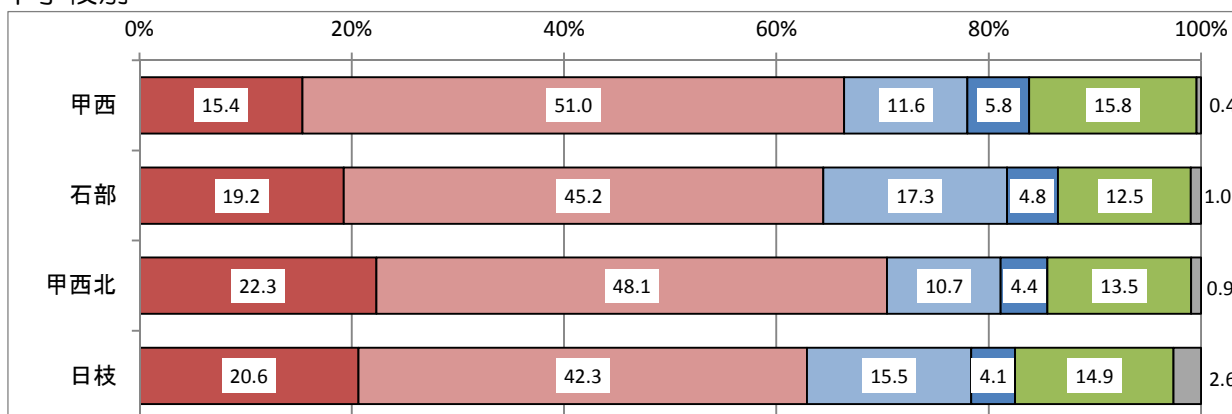
- 01. とても好き
- 02. どちらかという人喜欢い
- 03. どちらかという人喜欢くない
- 04. 好きでない
- 05. わからない
- 99. 無回答

小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

#### 性別



#### 中学校別



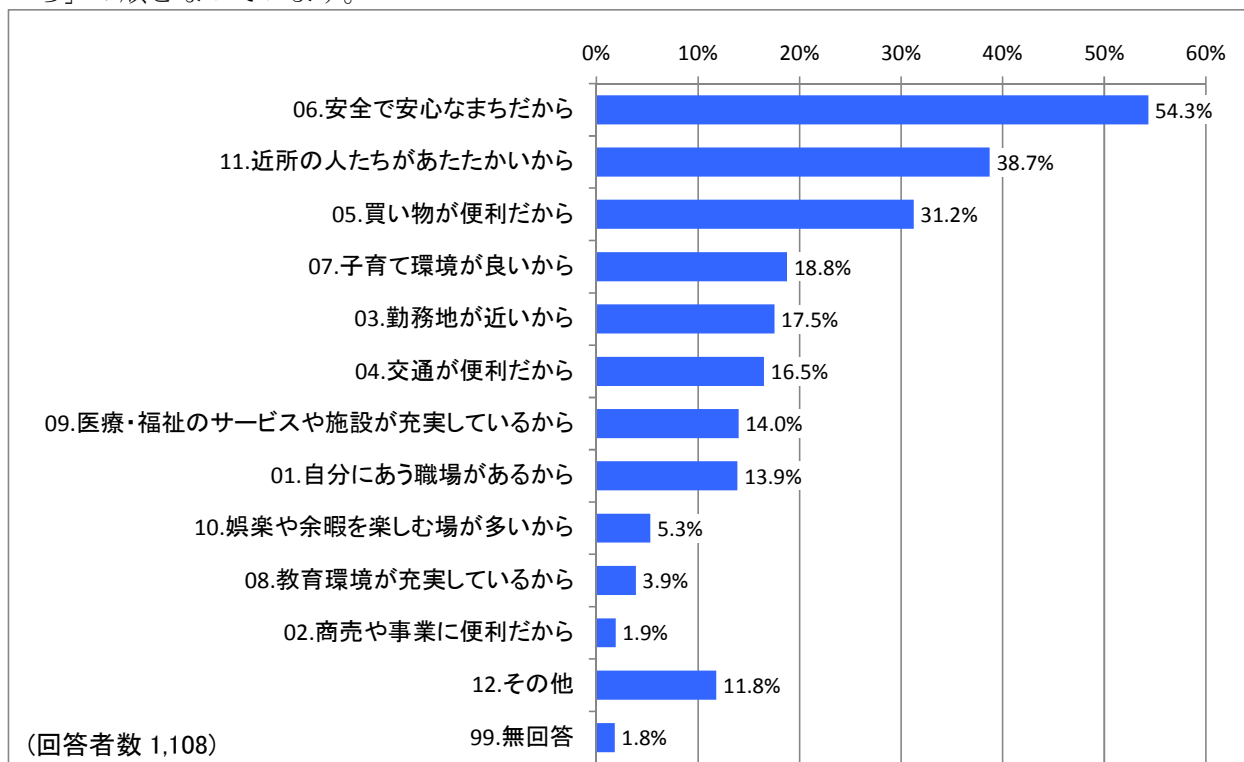
## 2) 住みごこちの理由

### 一般 住みやすい理由

問2：問1で、「01.住みやすい」、「02.どちらかというに住みやすい」を選んだ方にお聞きします。住みやすいと思う主な理由は何ですか。（3つまで選択）

#### (1) 全体の傾向

「住みやすい」とした方の選択理由は、「06.安全・安心なまちだから」が最も多く、回答者の54.3%が選択しています。次いで「11.近所の人たちがあたたかいから」、「05.買い物が便利だから」の順となっています。



#### (2) 性別の傾向

男性は「03.勤務地が近いから」を、女性は「11.近所の人たちがあたたかいから」を選択する割合が高くなっています。

#### (3) 年齢別の傾向

全ての年齢において「06.安全で安心なまちだから」が最も多くなっており、10歳代と60歳以上では60%を超えています。また、10歳代と60歳以上は「11.近所の人たちがあたたかいから」を選択する割合が高くなっています。

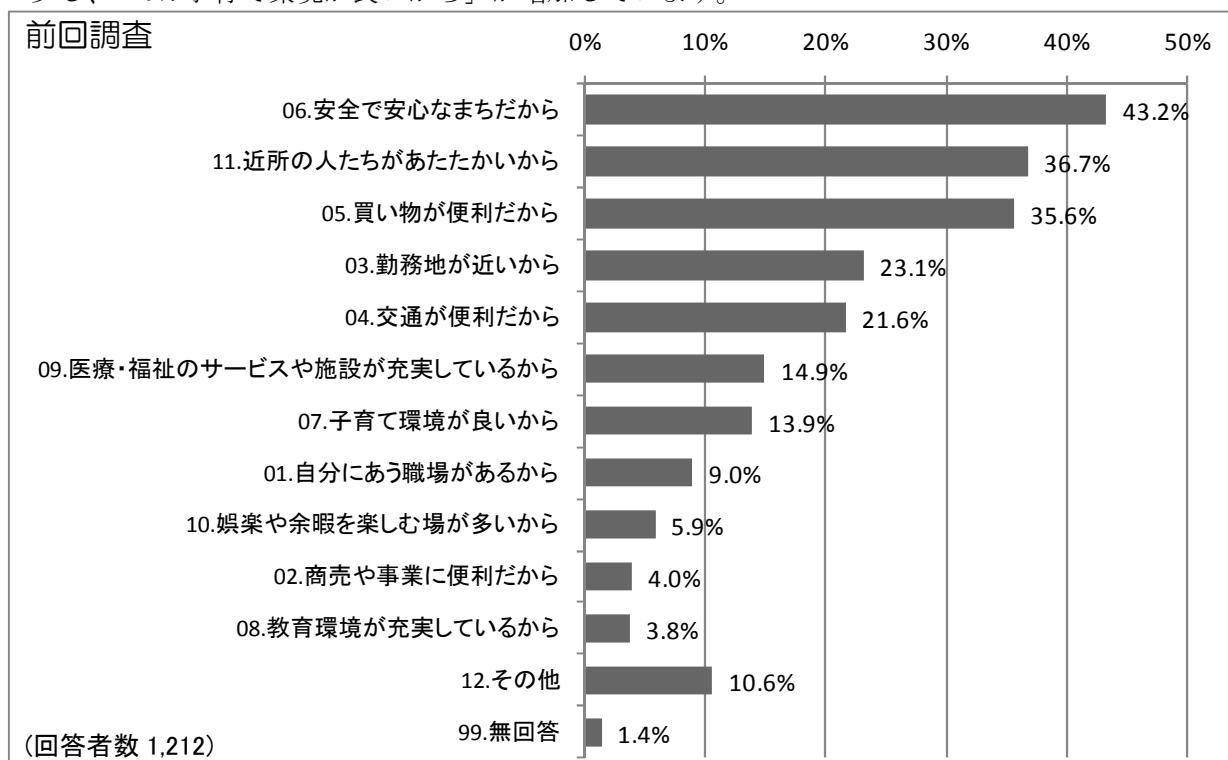
#### (4) 居住地区別の傾向

石部を除く全ての地区で「06. 安全で安心なまちだから」が最も多く、特に菩提寺では、「06. 安全で安心なまちだから」が60%を超えています。石部では「05. 買い物が便利だから」が最も多くなっています。特に、「05. 買い物が便利だから」を選択する割合が、石部では50%を超える一方、菩提寺・下田では20%以下となり、地域差が見られます。

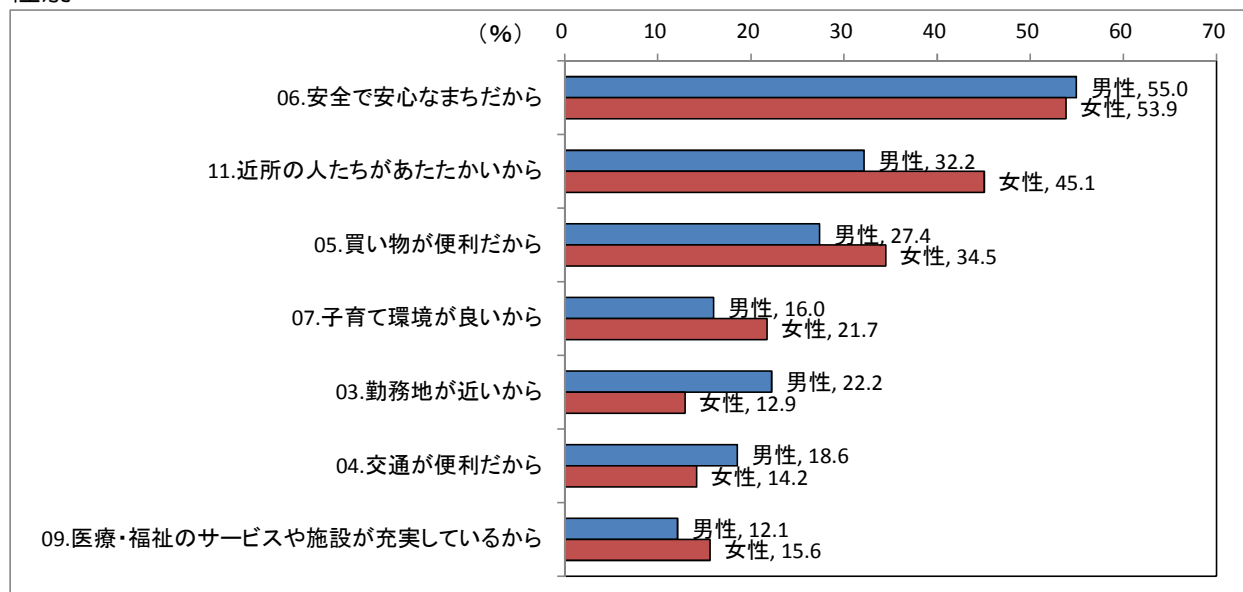
#### (5) 前回調査報告（平成22年4月）との比較

前回の調査と比べ、選択される割合の高い上位3番目までの順位に変動はありませんが、「06. 安全で安心なまちだから」を選択する割合が大きく増加しています。

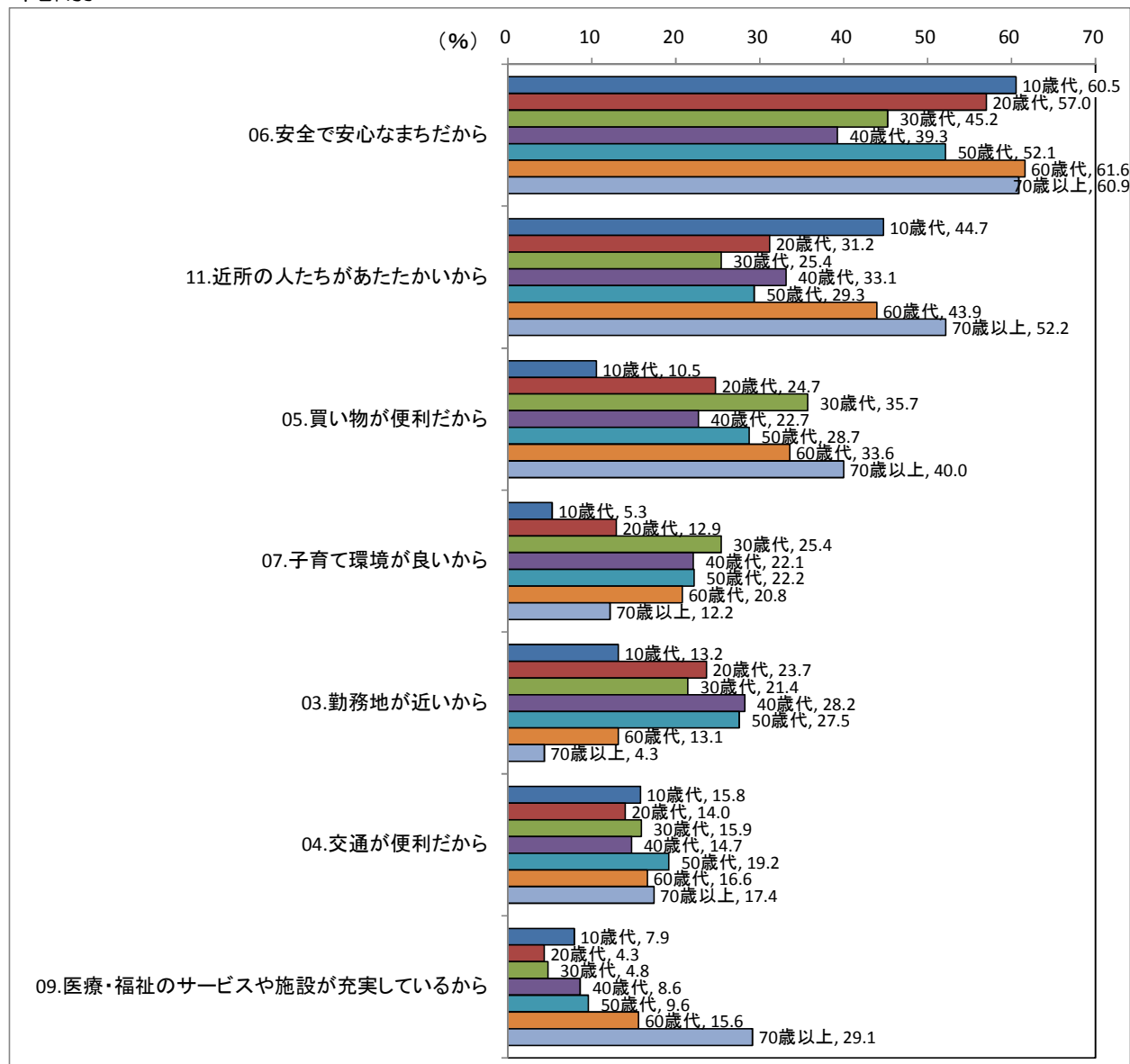
また、「03. 勤務地が近いから」、「04. 交通が便利だから」を選択する割合が前回調査と比べ減少し、「07. 子育て環境が良いから」が増加しています。



## 性別



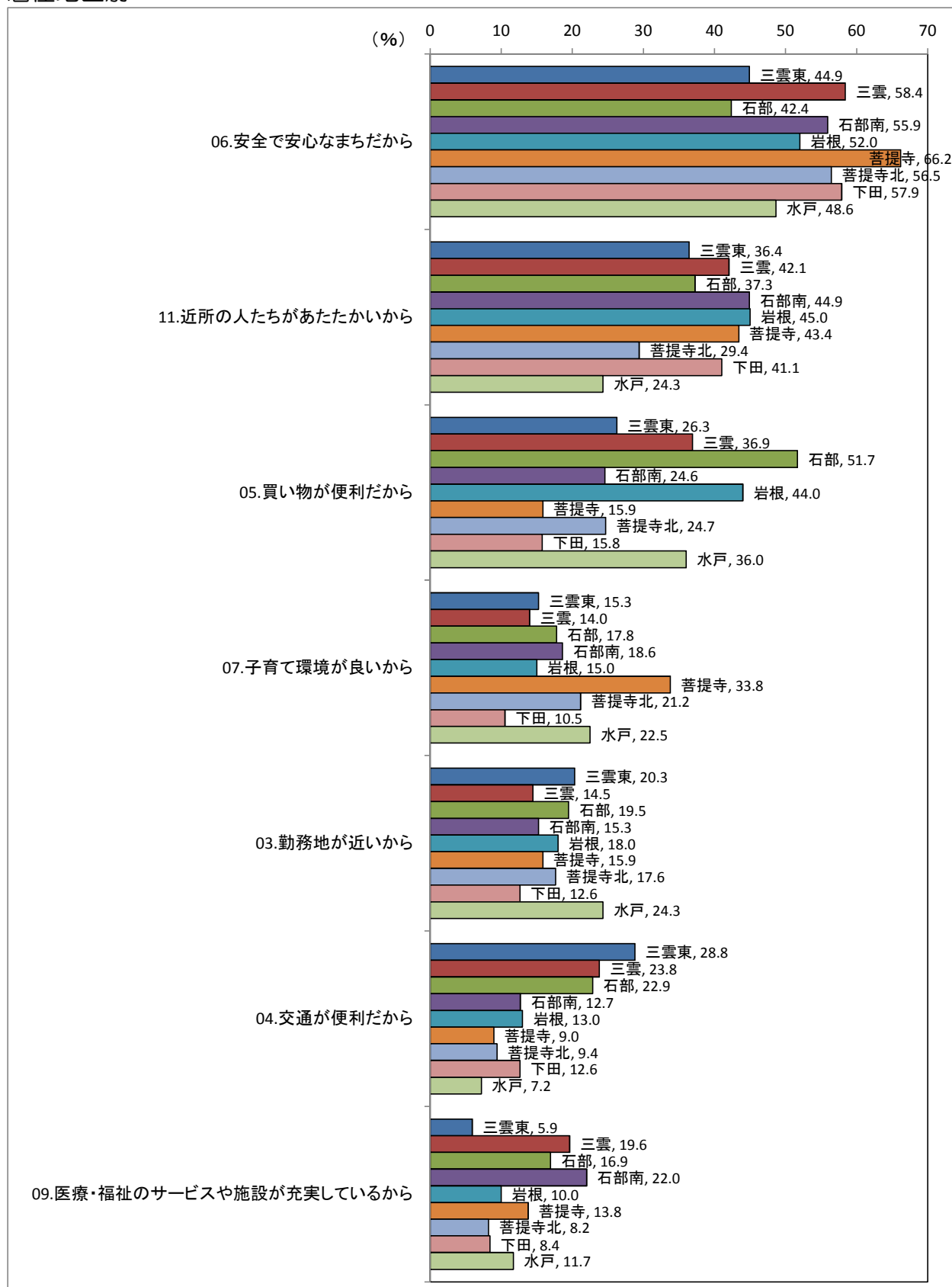
## 年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)



# 居住地区別

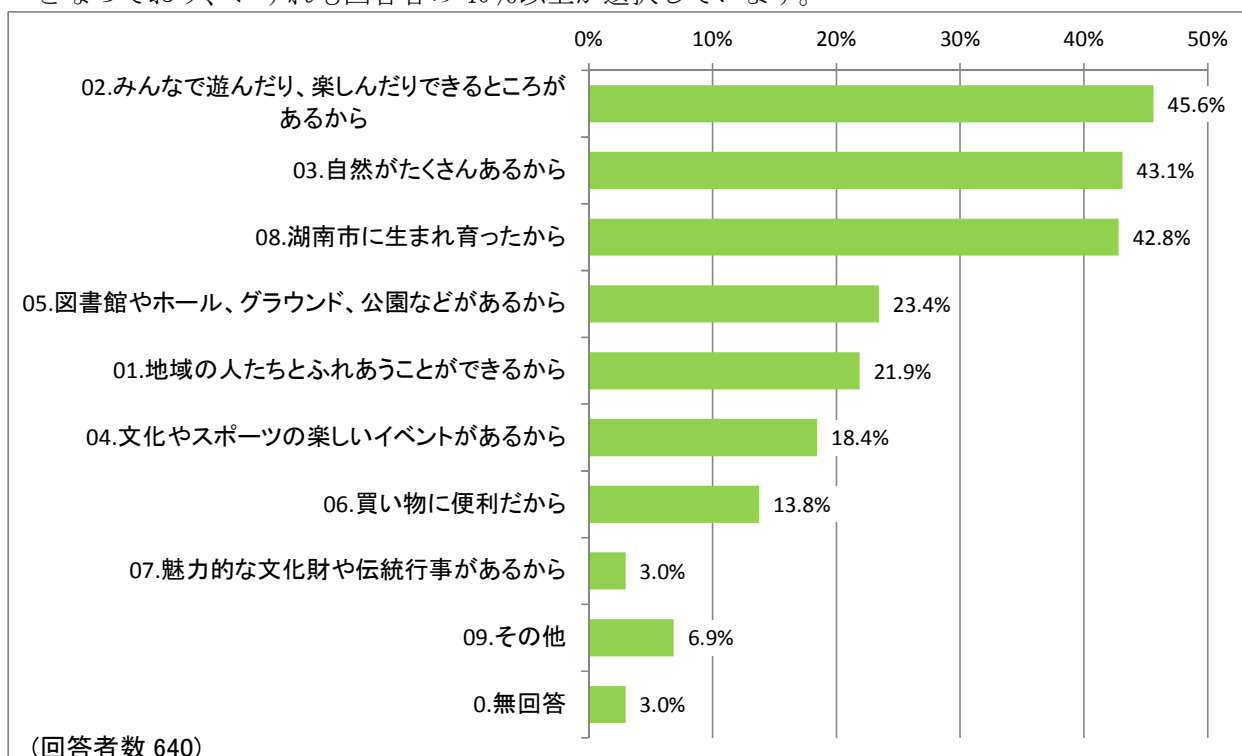


(選択率の高い、上位7位までを表示)

問2：問1で、「01.とても好き」、「02.どちらかという人喜欢」を選んだ方にお聞きします。  
好きな理由は何ですか。（3つまで選択）

### (1) 全体の傾向

「好き」とした生徒の選択理由は、「02. みんなで遊んだり、楽しんだりできるところがあるから」が最も多く、次いで「03. 自然がたくさんあるから」、「08. 湖南省に生まれ育ったから」の順となっており、いずれも回答者の40%以上が選択しています。



### (2) 性別の傾向

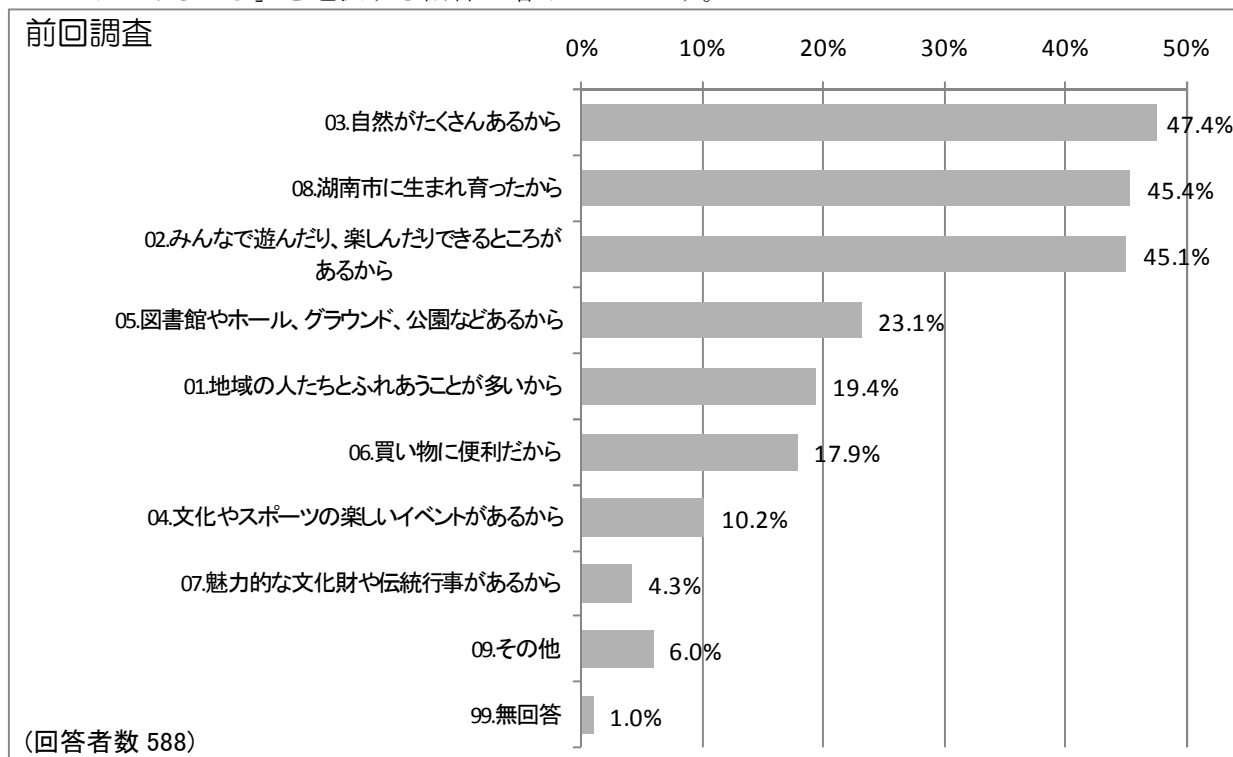
男性は「02. みんなで遊んだり、楽しんだりできるところがあるから」を、女性は「08. 湖南省に生まれ育ったから」を選択する割合が高くなっています。

### (3) 中学校別の傾向

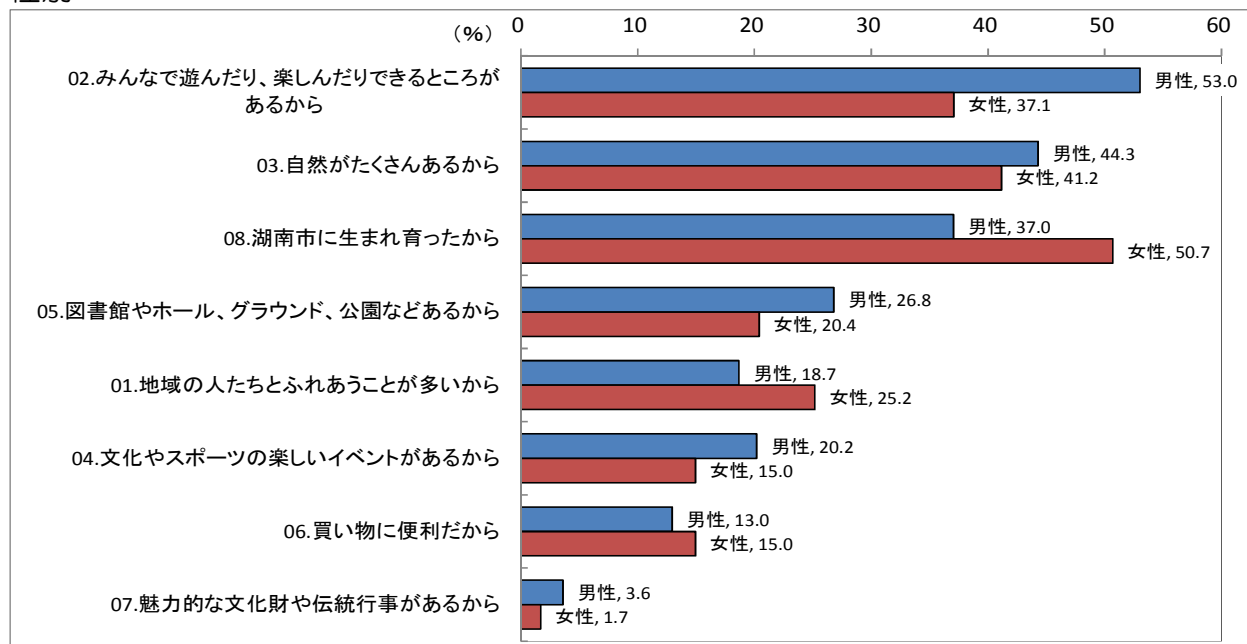
石部・甲西北では「03. 自然がたくさんあるから」が最も多くなっていますが、甲西・日枝ではやや少なくなっています。また、「02. みんなで遊んだり、楽しんだりできるところがあるから」、「08. 湖南省に生まれ育ったから」は全ての中学校区で高く支持されています。

#### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

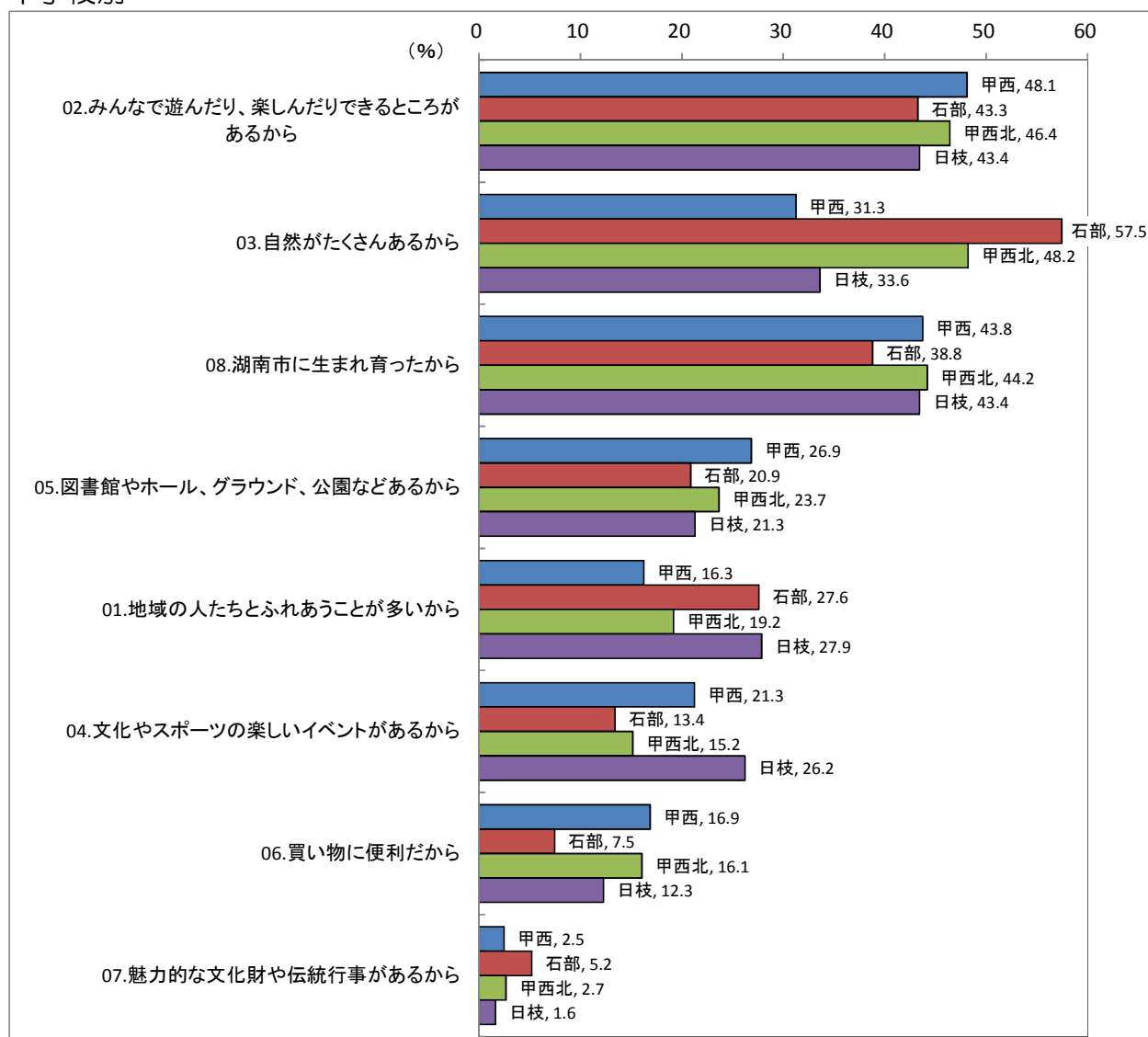
前回の調査の上位 2 番目までであった「03. 自然がたくさんあるから」と「08. 湖南省に生まれ育ったから」が順位を 1 つずつ下げています。一方、前回に比べ、「04. 文化やスポーツの楽しいイベントがあるから」を選択する割合が増加しています。



## 性別



## 中学校別

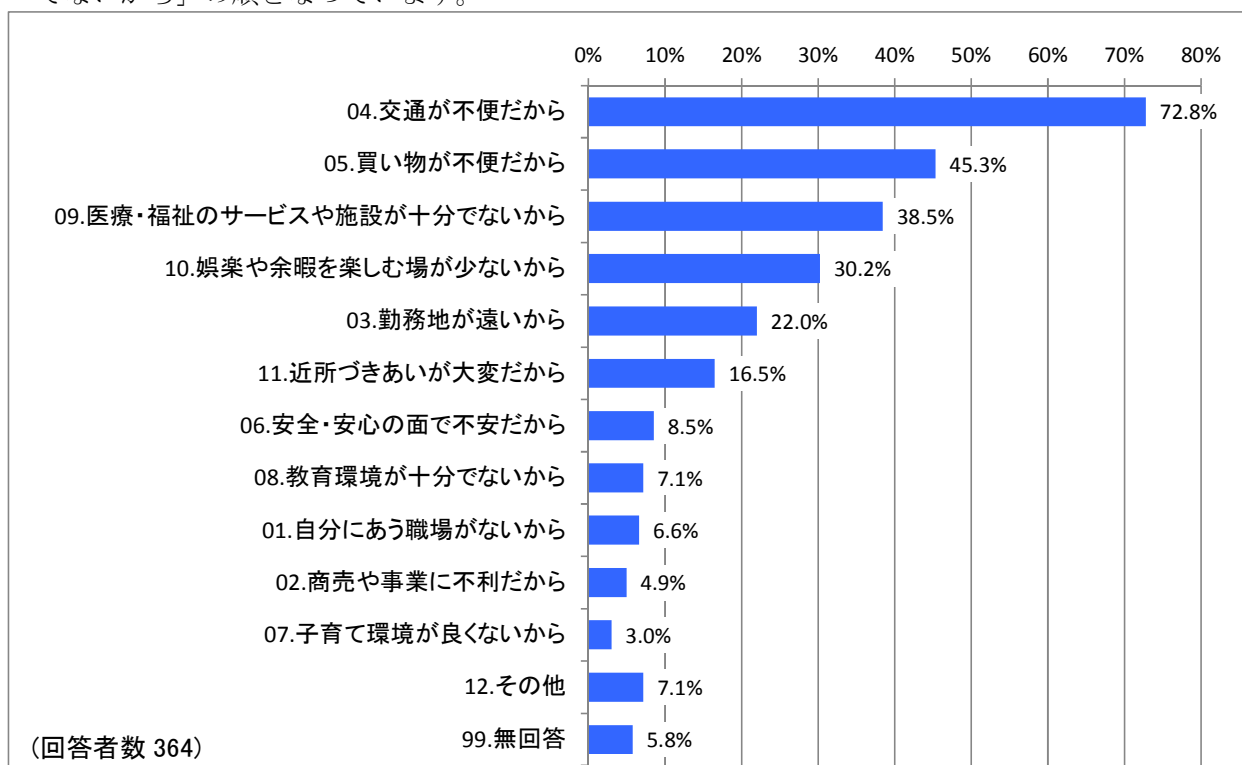


(無回答、その他については非表示)

問3：問1で、「03.どちらかという住みにくい」、「04.住みにくい」を選んだ方にお聞きします。住みにくいと思う主な理由は何ですか。（3つまで選択）

### (1) 全体の傾向

「住みにくい」とした方の選択理由は、「04. 交通が不便だから」が最も多く、回答者の72.8%が選択しています。次いで「05. 買い物が不便だから」、「09. 医療・福祉のサービスや施設が十分でないから」の順となっています。



### (2) 年齢別の傾向

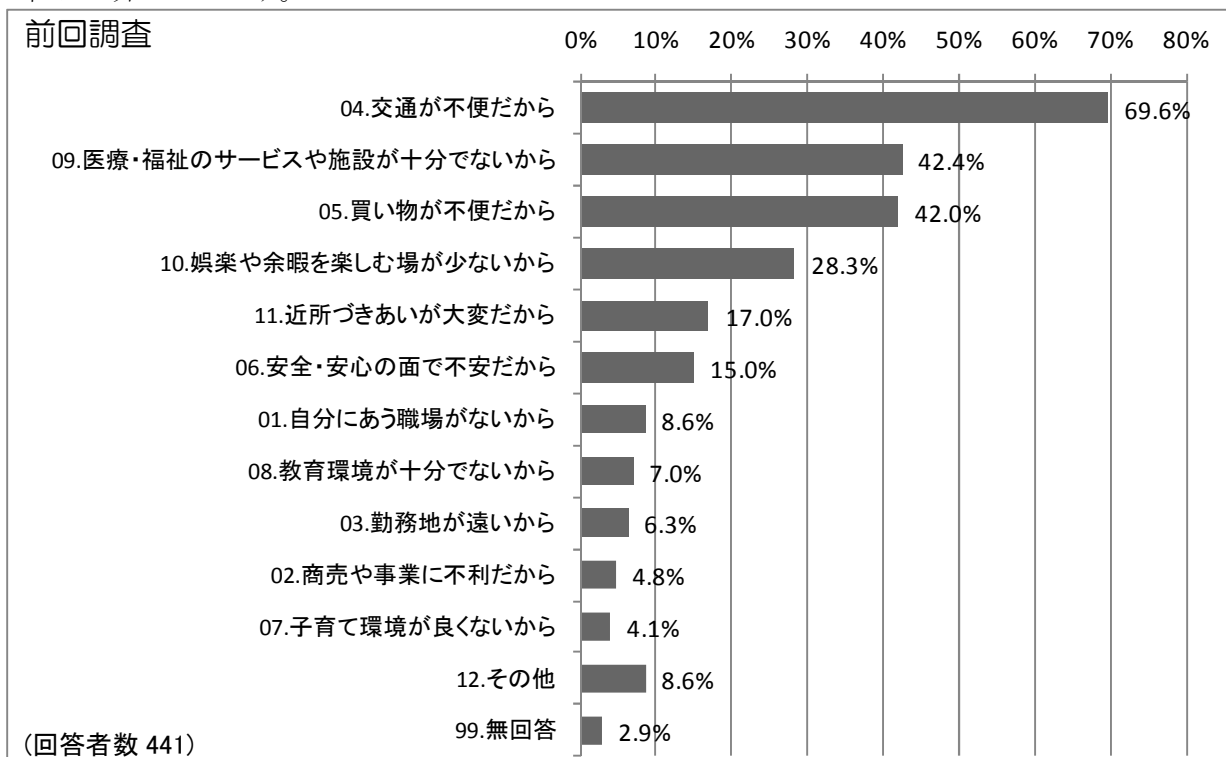
全ての年齢において、「04. 交通が不便だから」が高く支持されており、特に40歳代は回答者の80%以上が選択しています。年齢が高いほど、「09. 医療・福祉のサービスや施設が十分でないから」を選択する割合が高くなっています。また、「05. 買い物が不便だから」は60歳以上で、回答者の半数以上が選択しています。一方、若い世代をみると、10歳代では「10. 娯楽や余暇を楽しむ場が少ないから」、20歳代では「03. 勤務地が遠いから」を選択する割合が50%を超えています。

### (3) 居住地区別の傾向

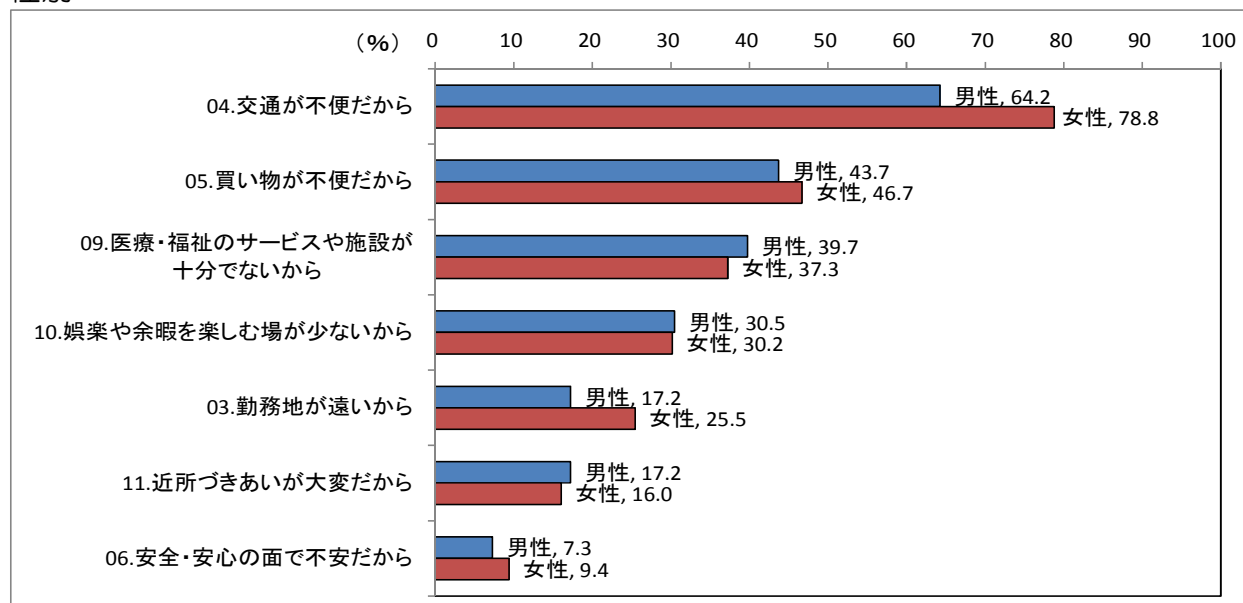
全ての地区で「04. 交通が不便だから」が最も多くなり、特に菩提寺・菩提寺北・水戸では回答者の80%以上が選択しています。三雲東では「05. 買い物が不便だから」を選択する割合が高くなり、回答者の60%が選択しています。石部では「06. 安全・安心の面で不安だから」を選択する割合が20%を超えており、他地区よりも高くなっています。

#### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

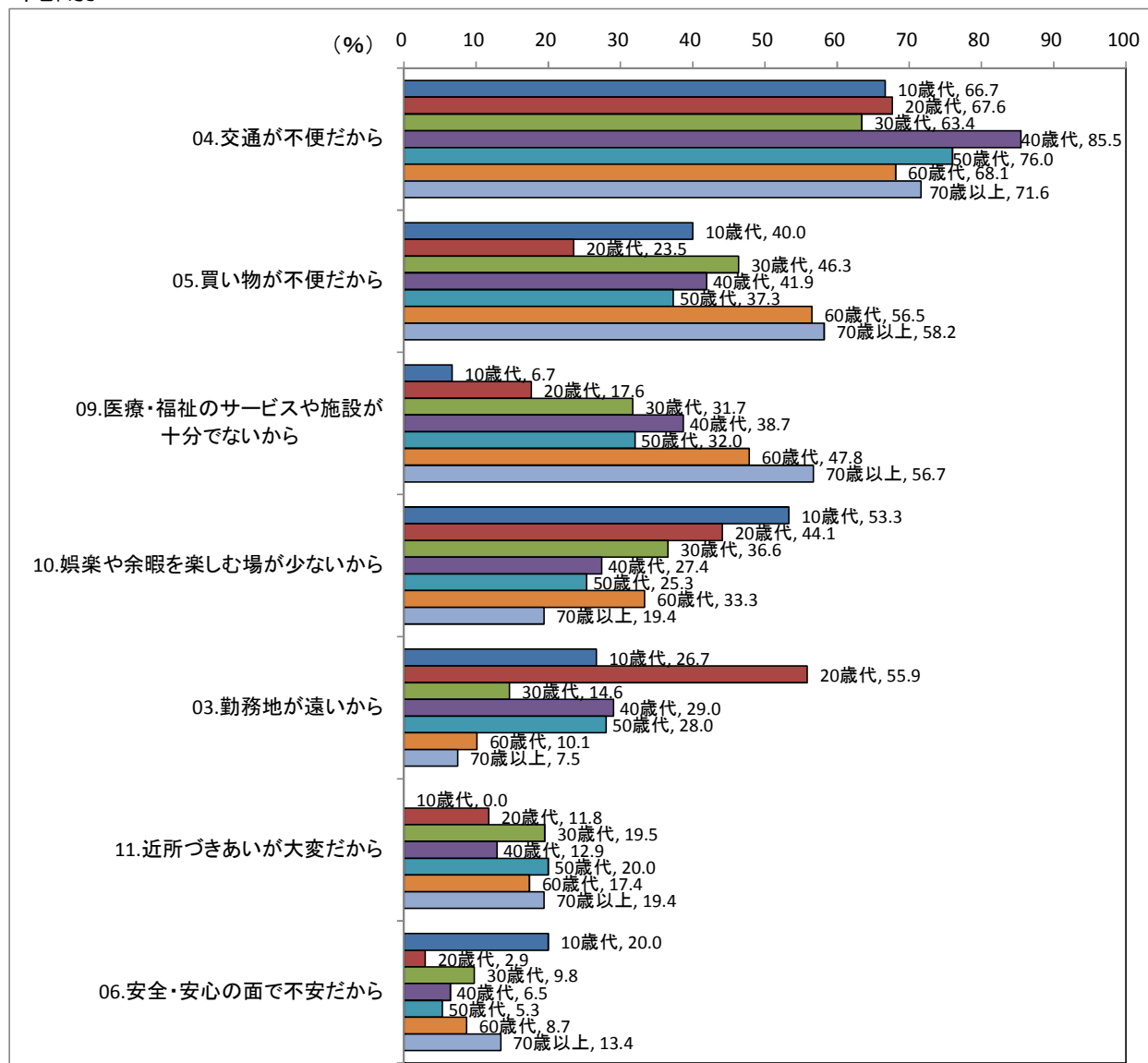
前回の調査と比べると、1位は「04. 交通が不便だから」ですが、2位と3位については順位が入れ替わっています。また、「03. 勤務地が遠いから」を選択する割合が大きく増加し、順位も5位に上昇しています。



## 性別

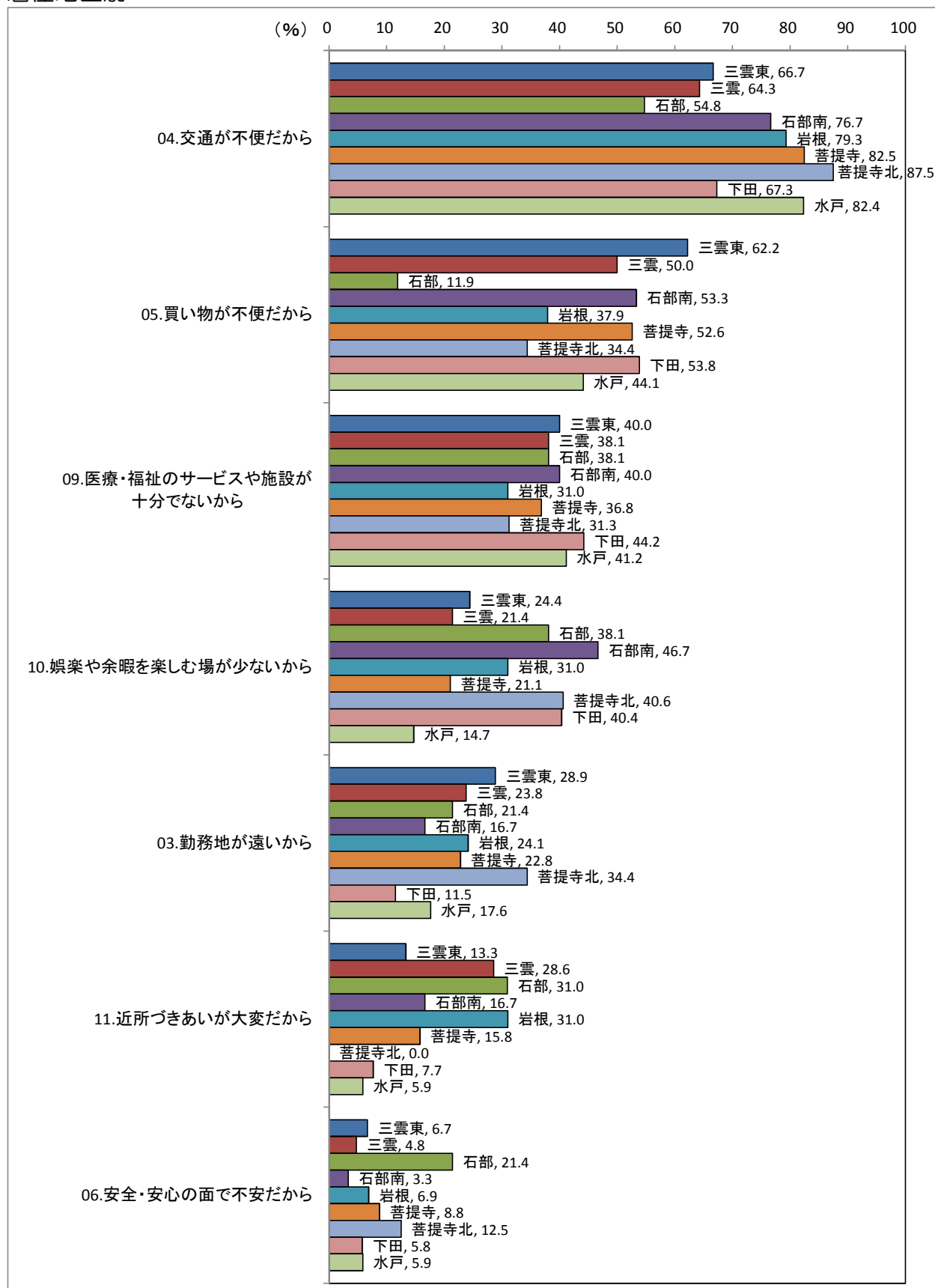


## 年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

## 居住地区別



(選択率の高い、上位7位までを表示)



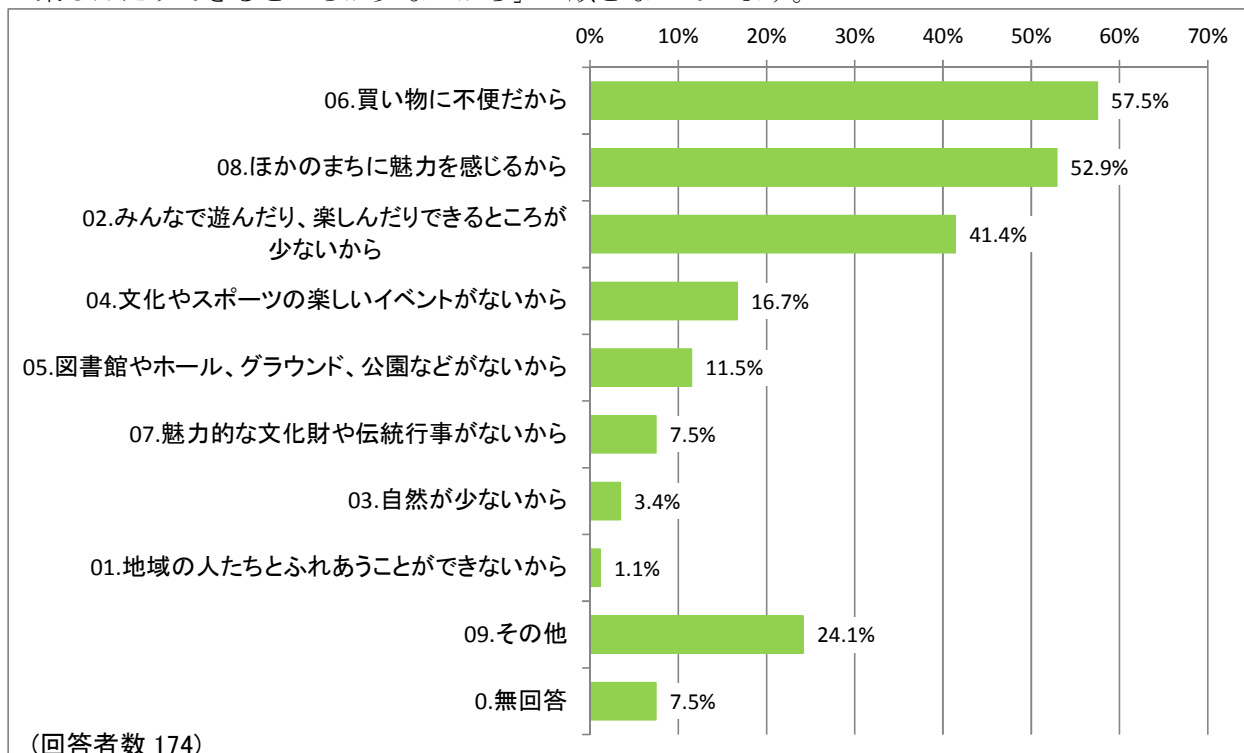
## 中学生

### 好きでない理由

問3：問1で、「03.どちらかというが好きでない」、「04.好きでない」を選んだ方にお聞きします。好きでない理由は何ですか。（3つまで選択）

#### (1) 全体の傾向

「好きでない」とした生徒の選択理由は、「06. 買い物に不便だから」が最も多く、回答者の57.5%が選択しています。次いで「08. ほかのまちに魅力を感じるから」、「02. みんなで遊んだり、楽しんだりできるところが少ないから」の順となっています。



#### (2) 性別の傾向

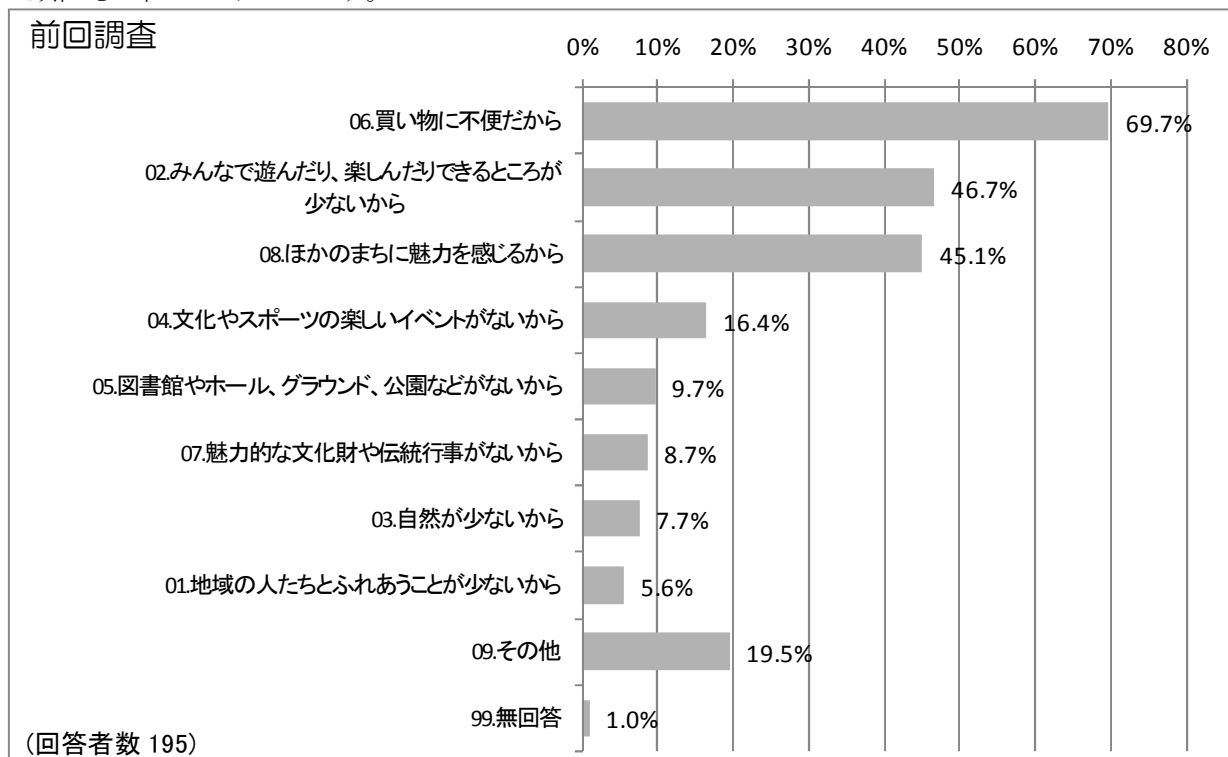
「08. ほかのまちに魅力を感じるから」と「02. みんなで遊んだり、楽しんだりできるところが少ないから」を選択する割合が、男性は低く、女性は高くなっています。

#### (3) 中学校別の傾向

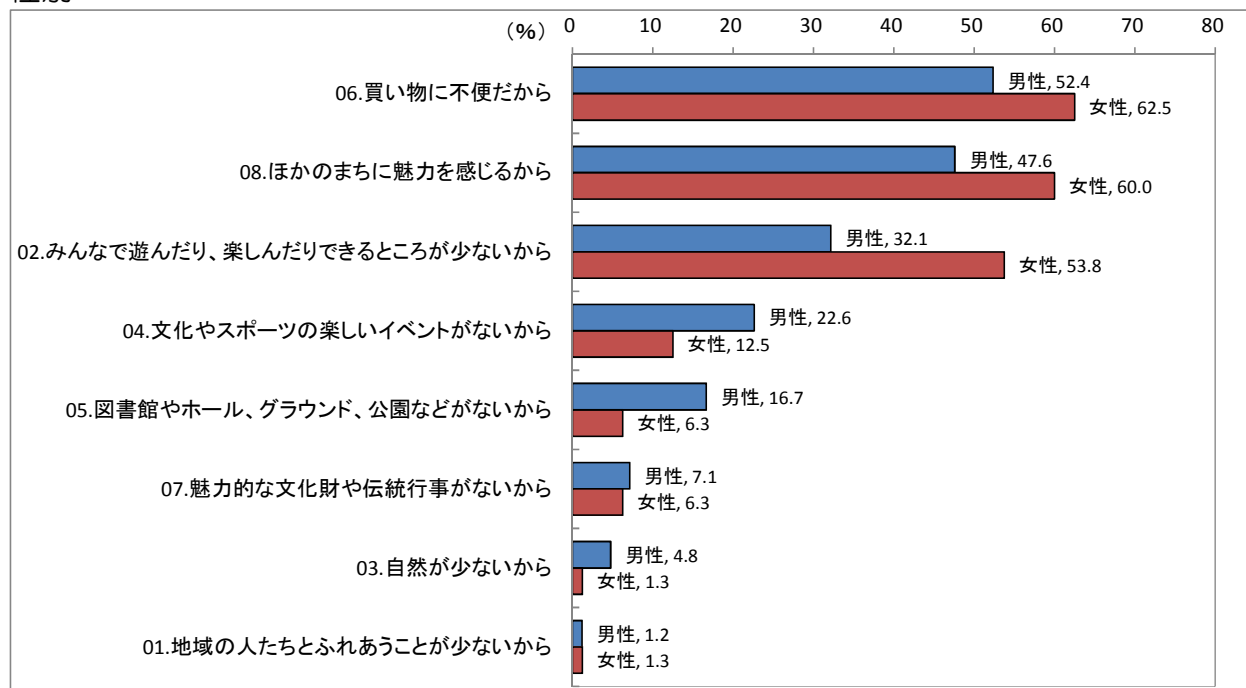
甲西・石部・甲西北の中学校は「06. 買い物に不便だから」が、日枝では「08. ほかのまちに魅力を感じるから」が最も多くなっています。甲西では「08. ほかのまちに魅力を感じるから」も多くなっています。

#### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

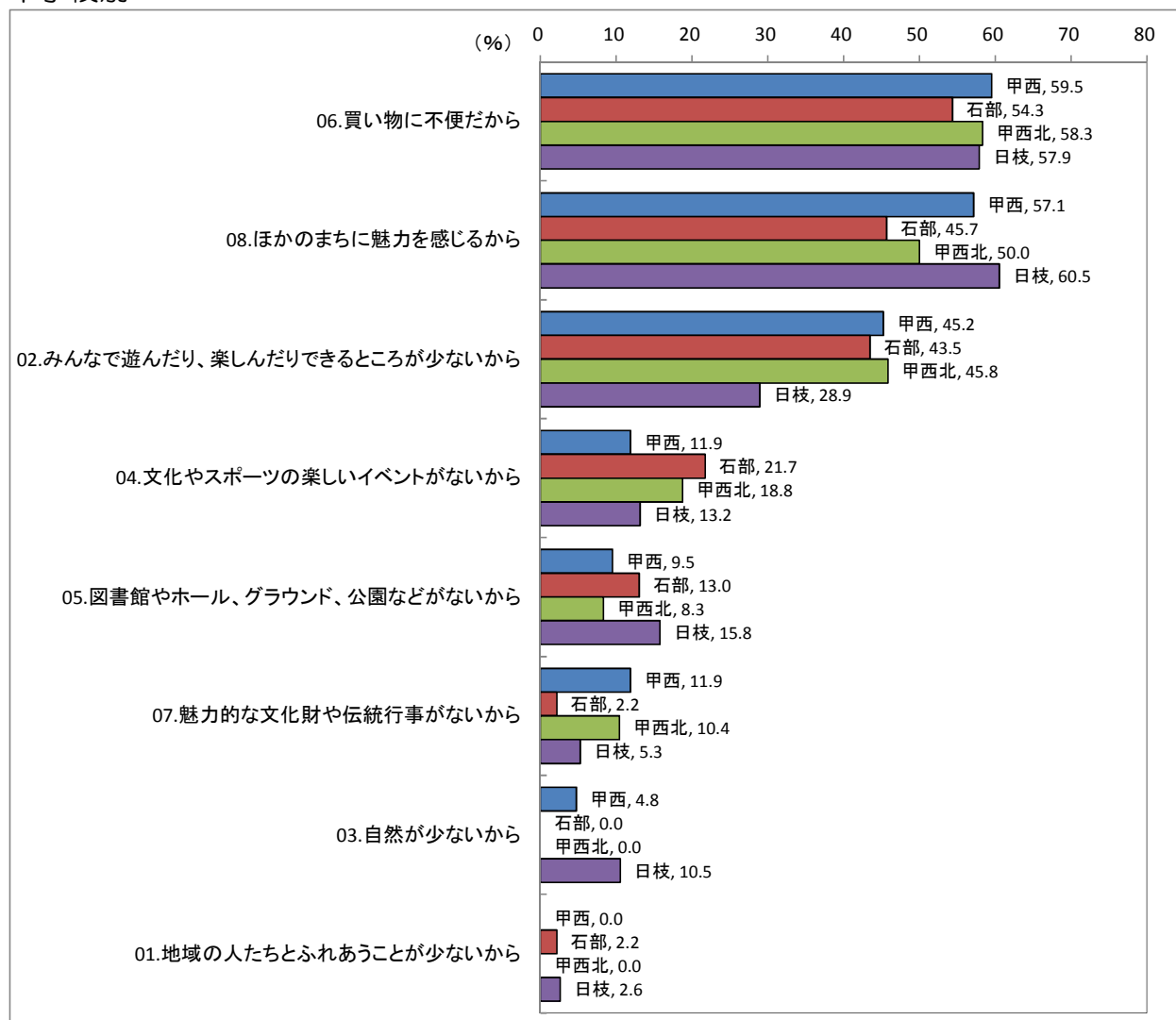
前回の調査と比べると、「06. 買い物に不便だから」は選択する割合が大きく減少しているものの順位は変わらず 1 位となっています。一方、「08. ほかのまちに魅力を感じるから」は増加し、順位も 2 位に上げています。



## 性別



## 中学校別



(無回答、その他については非表示)

### 3. まちの将来像

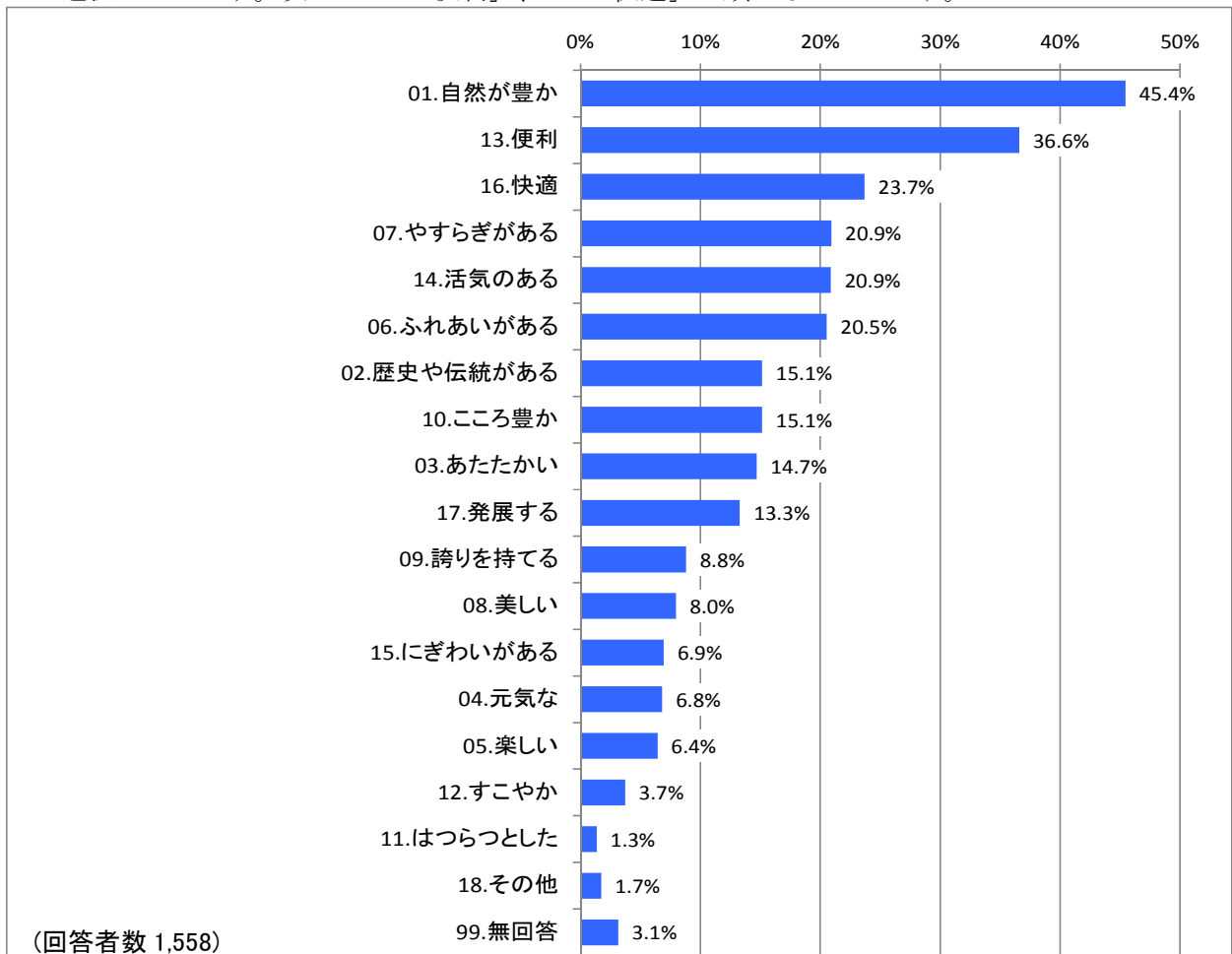
#### 1) 将来の湖南省市のイメージ

##### 一般 イメージする言葉

問4：あなたは、未来の湖南省市をどのようなまちにしたいですか。イメージする言葉を選んでください。（3つまで選択）

##### (1) 全体の傾向

未来の湖南省市をイメージする言葉については、「01. 自然が豊か」が最も多く、回答者の45.4%が選択しています。次いで「13. 便利」、「16. 快適」の順となっています。



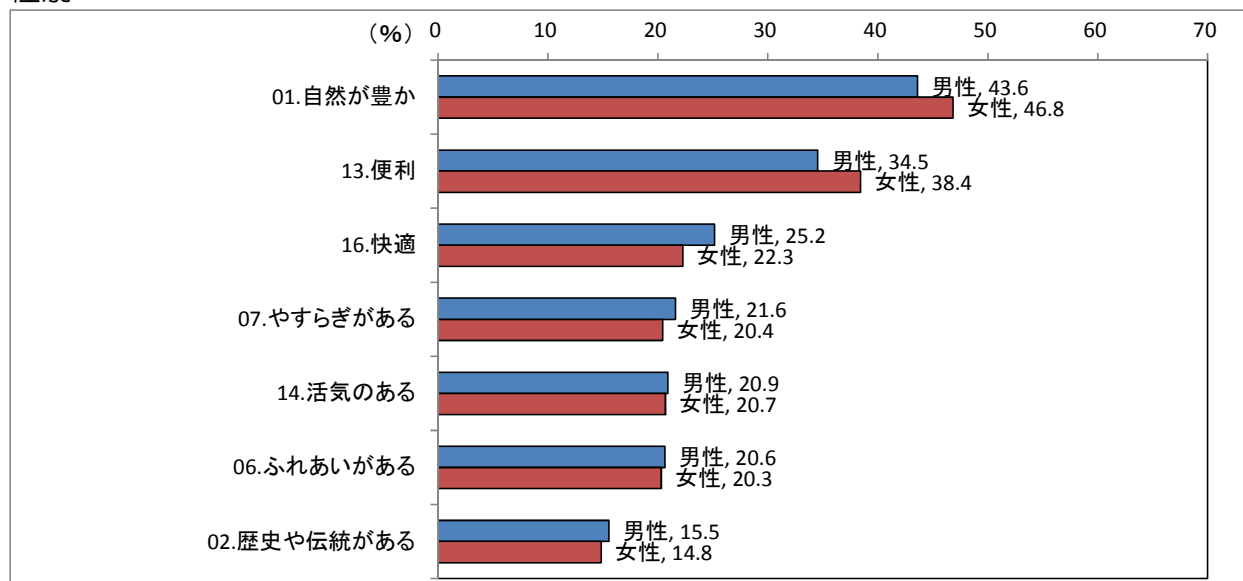
##### (2) 年齢別の傾向

10歳代と50歳以上は「01. 自然が豊か」が最も多く、特に60歳以上は半数を超える回答者が選択します。一方、20～40歳代では「13. 便利」が最も多くなっています。また、70歳以上は「06. ふれあいがある」と「02. 歴史や伝統がある」を選択する割合が高くなっています。

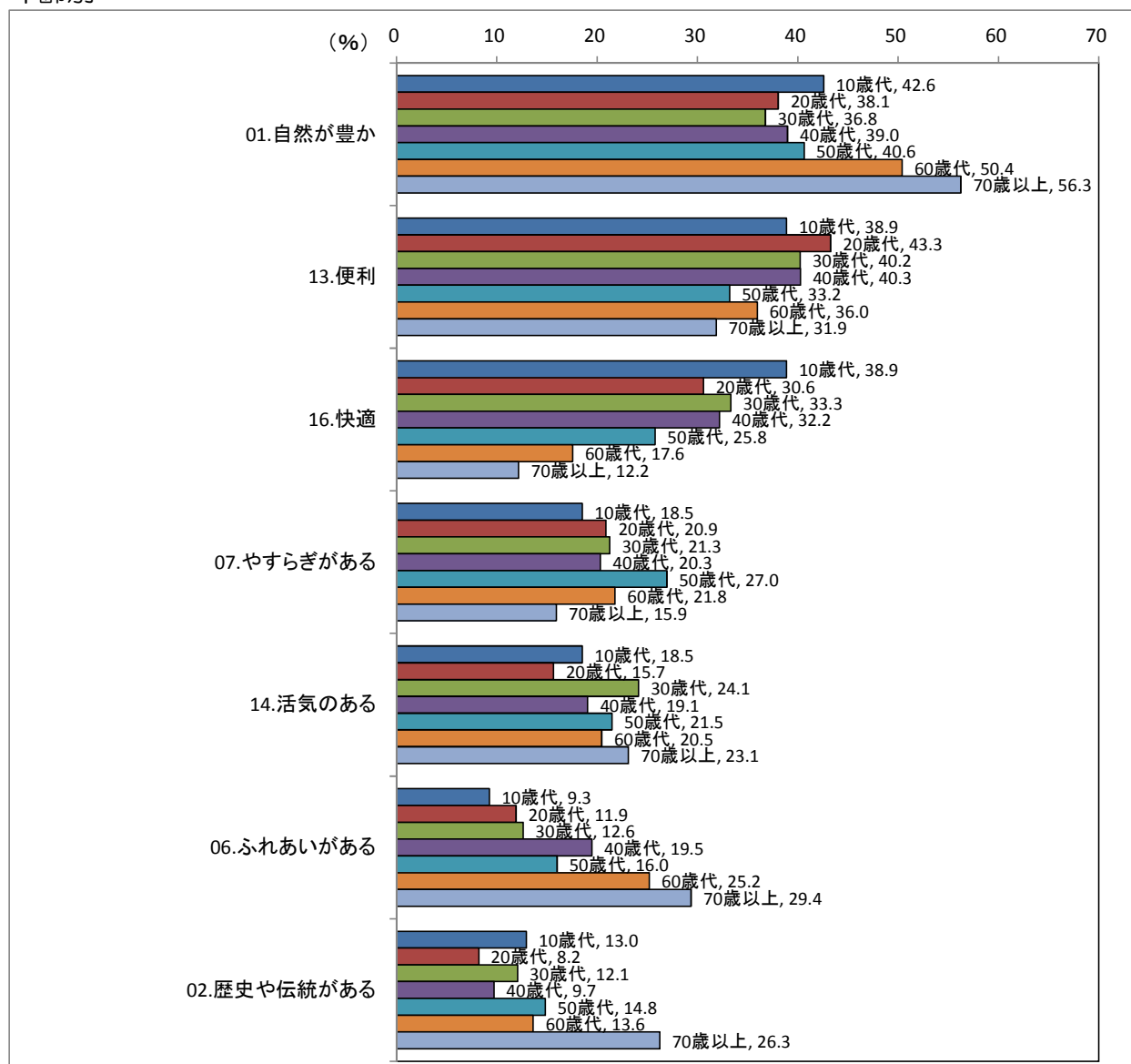
##### (3) 居住地区別の傾向

下田と水戸を除く全ての地区で「01. 自然が豊か」が最も多く、特に石部南では回答者の60%以上が選択しています。下田と水戸では「13. 便利」が最も多くなっています。

## 性別

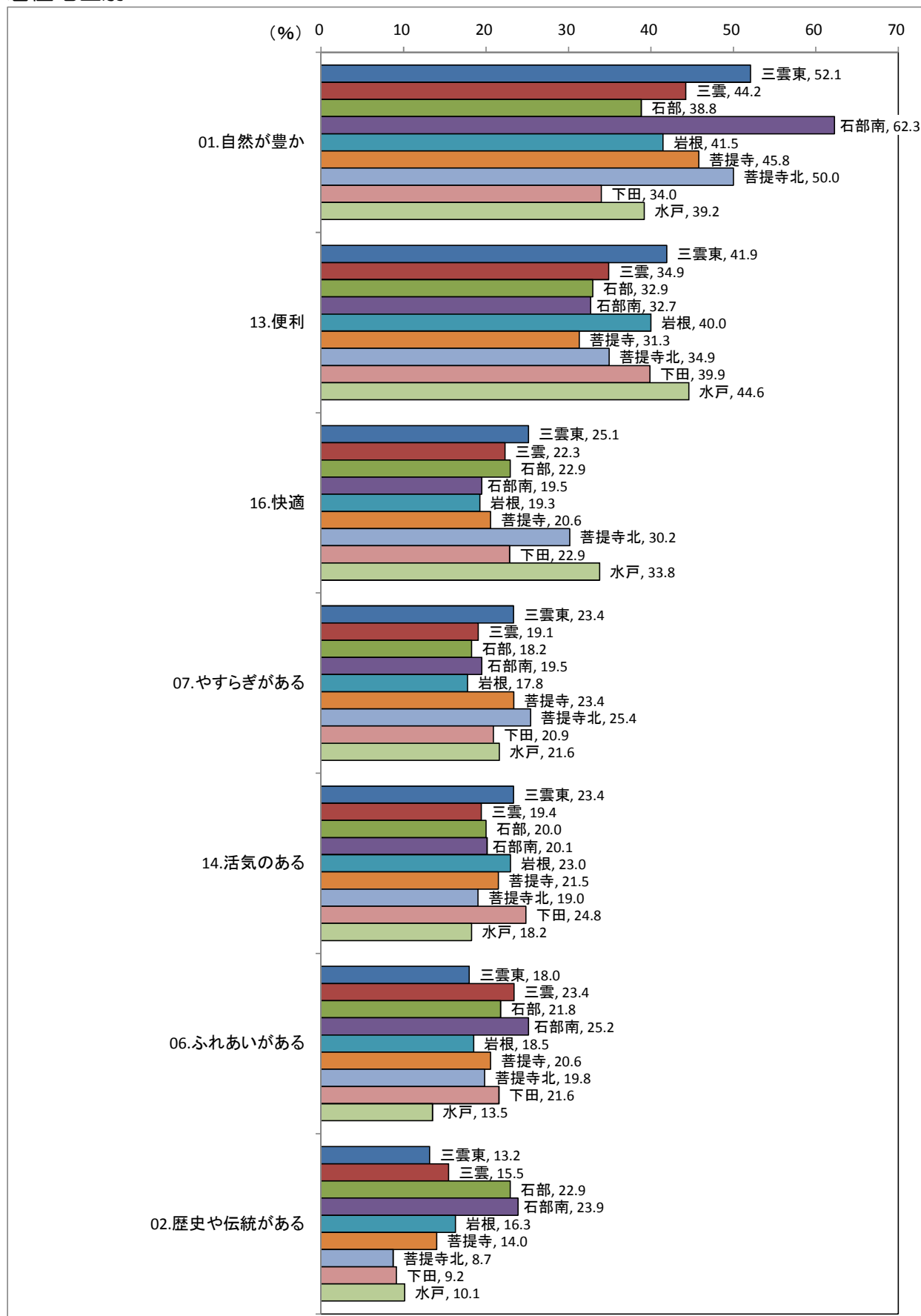


## 年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

# 居住地区別

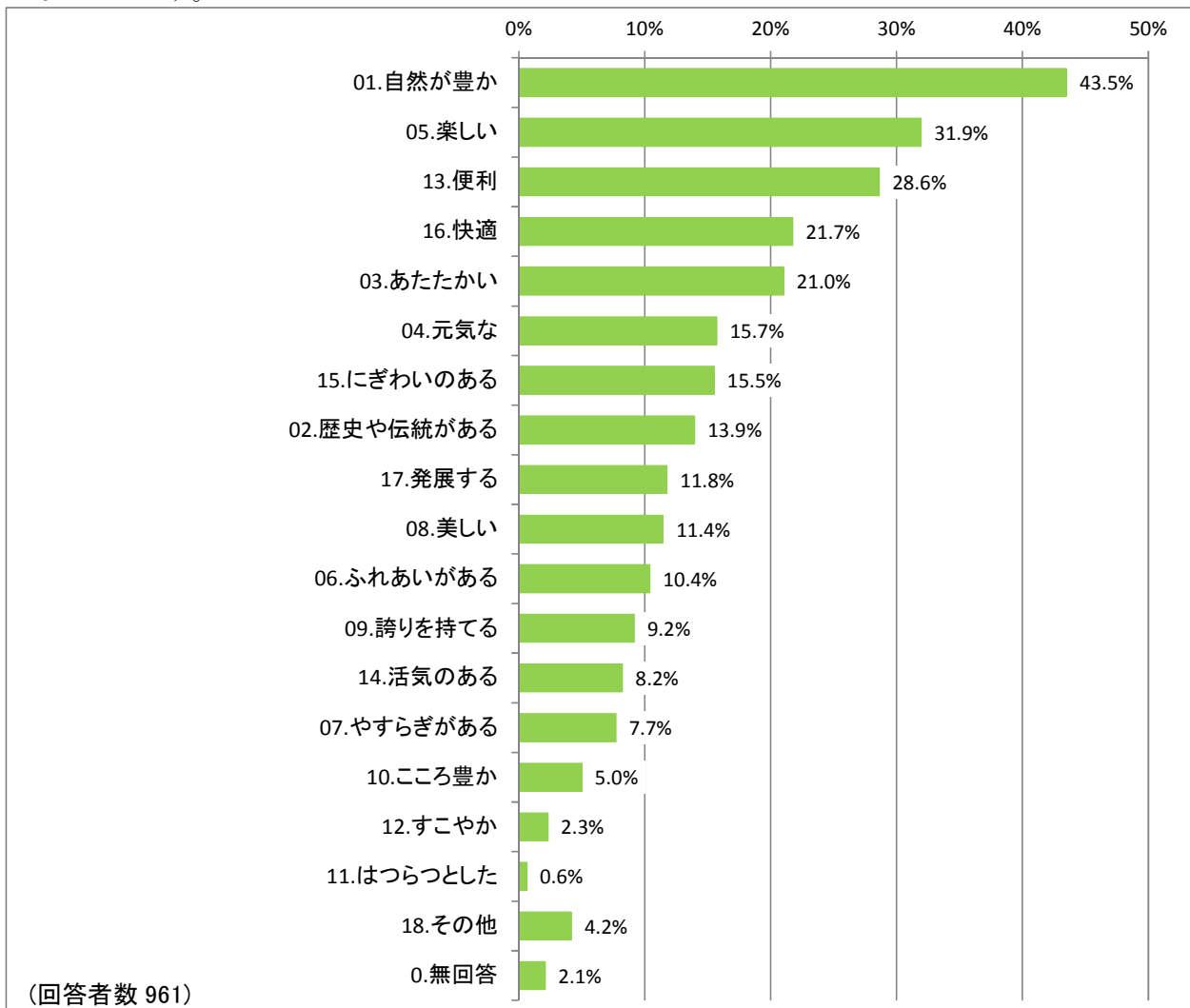


(選択率の高い、上位7位までを表示)

問5：あなたは、未来の湖南省をどのようなまちにしたいですか。イメージする言葉を選んでください。（3つまで選択）

(1) 全体の傾向

未来の湖南省をイメージする言葉については、「01. 自然が豊か」が最も多く、回答者の43.5%が選択しています。次いで「05. 楽しい」、「13. 便利」、「16. 快適」、「03. あたたかい」の順となっています。



(2) 性別の傾向

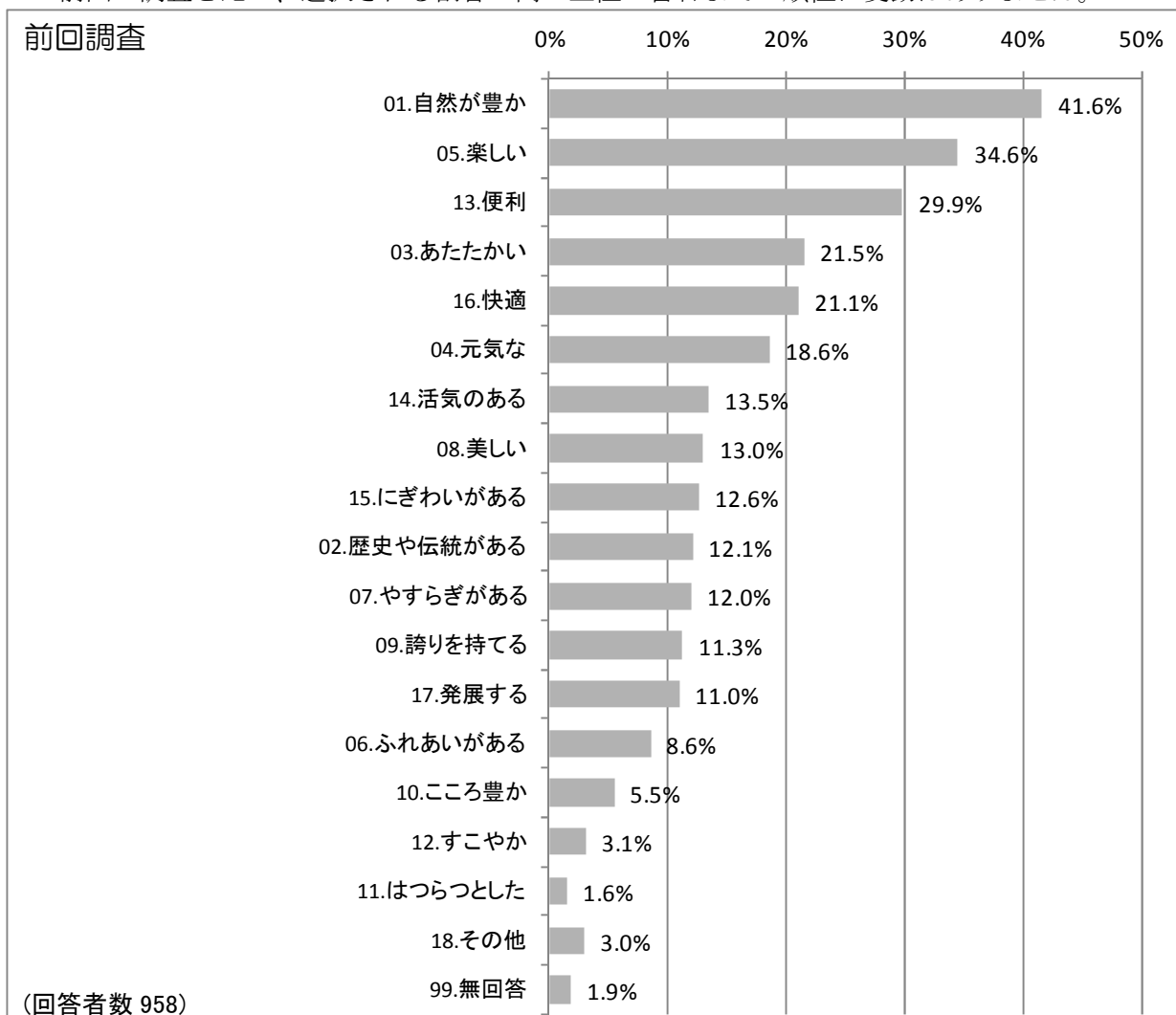
「05. 楽しい」を選択する割合が、男性は低く、女性は高くなっています。

(3) 中学校別の傾向

全ての中学校で「01. 自然が豊か」が最も多くなっており、特に石部・甲西北45%を超えています。次いで多いのが、石部・甲西北では「05. 楽しい」が、甲西・日枝では「13. 便利」となっています。

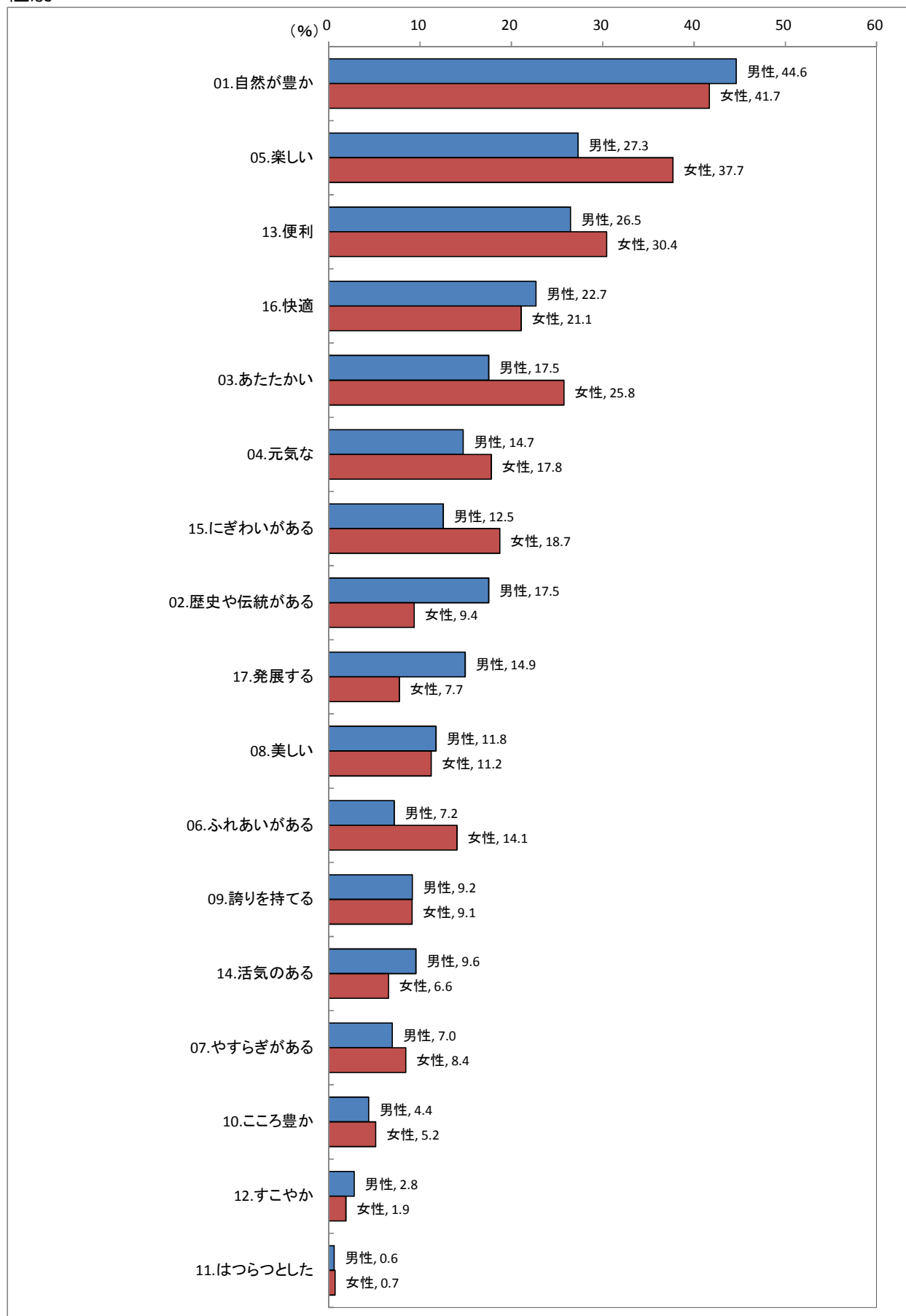
#### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

前回の調査と比べ、選択される割合の高い上位 3 番目までの順位に変動はありません。



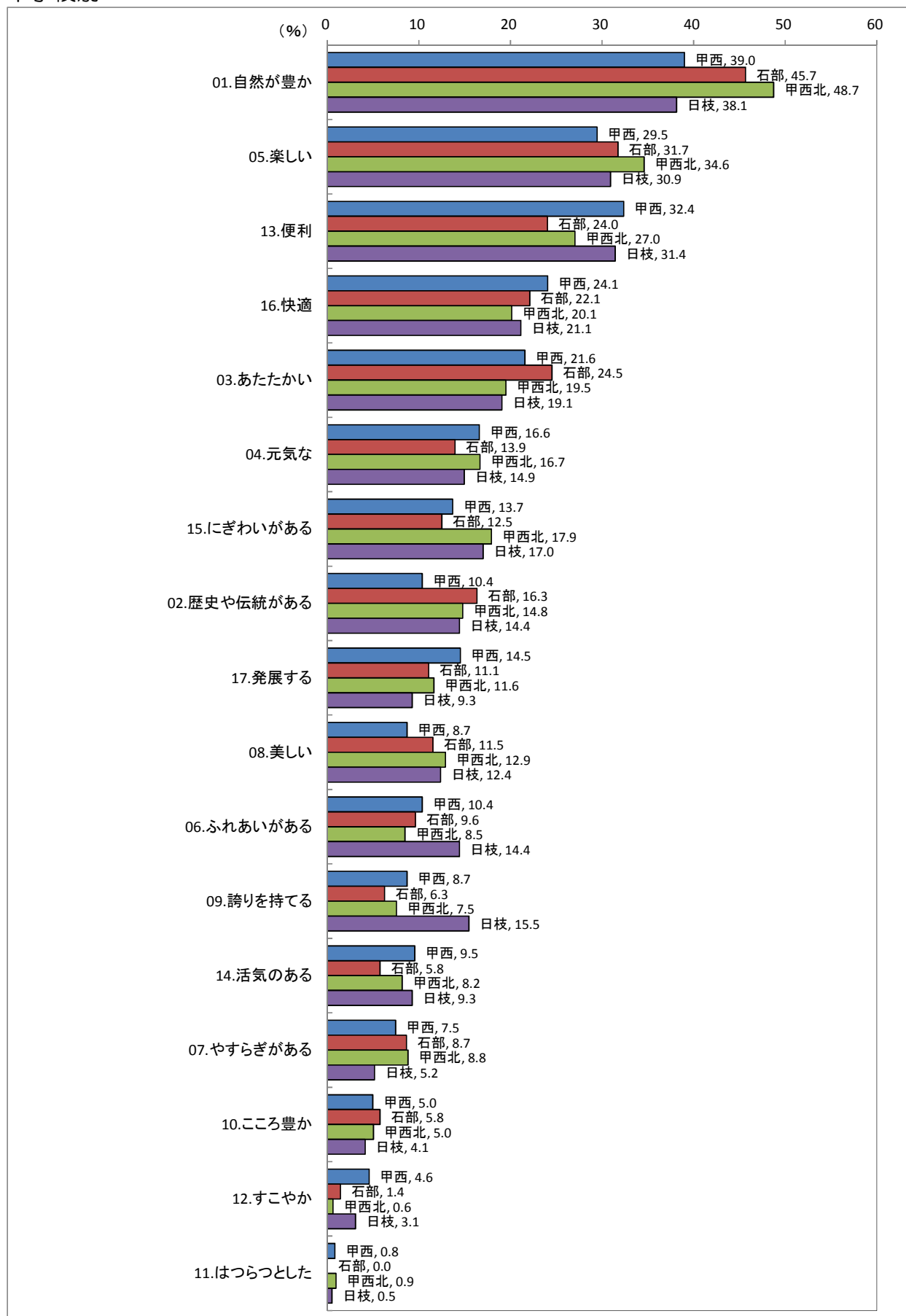


性別



(無回答、その他については非表示)

# 中学校別



(無回答、その他については非表示)

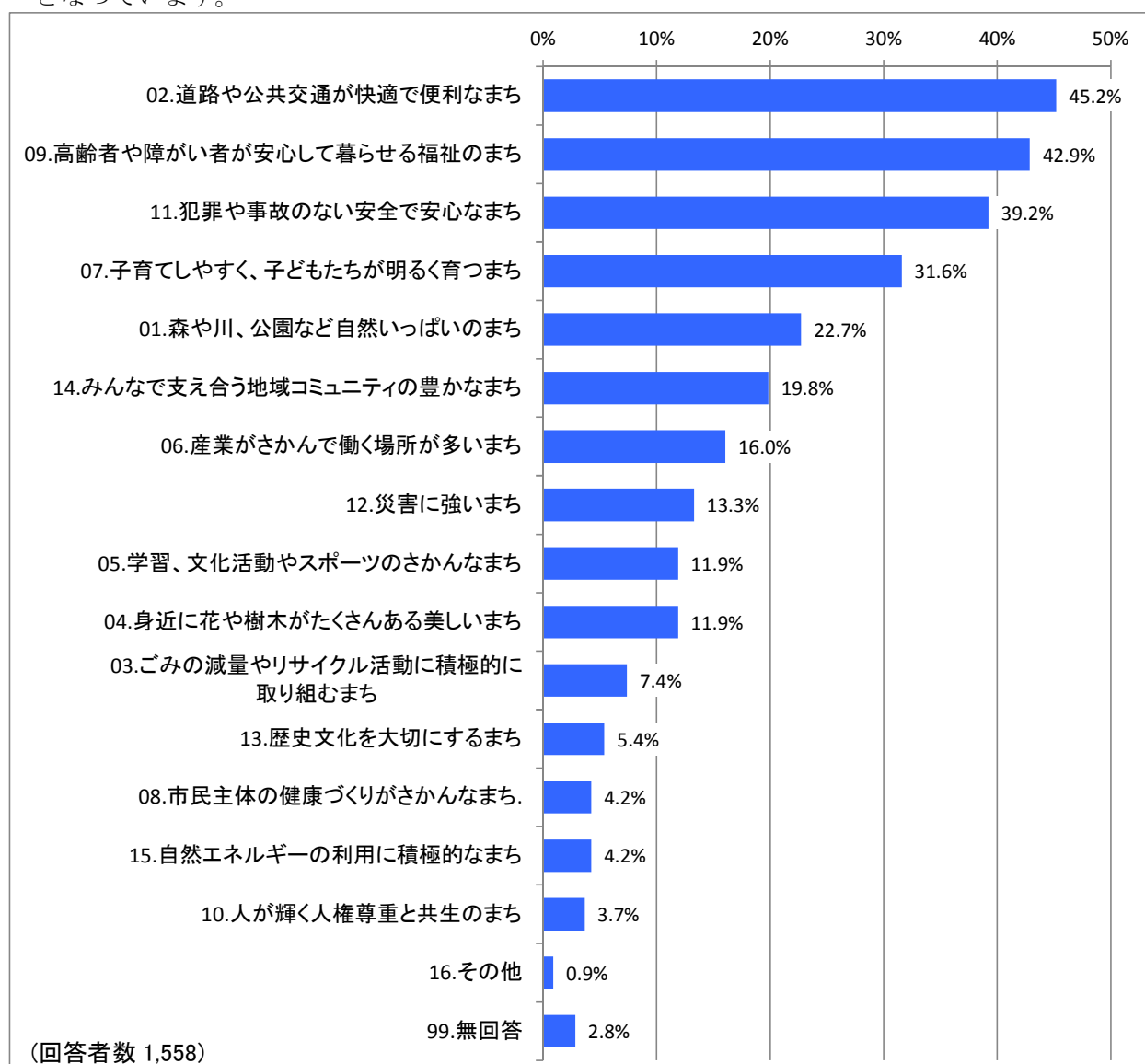
## 2) どんなまちにしたいか

### 一般 どんなまちにしたいか

問5：みんなが住み続けたい湖南省市にするためには、あなたならどのようなまちにしたいですか。  
(3つまで選択)

#### (1) 全体の傾向

どのようなまちにしたいかについては、「02. 道路や公共交通が快適で便利なまち」が最も多く、回答者の45.2%となっています。次いで「09. 高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち」、「11. 犯罪や事故のない安全で安心なまち」、「07. 子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまち」となっています。



## (2) 年齢別の傾向

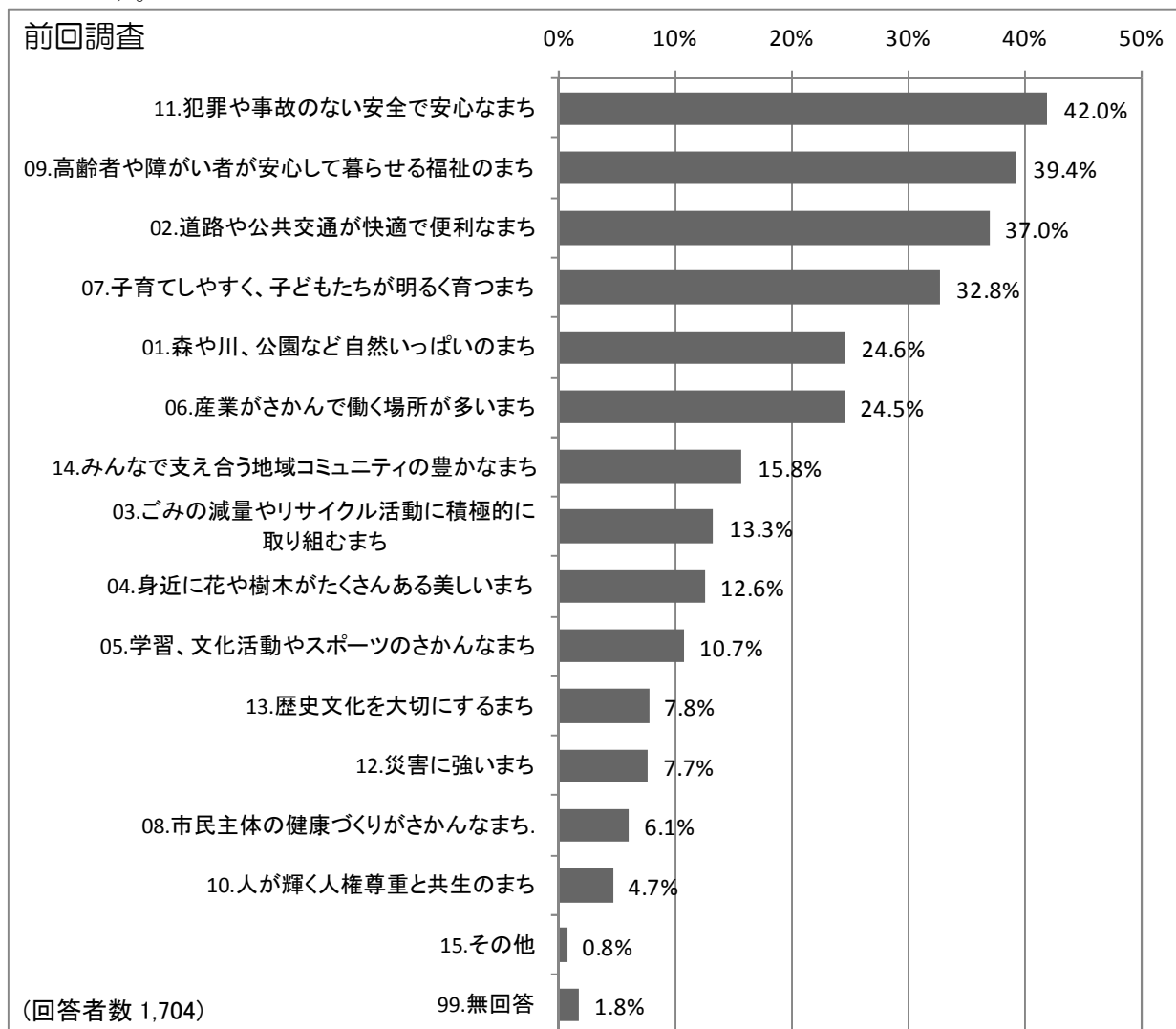
年齢が高くなるにつれ、「09. 高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち」を選択する割合が高くなり、60歳以上では、回答者の半数以上が選択しています。また、10歳代では「11. 犯罪や事故のない安全で安心なまち」、20歳代・40歳代では「02. 道路や公共交通が快適で便利なまち」、30歳代では「07. 子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまち」を選択する割合が最も多くなっています。

## (3) 居住地区別の傾向

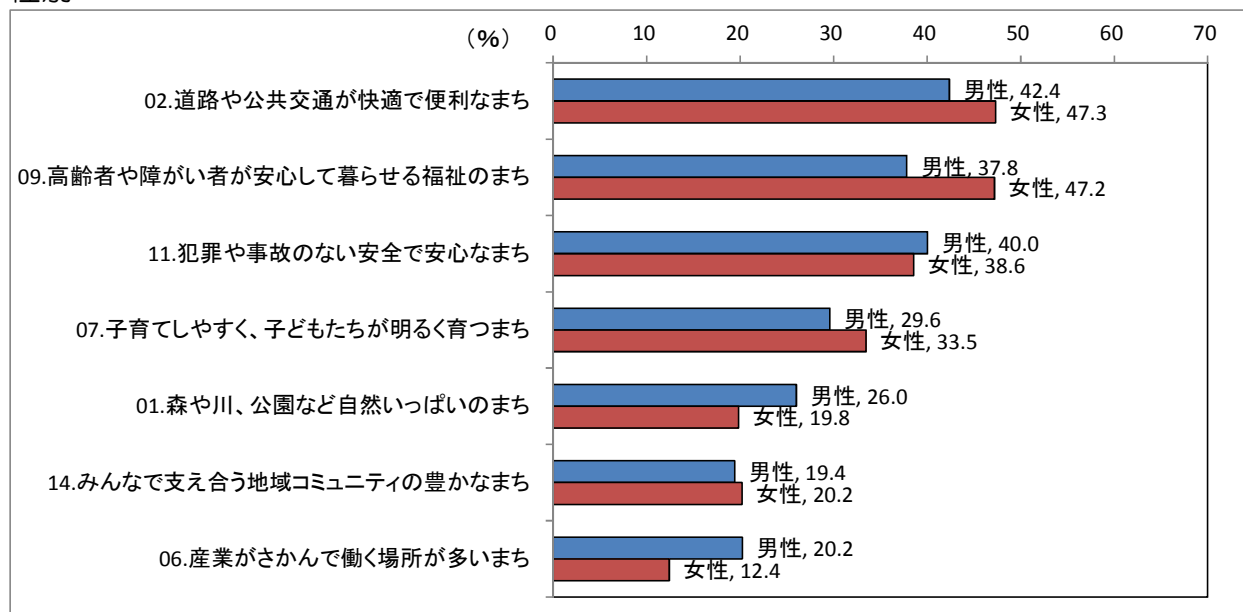
三雲・石部南・菩提寺北を除く全ての地区では「02. 道路や公共交通が快適で便利なまち」を、三雲・石部南・菩提寺北では「09. 高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち」を選択する割合が最も多くなっています。

## (4) 前回調査報告（平成22年4月）との比較

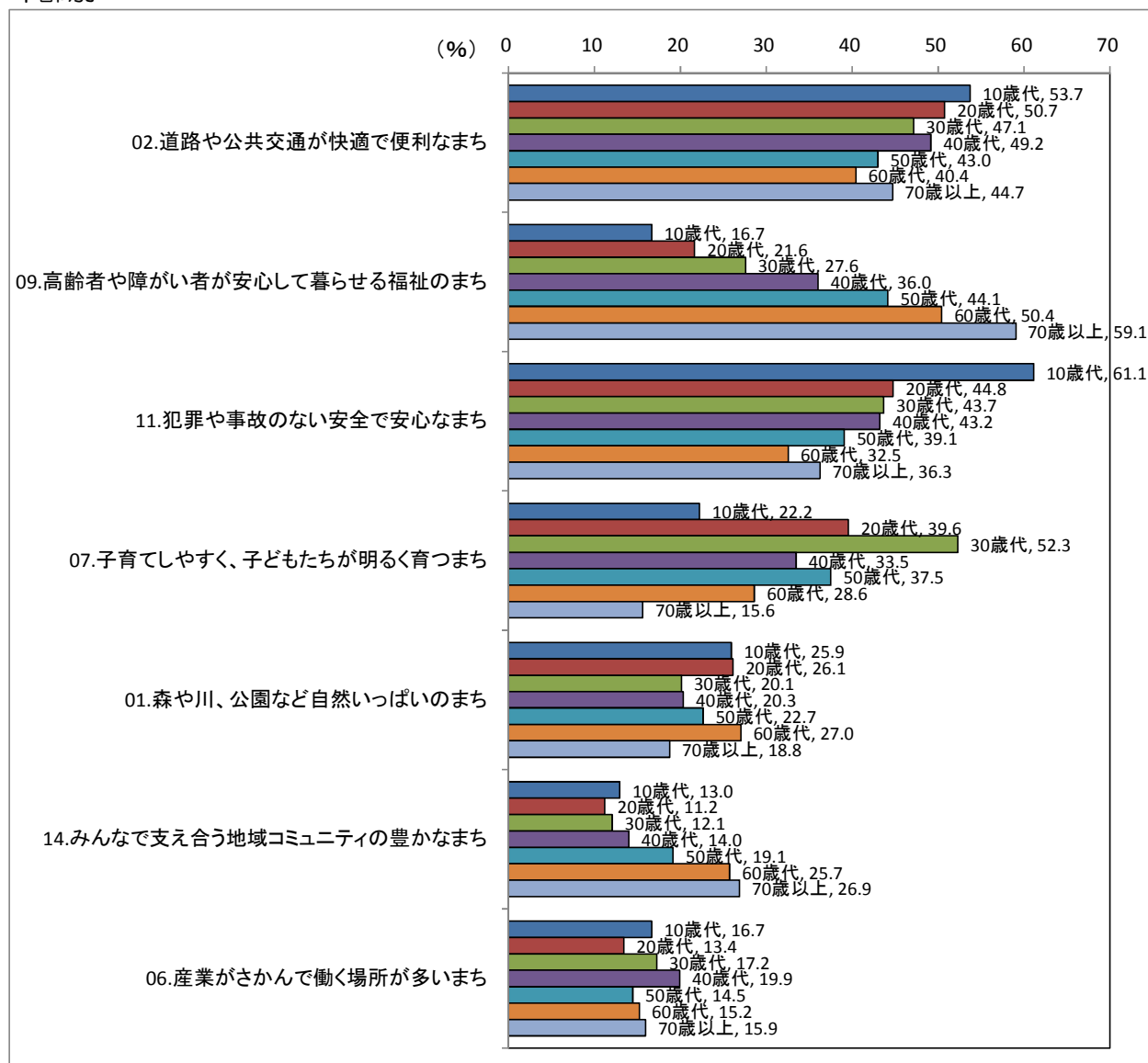
前回の調査と比べると、「02. 道路や公共交通が快適で便利なまち」が選択される割合が大きく増加し、順位が1位へと上がっています。また、「12. 災害に強いまち」も増加し、順位が上がっています。一方、「06. 産業がさかんで働く場所が多いまち」は、選択される割合が大きく減少しています。



## 性別

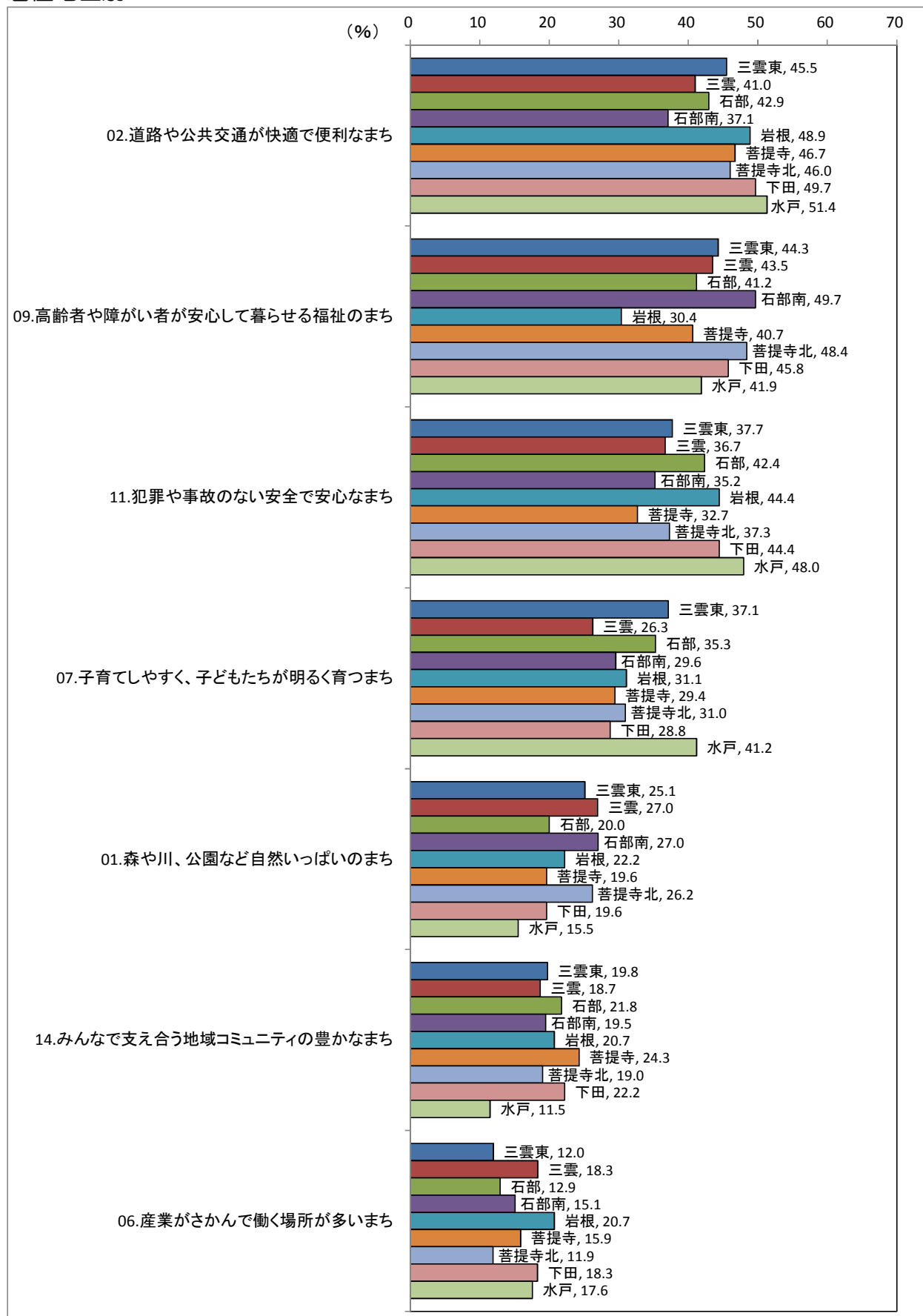


## 年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

## 居住地区別

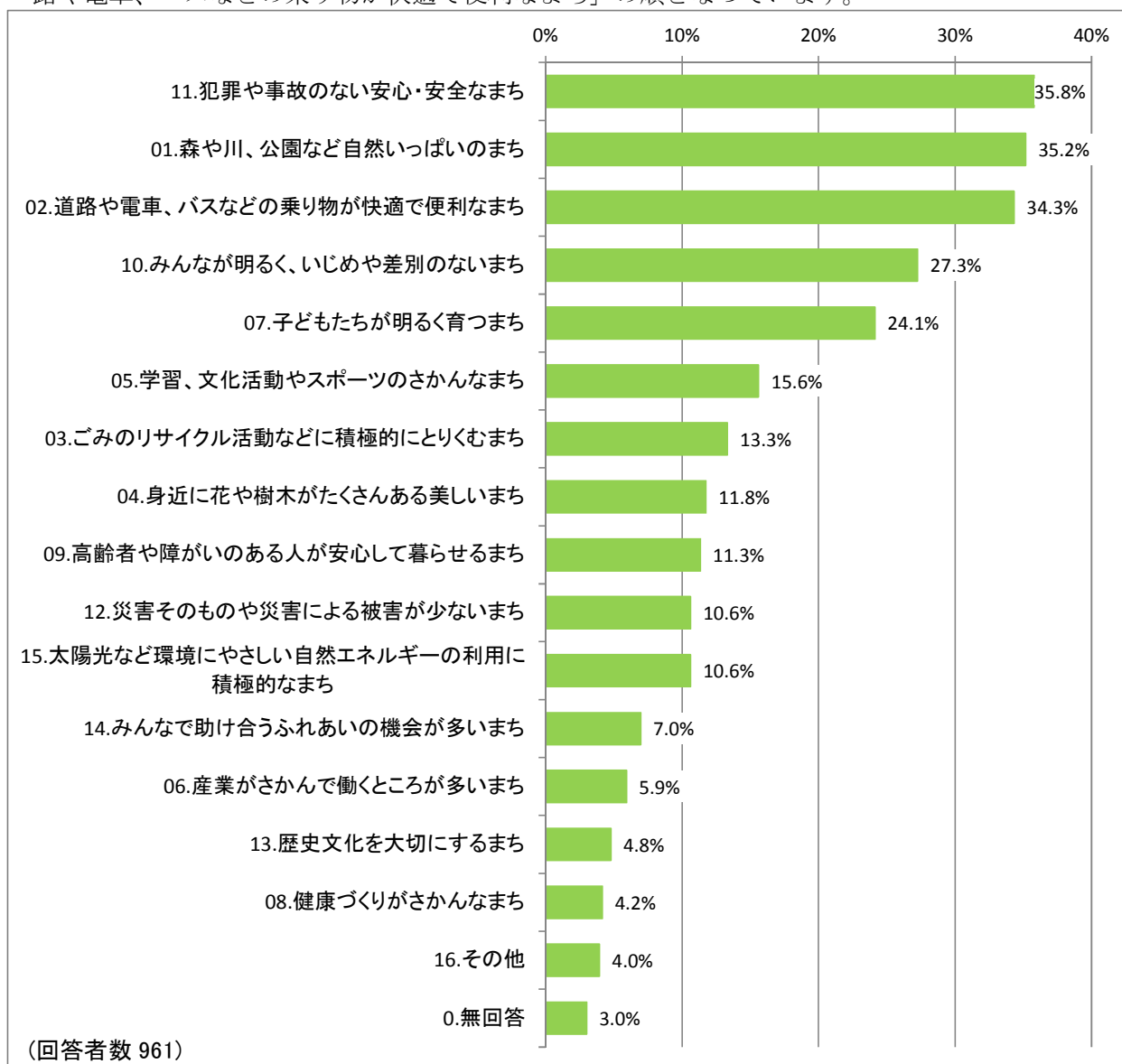


(選択率の高い、上位7位までを表示)

問6：みんなが住みたい湖南市にするために、あなたならどのようなまちにしたいですか。  
(3つまで選択)

### (1) 全体の傾向

どのようなまちにしたいかについては、「11. 犯罪や事故のない安心・安全なまち」が最も多く、回答者の 35.8%となっています。次いで「01. 森や川、公園など自然いっぱいのまち」、「02. 道路や電車、バスなどの乗り物が快適で便利なまち」の順となっています。



### (2) 性別の傾向

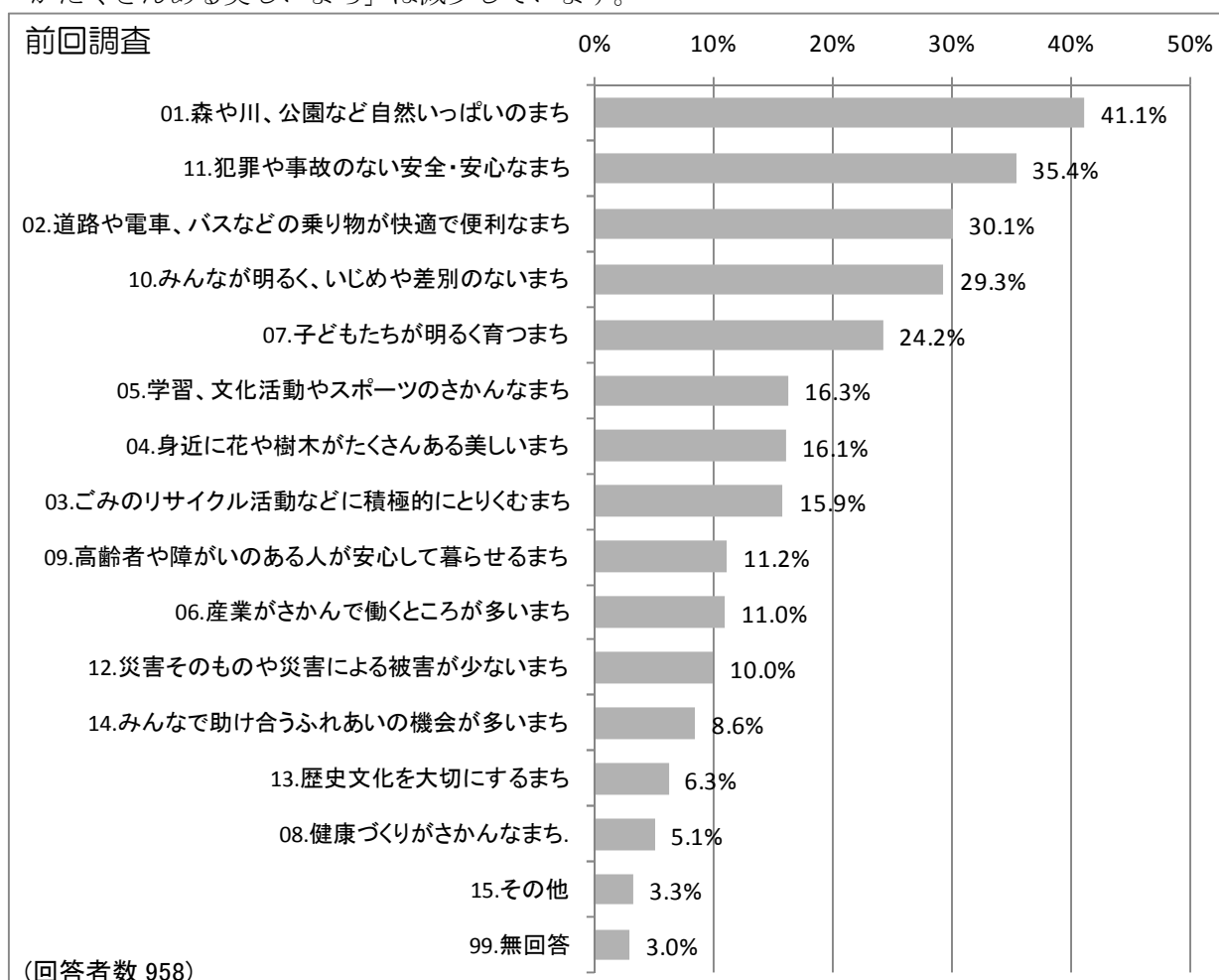
男性は「01. 森や川、公園など自然いっぱいのまち」、女性は「02. 道路や電車、バスなどの乗り物が快適で便利なまち」が最も多くなっています。また、女性は「10. みんなが明るく、いじめや差別のないまち」と「7. 子どもたちが明るく育つまち」を選択する割合が高くなっています。

### (3) 中学校別の傾向

石部は「01. 森や川、公園など自然いっぱいのまち」、甲西・甲西北は「11. 犯罪や事故のない安心・安全なまち」、日枝は「02. 道路や電車、バスなどの乗り物が快適で便利なまち」最も多くなっています。甲西北では「10. みんなが明るく、いじめや差別のないまち」が多く、他の中学校と比べても高い割合となっています。

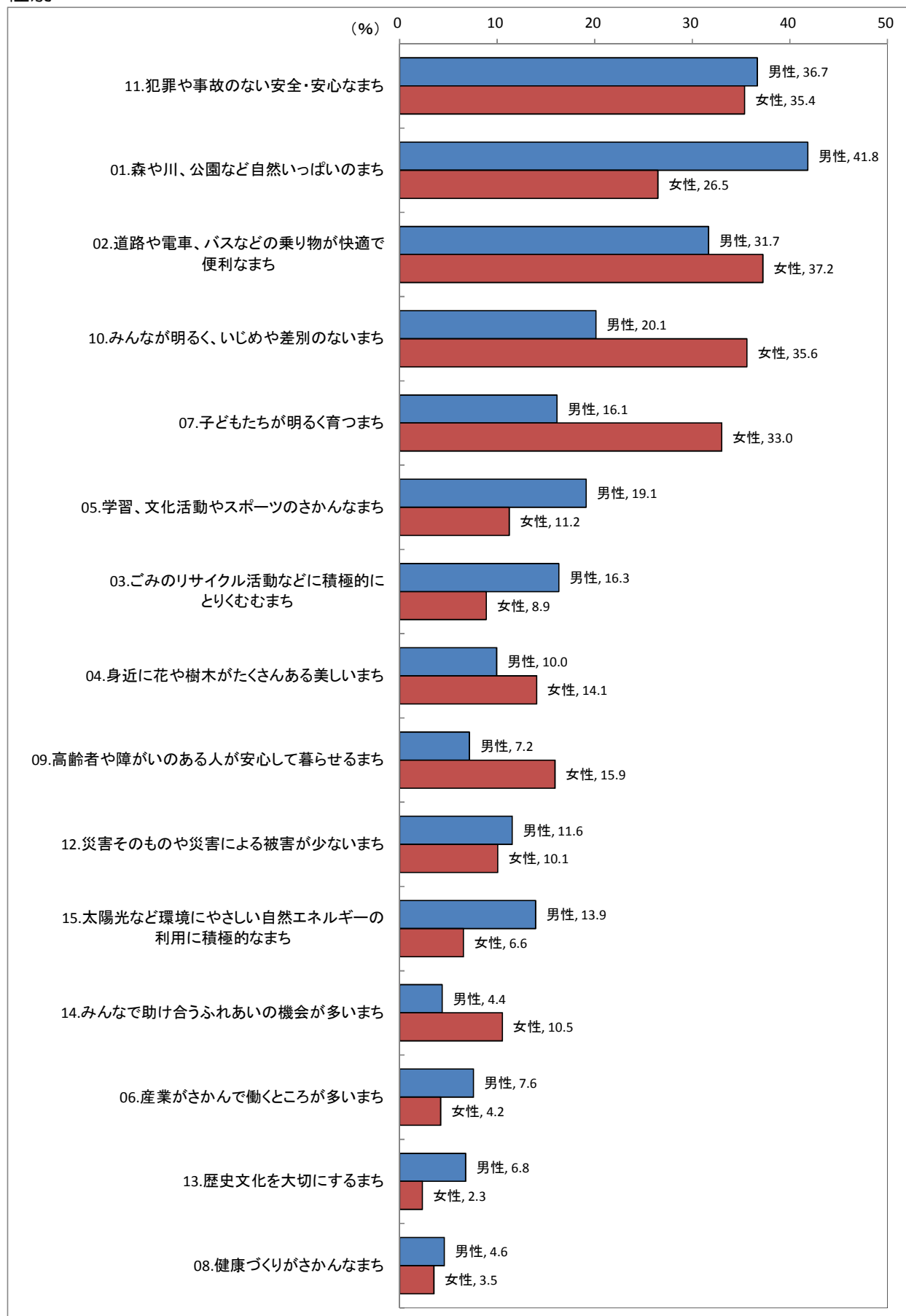
### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

前回の調査と比べ、「01. 森や川、公園など自然いっぱいのまち」を選択する割合が減少したため、割合が変わらない「11. 犯罪や事故のない安心・安全なまち」が1位に上がっています。また、「02. 道路や電車、バスなどの乗り物が快適で便利なまち」は割合が増加し、「04. 身近に花や樹木がたくさんある美しいまち」は減少しています。



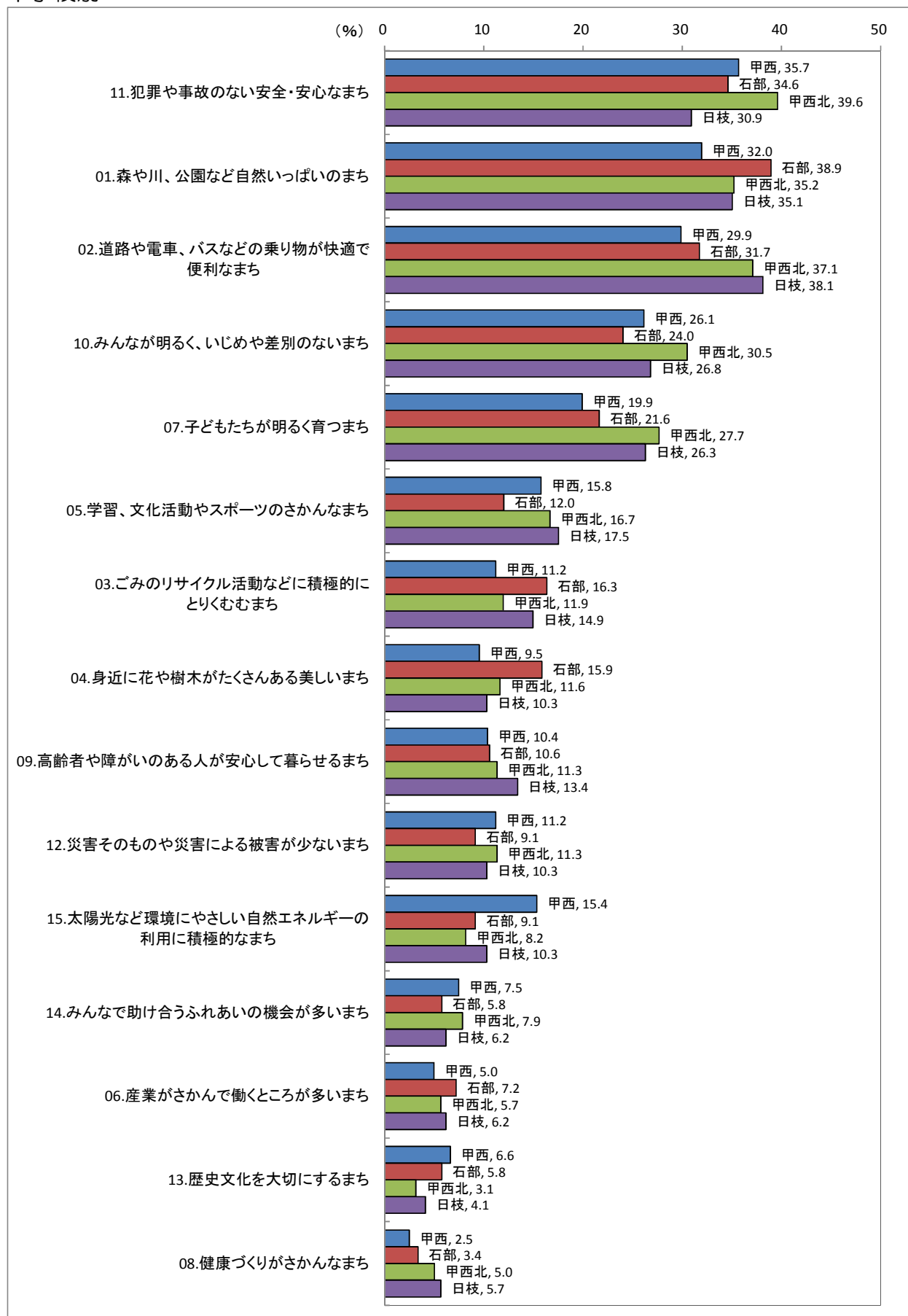


# 性別



(無回答、その他については非表示)

## 中学校別



(無回答、その他については非表示)

## 比較

### どんなまちにしたいか

一般・中学生ともに、「11. 犯罪や事故のない安心・安全なまち」、「02. 道路や公共交通が快適で便利なまち」・「02. 道路や電車、バスなどの乗り物が快適で便利なまち」が上位となっています。一方、中学校で回答が多かった「01. 森や川、公園など自然いっぱいのまち」(35.2%)は、一般において22.7%とやや低くなり、「09. 高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち」(一般：42.9%、中学生：11.3%)といった高齢者・障がい者の暮らしやすいまちに関する回答は多くなっています。

## 4. まちづくりへの市民参加

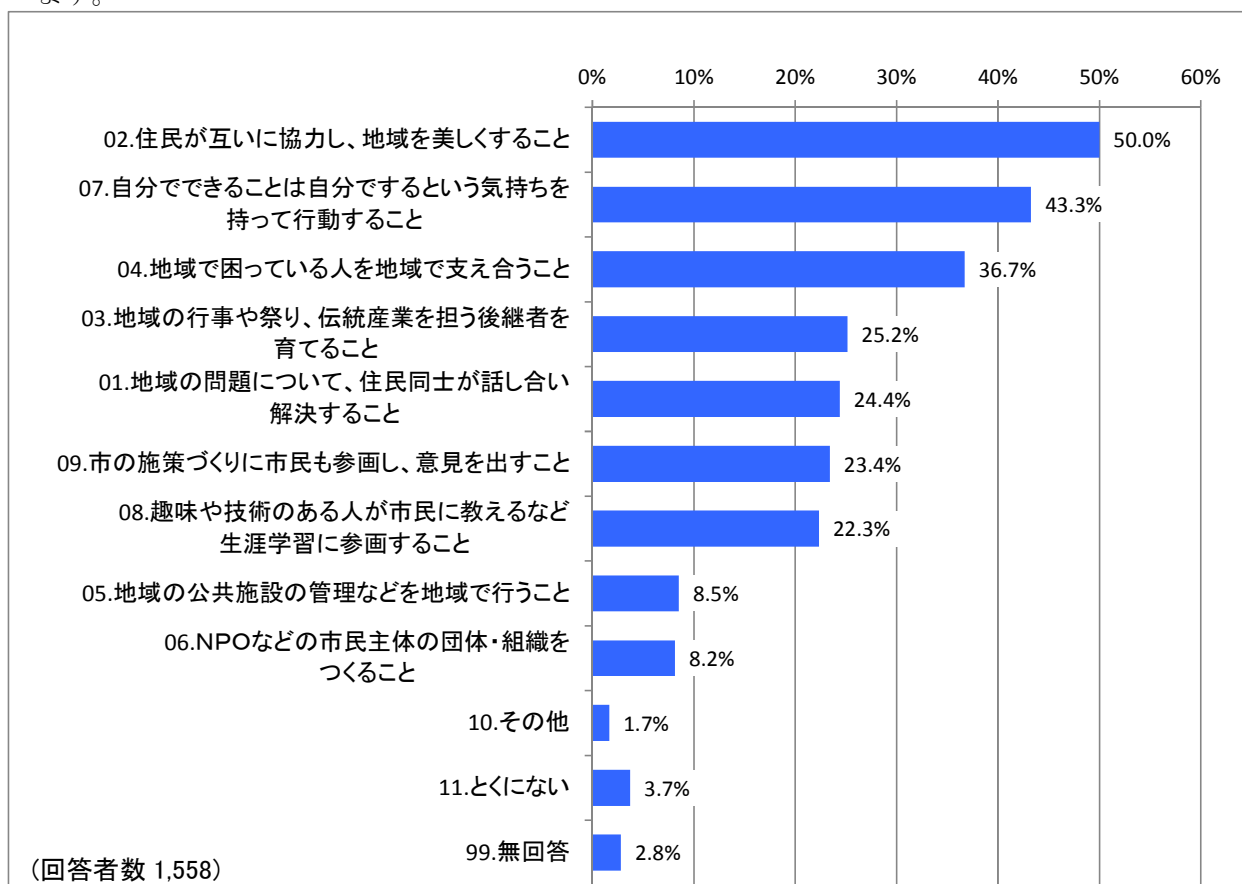
### 1) まちづくりで市民が参加できること

#### 一般

問6：住みよいまちづくりのためには、市民の皆さんの関わりが重要です。湖南省をもっと住みよいまちにするために、市民の皆さんができることはどのようなことだと思いますか。  
(3つまで選択)

#### (1) 全体の傾向

市民の皆さんができることについては、「02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること」が最も多く、回答者の50.0%となっています。次いで「07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること」、「04.地域で困っている人を地域で支え合うこと」の順となっています。



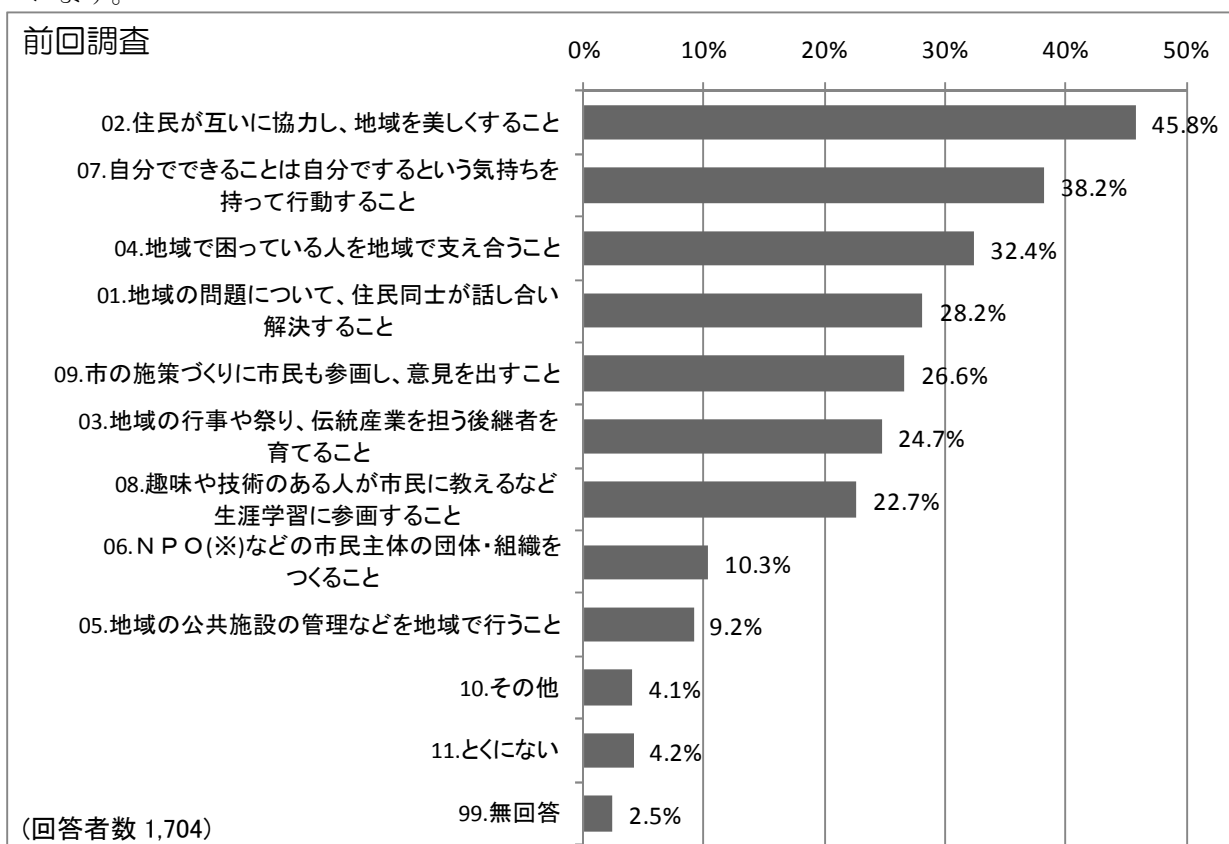
#### (2) 年齢別の傾向

10～60歳代で「02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること」が最も多く、回答者の約半数が選択しています。70歳以上では「07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること」が最も多く、回答者の60%が選択しています。

また、10歳代では「03.地域の行事や祭り、伝統産業を担う後継者を育てること」、70歳以上では「01.地域の問題について、住民同士が話し合い解決すること」が他の年齢と比べ、やや高くなっています。

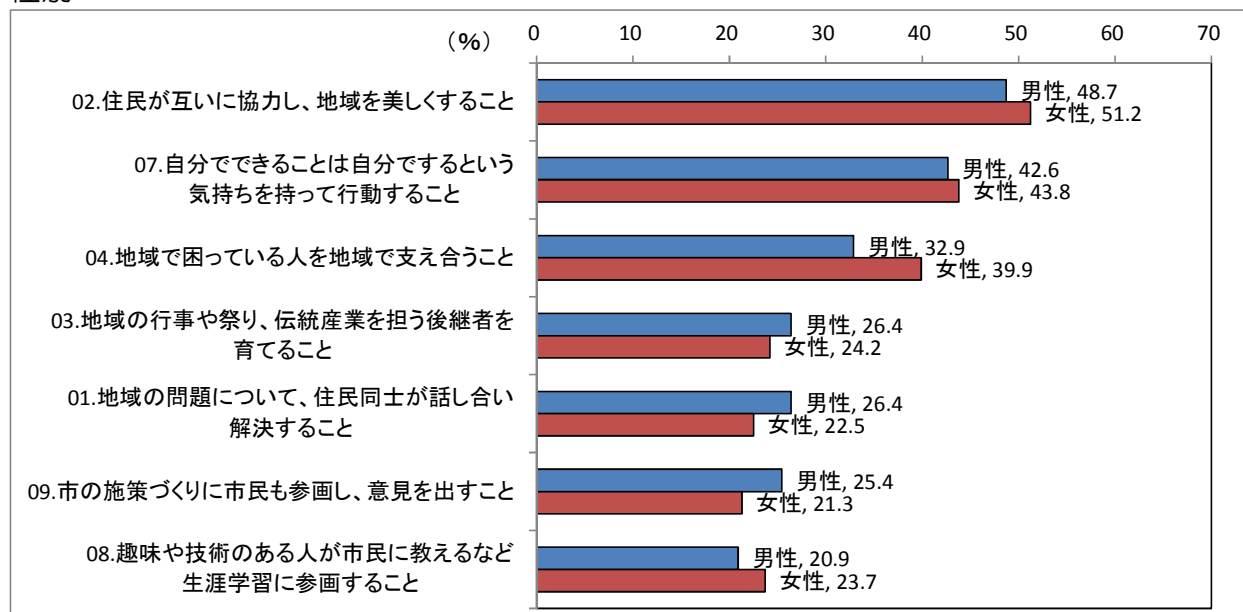
### (3) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

前回の調査と比べると、上位 3 番目までの順位に変動はないものの選択する割合は増加しています。一方、「01. 地域の問題について、住民同士が話し合い解決すること」は、割合が減少しています。

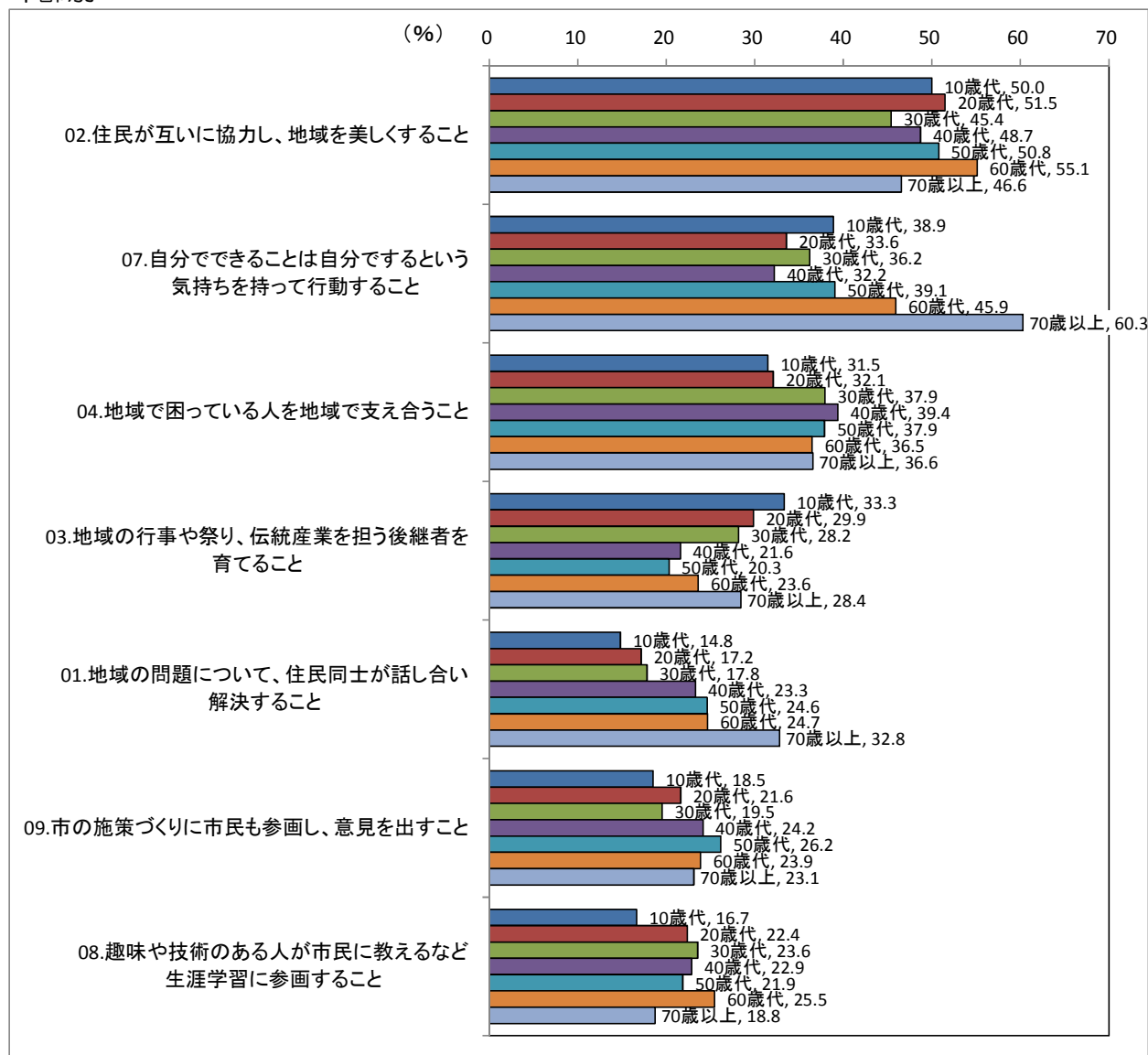


(※) NPO…環境、福祉、教育など特定のテーマについて市民主体の社会貢献活動を行う民間非営利組織。

## 性別



## 年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

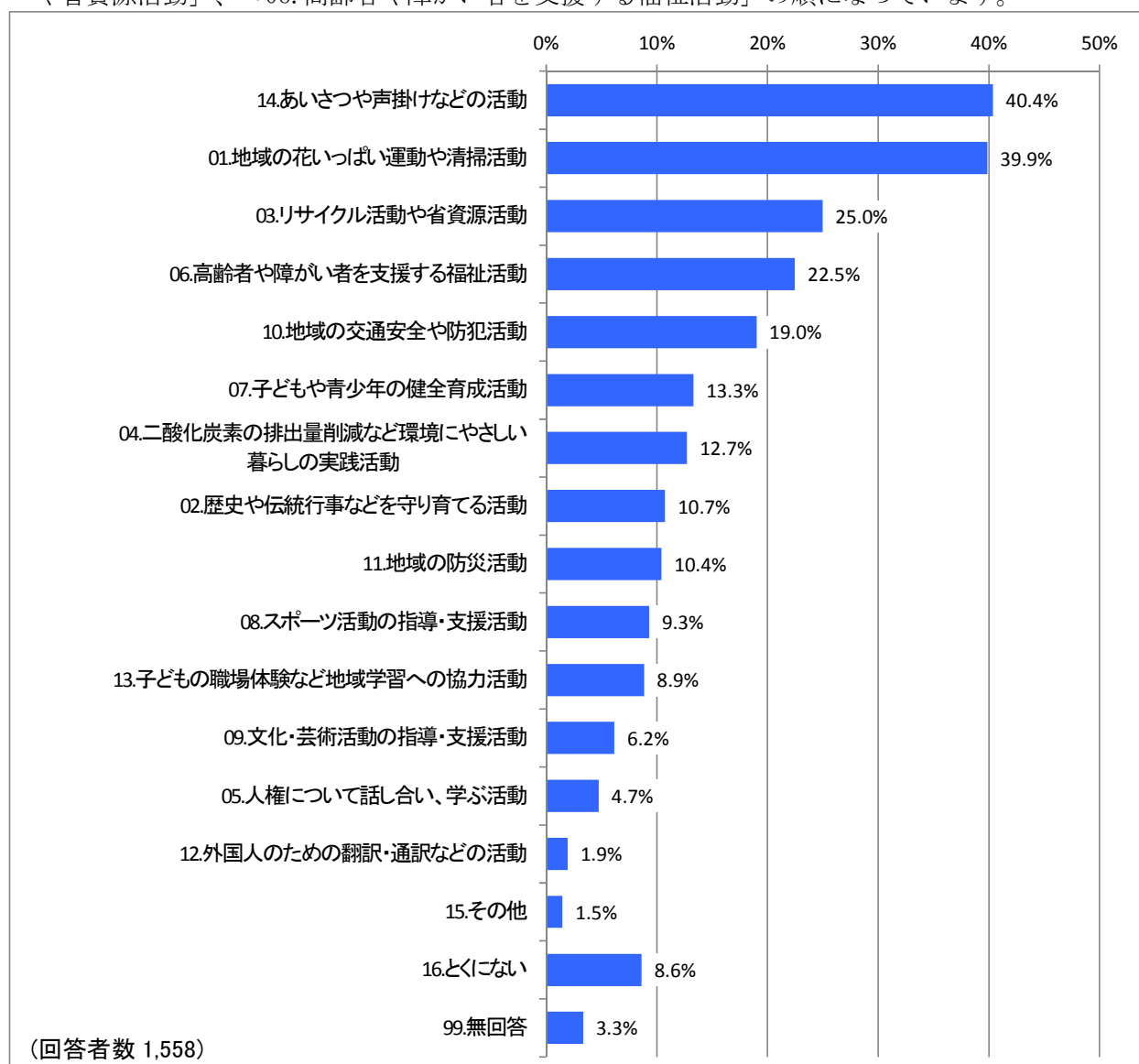
## 2) まちづくりで自分が参加できること

### 一般 自分が参加できること

問7：では、あなたが『何かに参加する』とすれば、どのようなことができると思いますか。  
(3つまで選択)

#### (1) 全体の傾向

回答者自身が参加することについては、「14. あいさつや声掛けなどの活動」と「01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動」が多く、回答者の40%程度を占めています。次いで「03. リサイクル活動や省資源活動」、「06. 高齢者や障がい者を支援する福祉活動」の順になっています。



#### (2) 性別の傾向

「14. あいさつや声掛けなどの活動」と「01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動」を選択する割合が、男性は低く、女性は高くなっています。

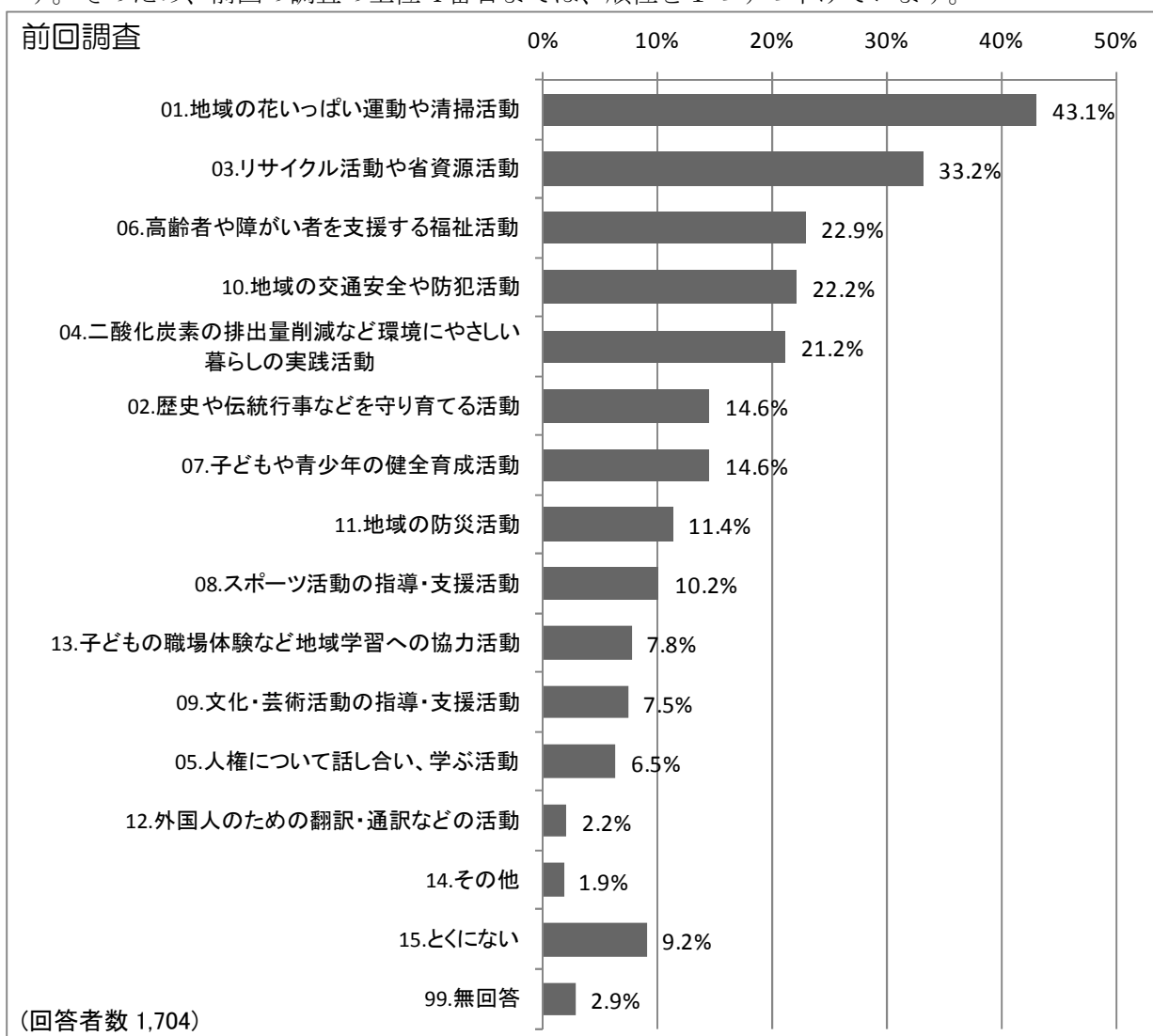
### (3) 年齢別の傾向

10 歳代・50 歳代を除く全ての年齢で「14. あいさつや声掛けなどの活動」が最も多く、70 歳以上は回答者の半数が選択しています。10 歳代・50 歳代は「01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動」が最も多くなっています。

また、年齢が高くなるにつれ、「06. 高齢者や障がい者を支援する福祉活動」を選択する割合が高くなります。

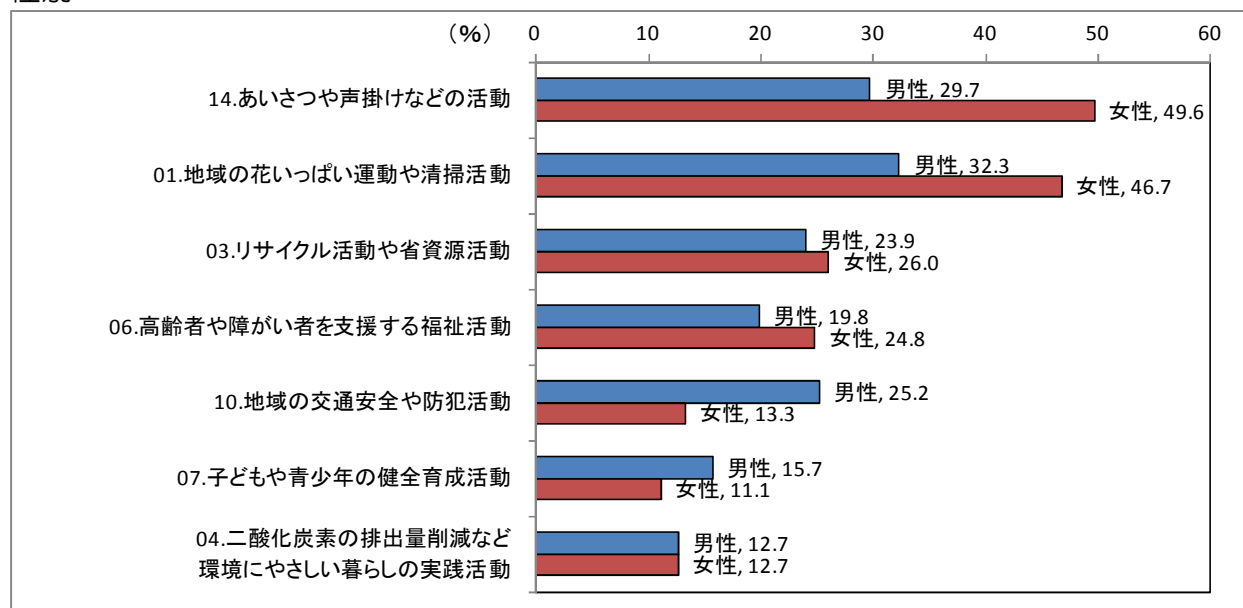
### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

今回調査の新たな選択肢である「14. あいさつや声掛けなどの活動」の順位が 1 位となっています。そのため、前回の調査の上位 4 番目までは、順位を 1 つずつ下げています。

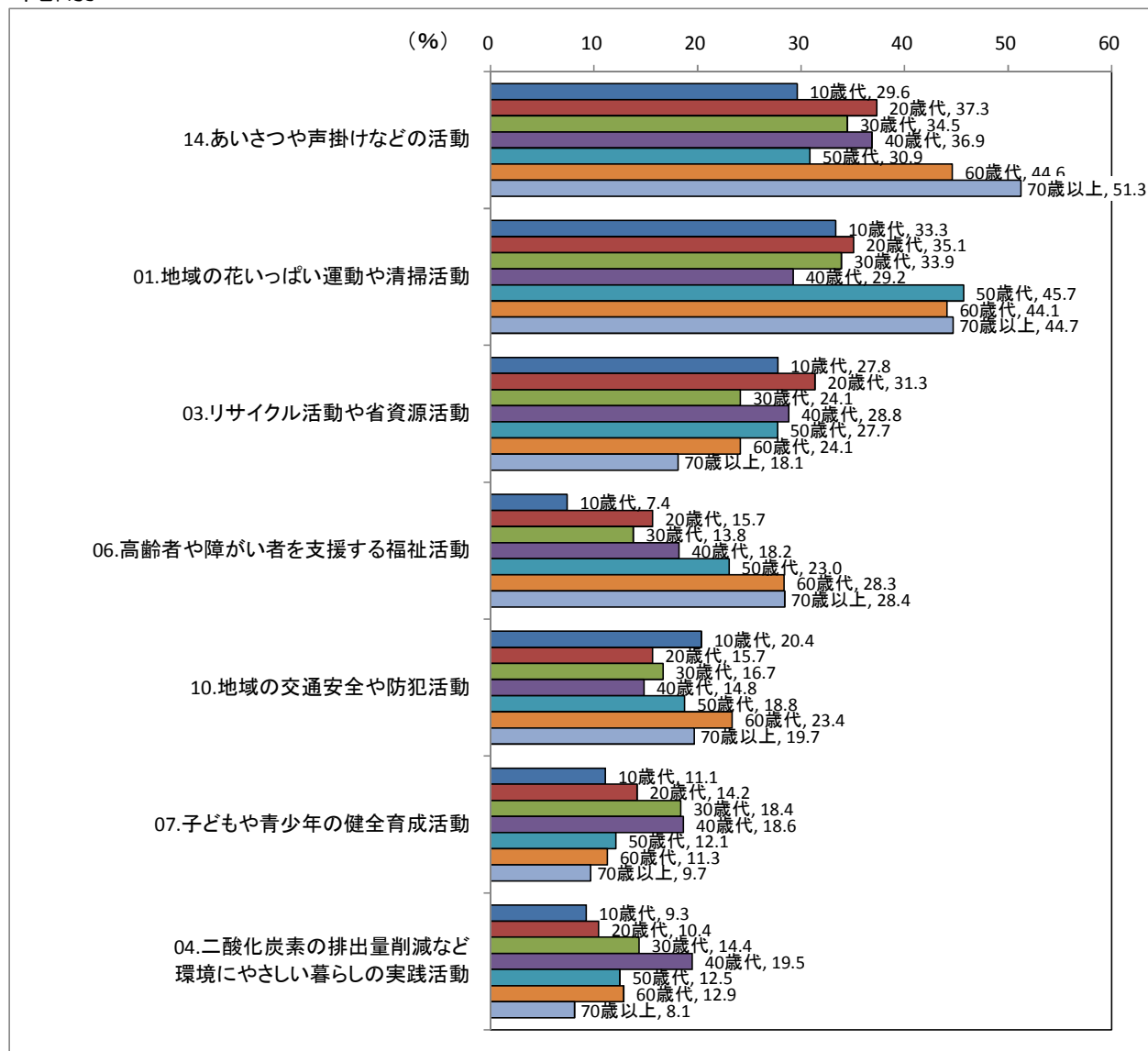




## 性別



## 年齢別

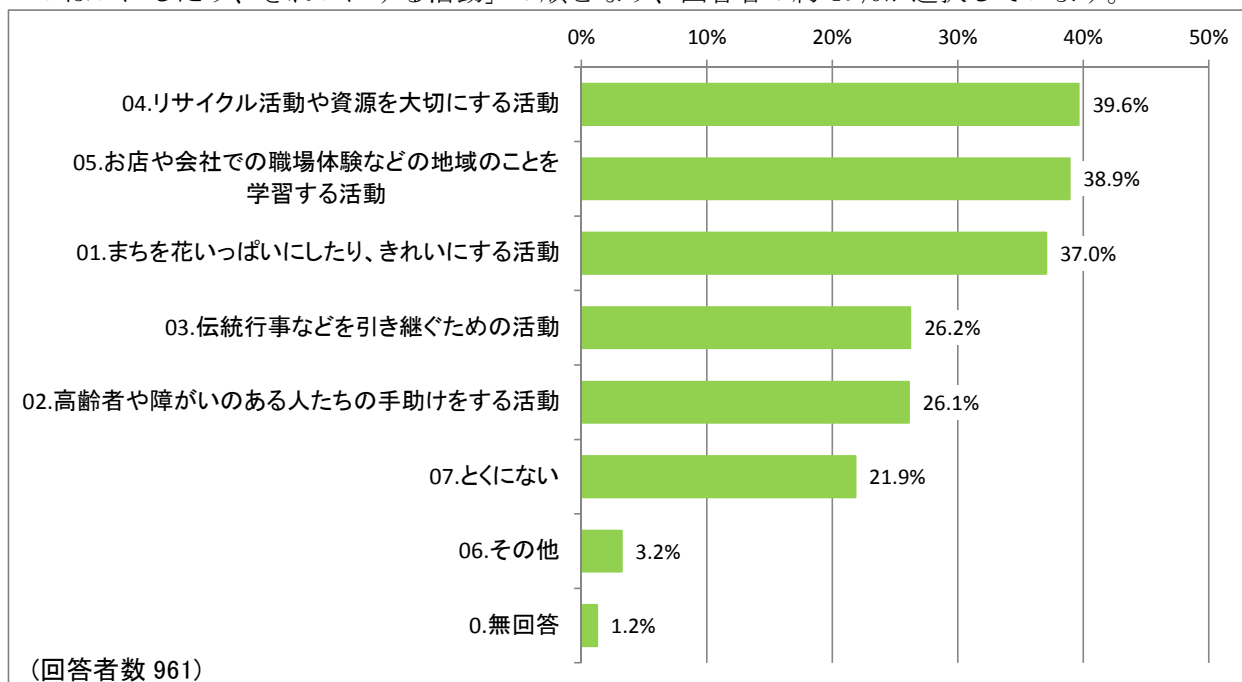


(選択率の高い、上位7位までを表示)

問4：住みよいまちづくりのためには、皆さん自らの積極的なまちづくりへの参加が必要です。湖南省をもっと住みよいまちにするために、あなたが『何かに参加する』とすれば、どのようなことができると思いますか。（3つまで選択）

### (1) 全体の傾向

回答者自身が参加できることについては、「04.リサイクル活動や資源を大切にす活動」が最も多く、次いで「05.お店や会社での職場体験など地域のことを学習する活動」、「01.まちを花いっぱいにしたり、きれいにす活動」の順となり、回答者の約40%が選択しています。



### (2) 性別の傾向

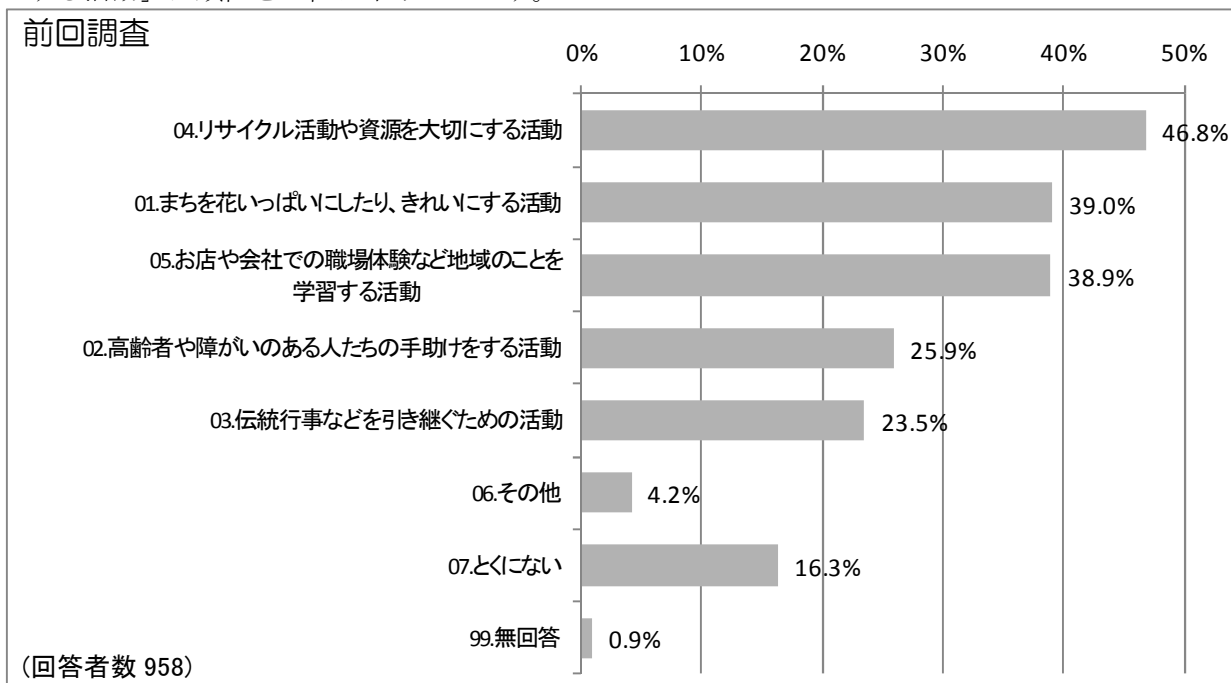
女性は「05.お店や会社での職場体験など地域のことを学習する活動」と「01.まちを花いっぱいにしたり、きれいにす活動」が最も多くなっています。

### (3) 中学校別の傾向

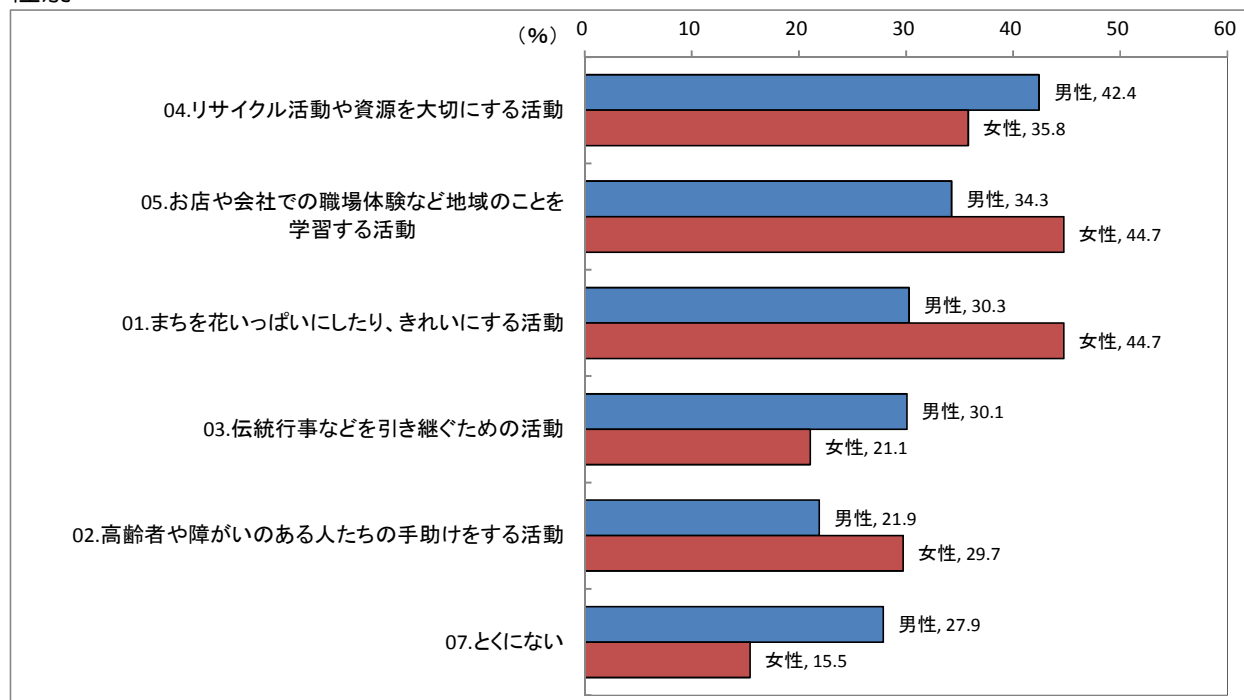
甲西・石部・日枝は「04.リサイクル活動や資源を大切にす活動」が最も多く、次いで「05.お店や会社での職場体験など地域のことを学習する活動」となっています。甲西北では「05.お店や会社での職場体験など地域のことを学習する活動」が最も多く、次いで「01.まちを花いっぱいにしたり、きれいにす活動」となっています。甲西北では「伝統行事などを引き継ぐための活動」が、甲西では「02.高齢者や障がいのある人たちの手助けをす活動」が他の中学校と比べ、やや高くなっています。

#### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

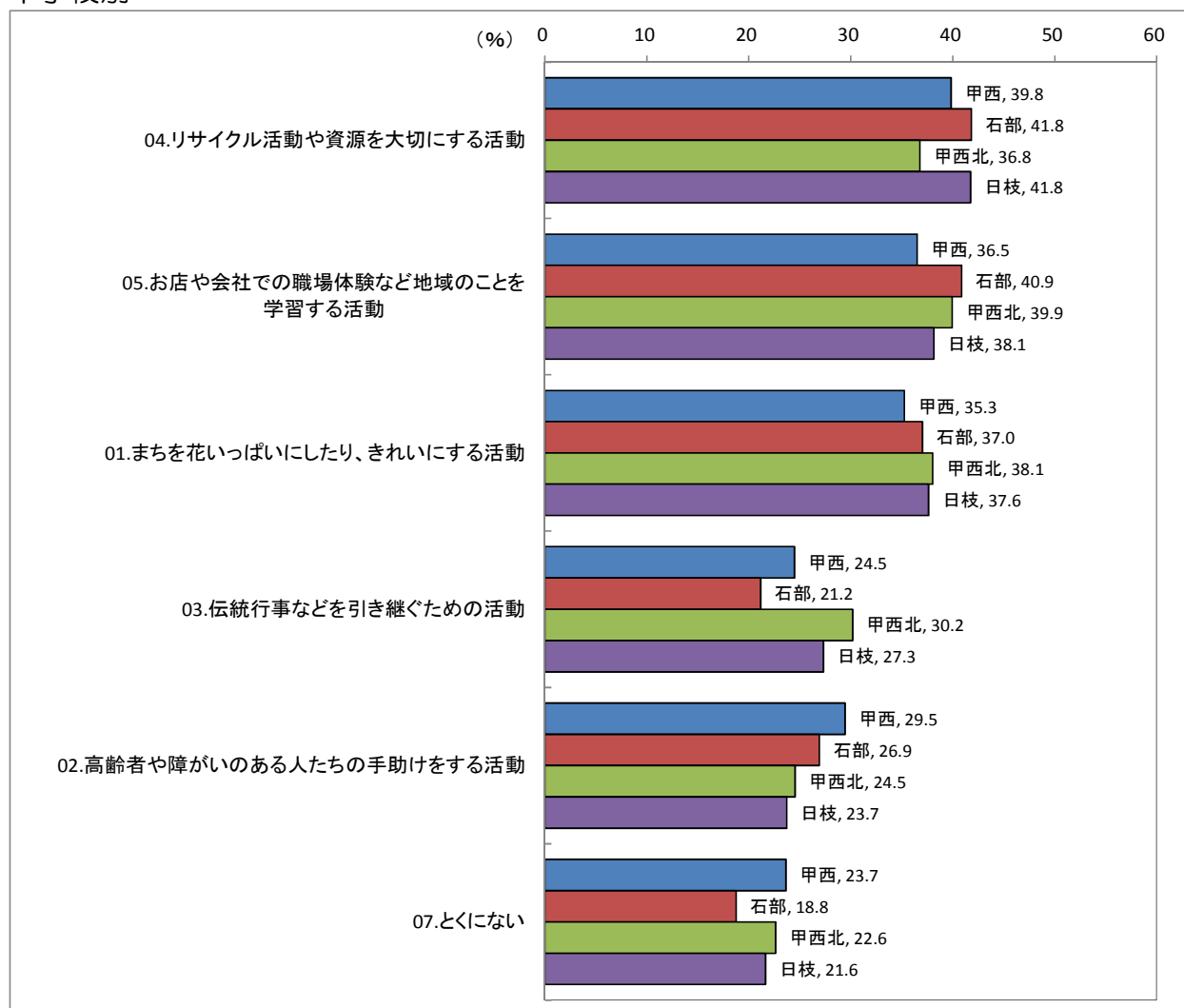
前回の調査に引き続き、1位は「04.リサイクル活動や資源を大切に活動」となっていますが、選択される割合は減少しています。2位であった「01.まちを花いっぱいにしたり、きれいに活動」は順位を3位に下げています。



## 性別



## 中学校別



(無回答、その他については非表示)

## 5. 今後のまちづくりに必要なこと

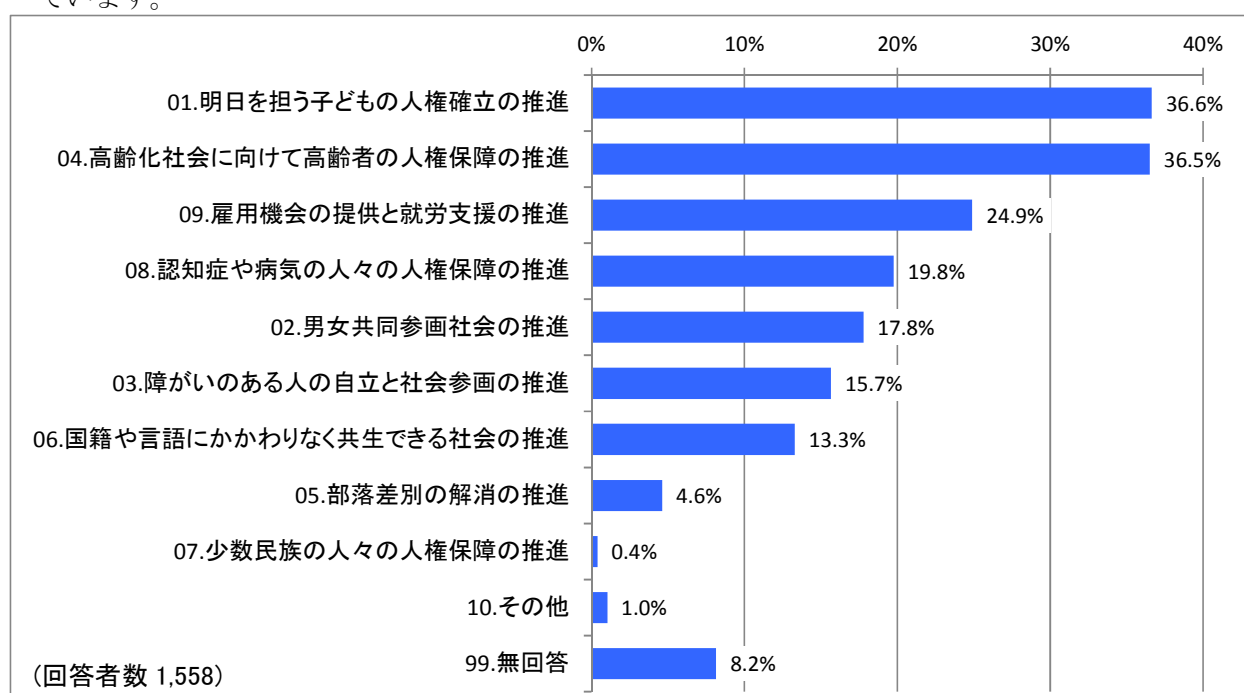
### 1) 人権尊重のまちづくり

#### 一般

問8：人権尊重のまちづくりを推進するために、とくに充実すべき事からは次のうちどれですか。  
(2つまで選択)

#### (1) 全体の傾向

人権尊重のまちづくりの推進については、「01. 明日を担う子どもの人権確立の推進」が最も多く、次いで「04. 高齢化社会に向けて高齢者の人権保障の推進」となっており、ともに35%を超えています。

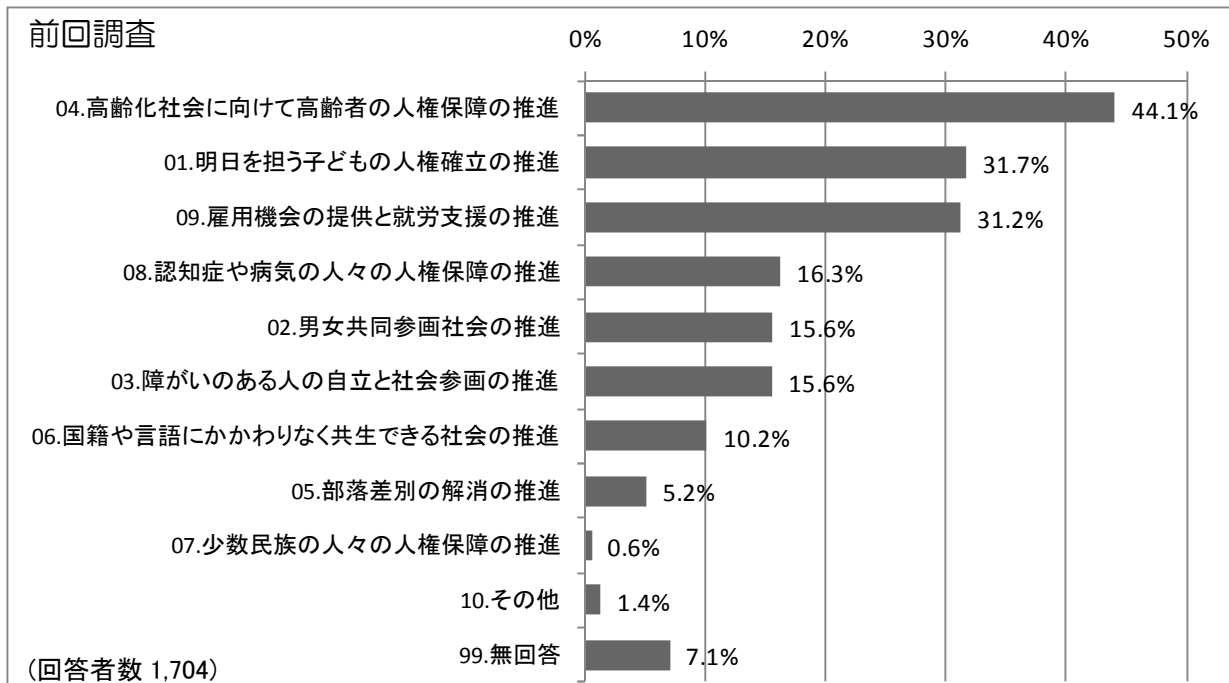


#### (2) 年齢別の傾向

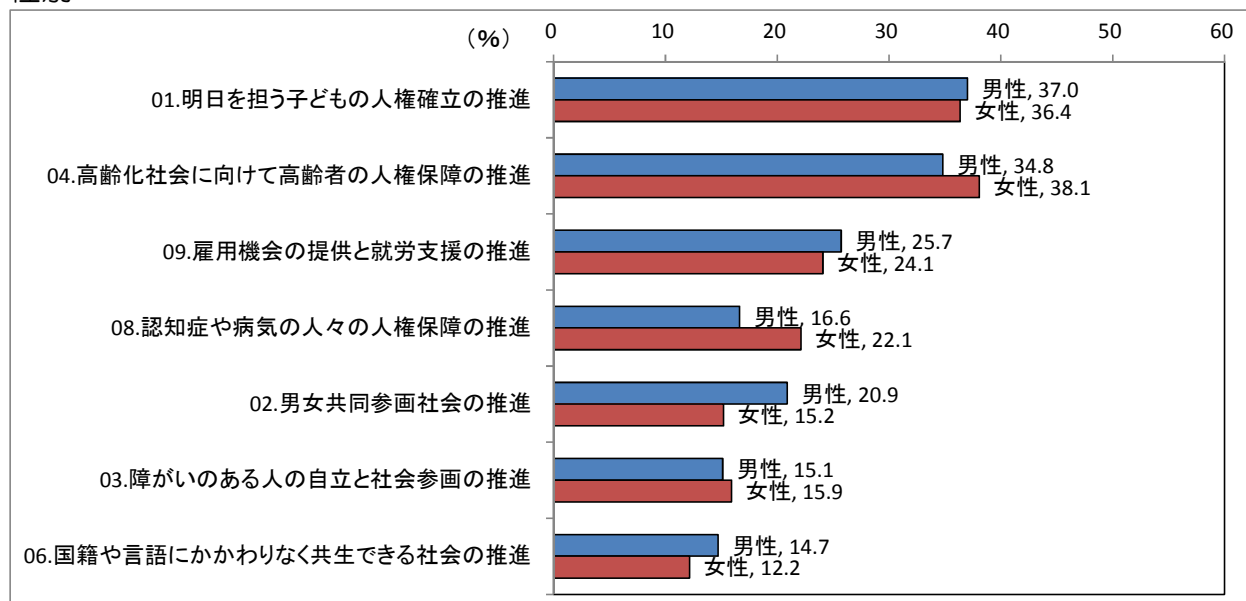
年齢が高くなるにつれ、「04. 高齢化社会に向けて高齢者の人権保障の推進」を選択する割合が高くなり、50歳以上では、回答者の40%以上が選択しています。60歳以上では、「08. 認知症や病気の人々の人権保障の推進」を選択する割合も高くなっています。また、10歳代は「09. 雇用機会の提供と就労支援の推進」、20～40歳代は「01. 明日を担う子どもの人権確立の推進」が最も多くなっています。

### (3) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

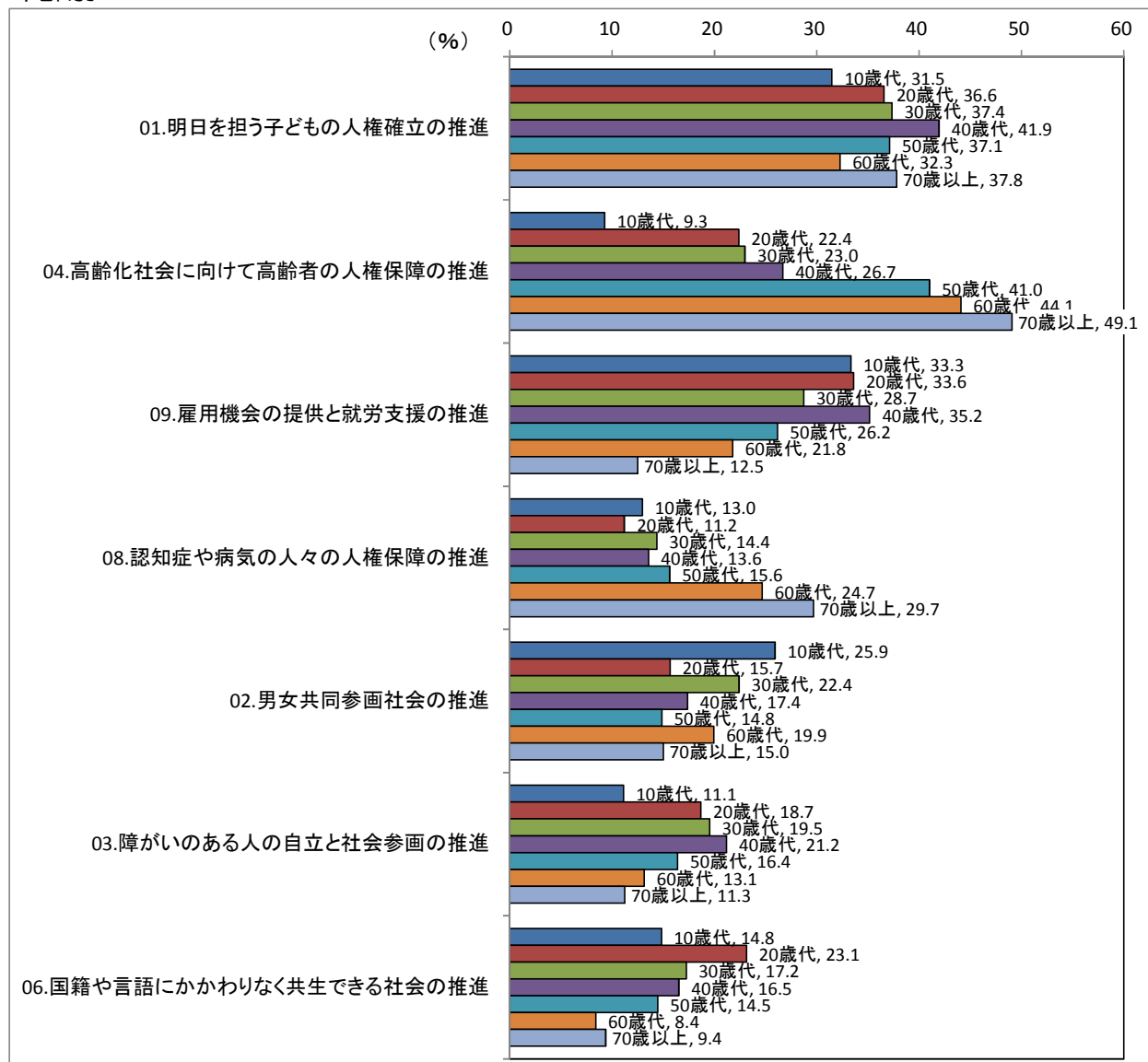
前回の調査で 1 位であった「04. 高齢化社会に向けて高齢者の人権保障の推進」を選択する割合が減少し、今回調査での順位が 2 位となっています。代わりに「01. 明日を担う子どもの人権確立の推進」の割合が増加し、順位が 1 位に上がっています。また、「09. 雇用機会の提供と就労支援の推進」を選択する割合が減少しています。



## 性別



## 年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

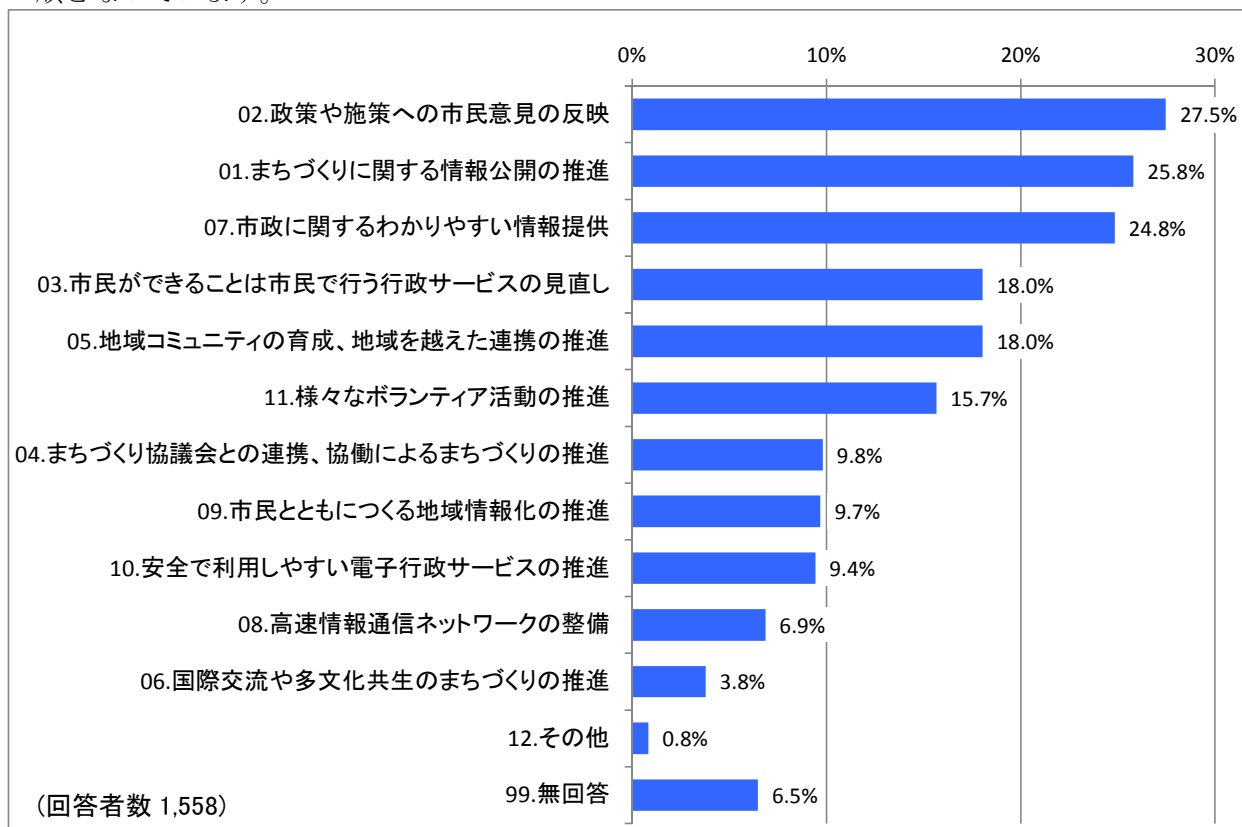
## 2) 自立・自助のまちづくり

### 一般

問9：自立・自助のまちづくりを推進するために、とくに必要な事からは次のうちどれですか。  
(2つまで選択)

#### (1) 全体の傾向

自立・自助のまちづくりの推進については、「02. 政策や施策への市民意見の反映」が最も多く、次いで「01. まちづくりに関する情報公開の推進」、「07. 市政に関するわかりやすい情報提供」の順となっています。



#### (2) 年齢別の傾向

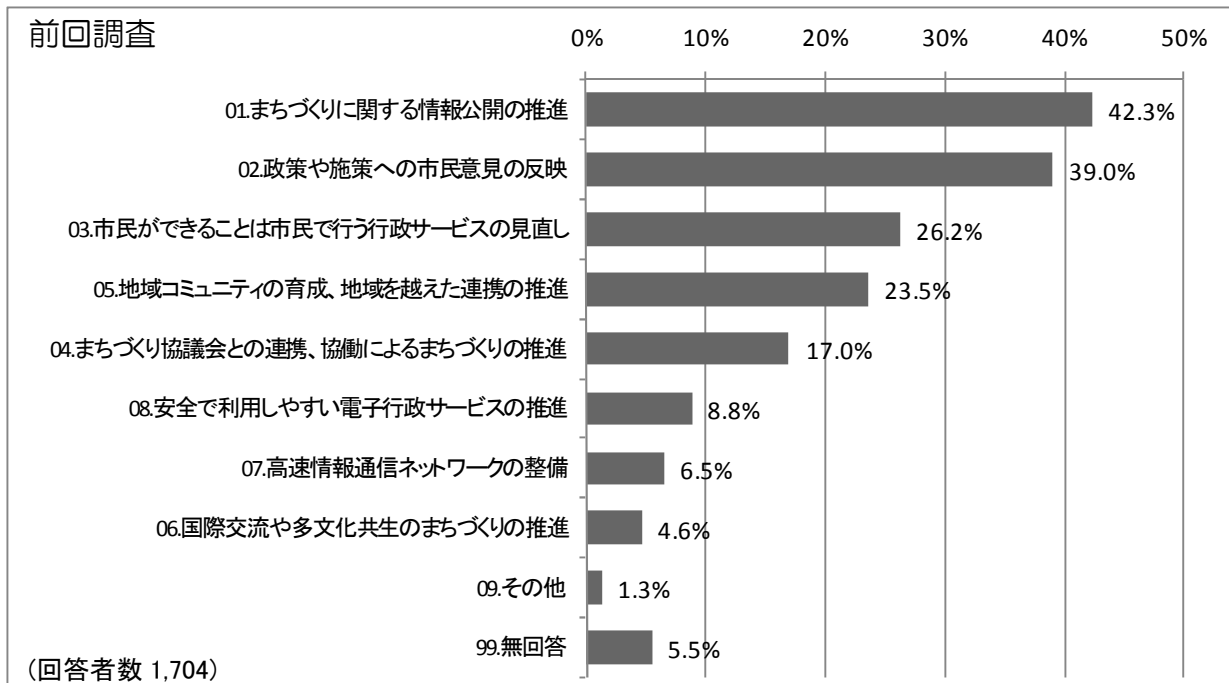
年齢が高くなるにつれ、「07. 市政に関するわかりやすい情報提供」を選択する割合が高くなっています。また、20～50歳代にかけて、「02. 政策や施策への市民意見の反映」を選択する割合が高くなっています。10歳代では「08. 高速情報通信ネットワークの整備」を選択する割合が高くなっています。



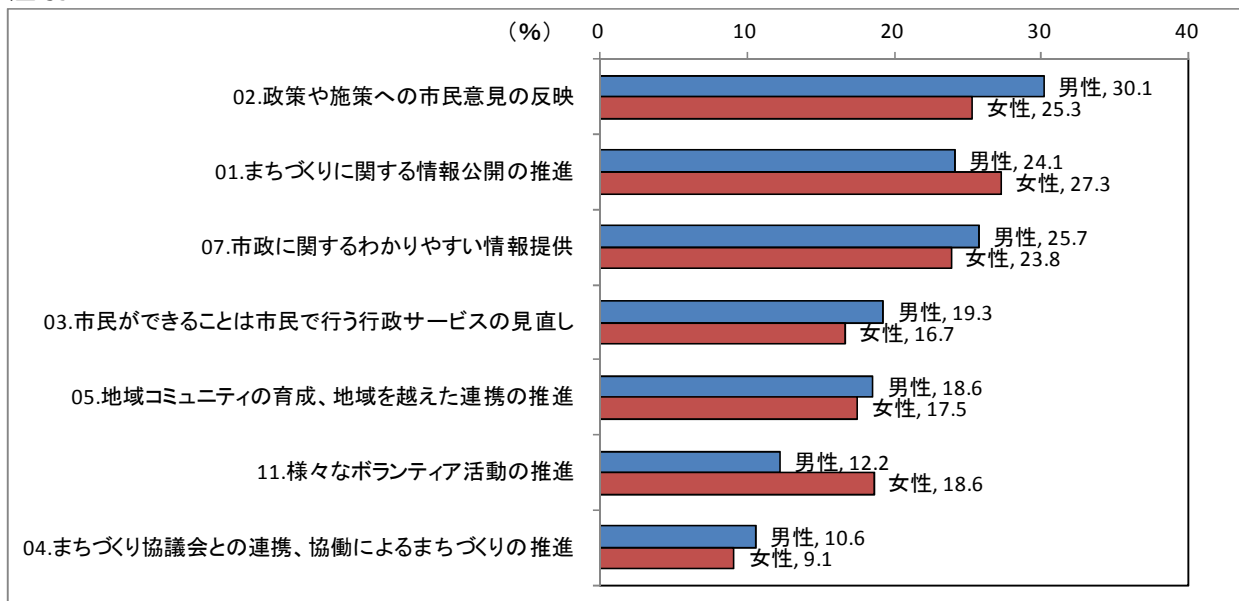
### (3) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

前回の調査で最も選択される割合が高かった「01. まちづくりに関する情報公開の推進」が、今回調査で2位となり、代わりに「02. 政策や施策への市民意見の反映」が1位に上がっています。

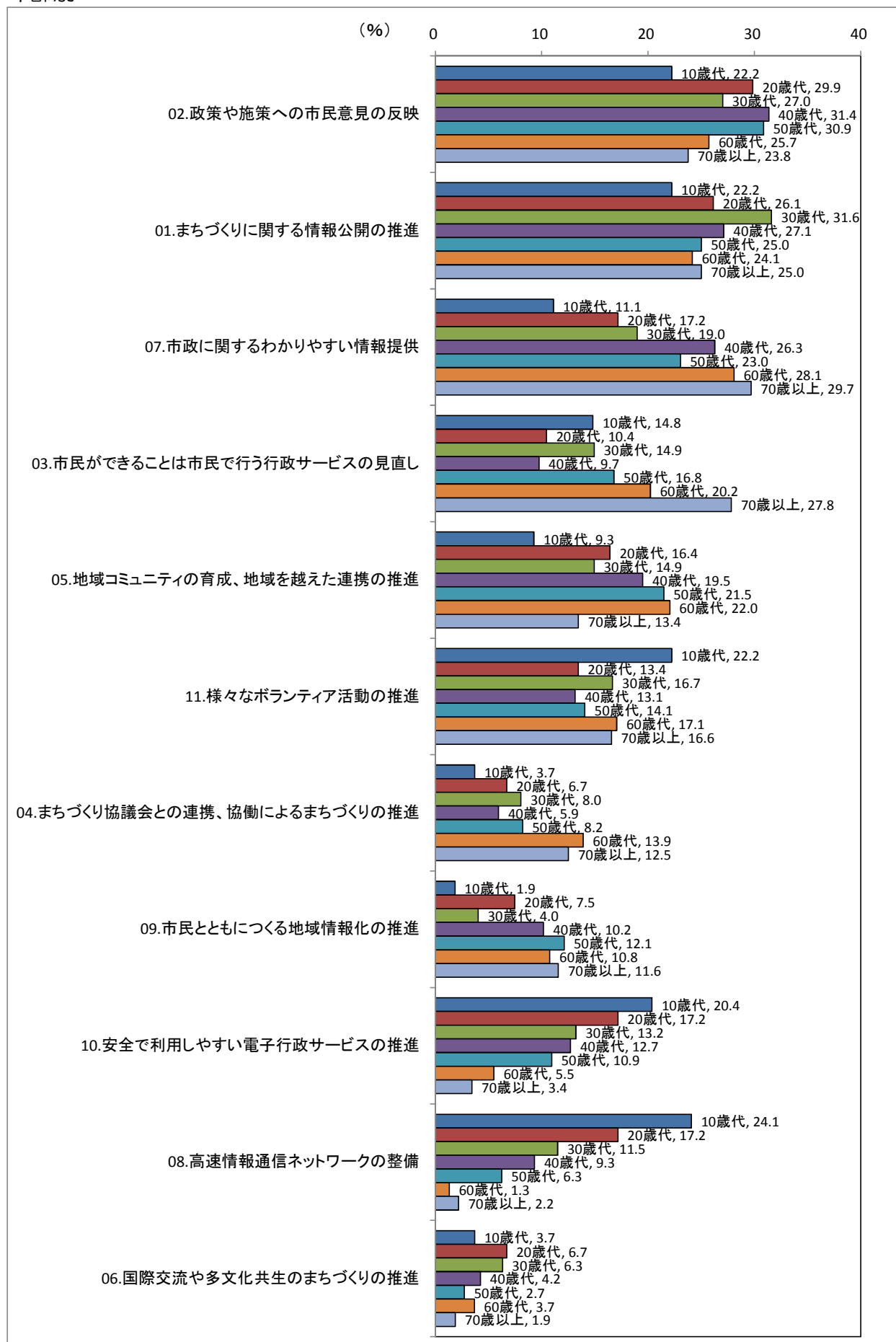
今回調査の新たな選択肢である「07. 市政に関するわかりやすい情報提供」の順位が3位となっています。



# 性別



# 年齢別



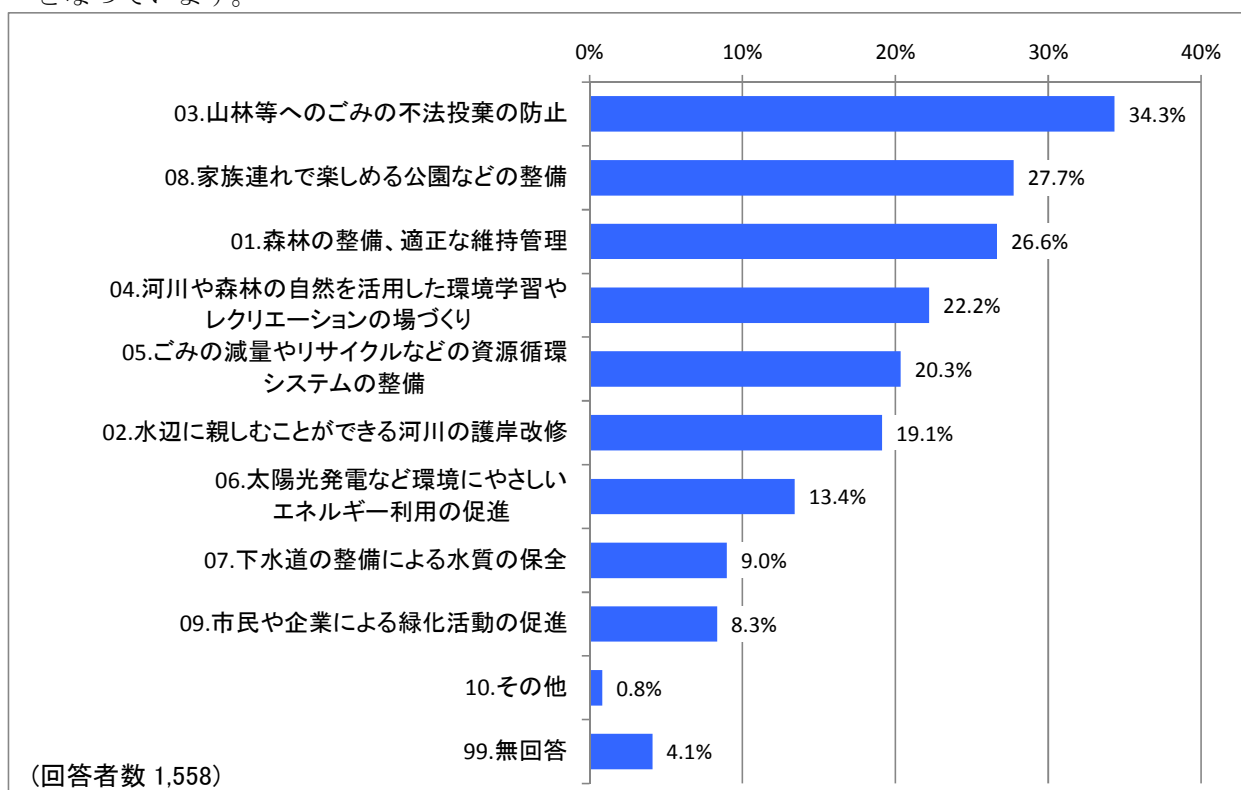
### 3) 自然を活かし、自然と共生するまちづくり

#### 一般

問 10：自然を活かし、自然と共生するまちづくりを推進するために、とくに必要な事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

#### (1) 全体の傾向

自然を活かし、自然と共生するまちづくりの推進については、「03. 山林等へのごみの不法投棄の防止」が最も多く、次いで「08. 家族連れで楽しめる公園などの整備」、「01. 森林の整備、適正な維持管理」、「04. 河川や森林の自然を活用した環境学習やレクリエーションの場づくり」の順となっています。



#### (2) 年齢別の傾向

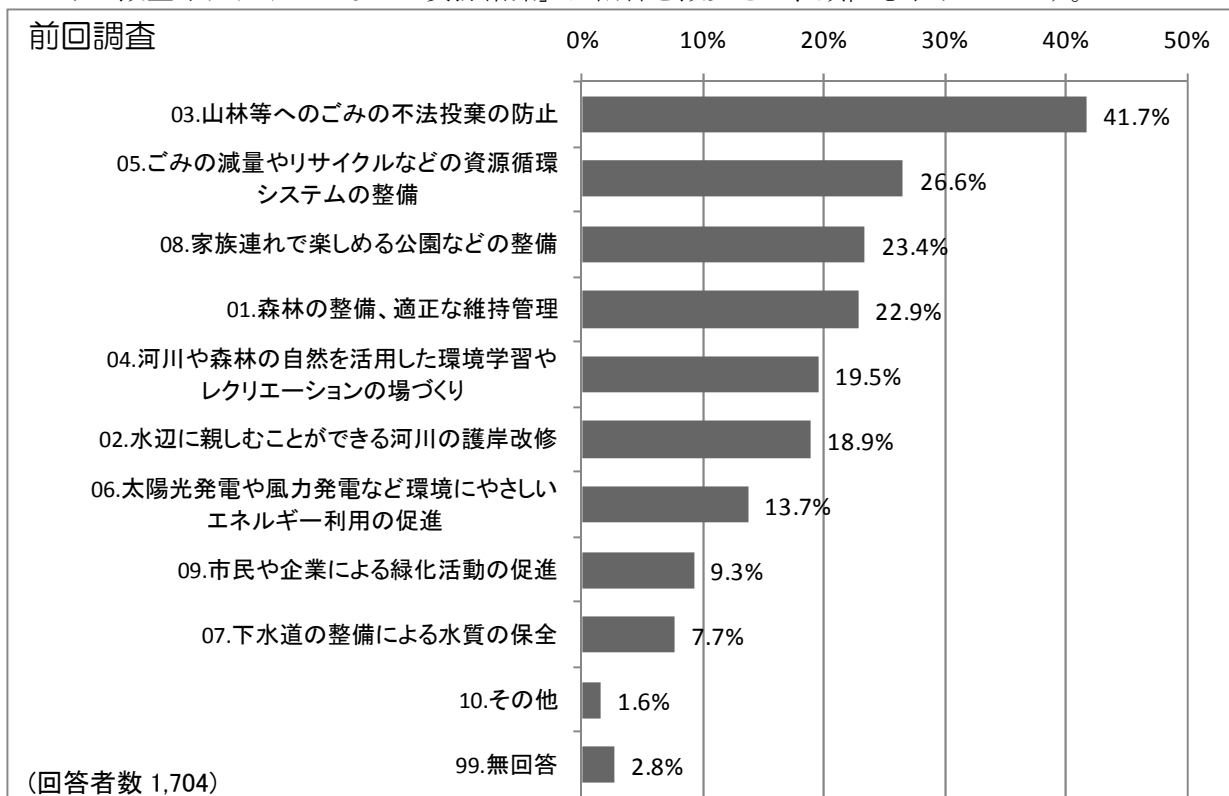
全ての年齢において、「03. 山林等へのごみの不法投棄の防止」を選択する割合が高くなっています。また、30歳代では「08. 家族連れで楽しめる公園などの整備」、40歳代では「01. 森林の整備、適正な維持管理」への回答が高くなっています。

#### (3) 居住地区別の傾向

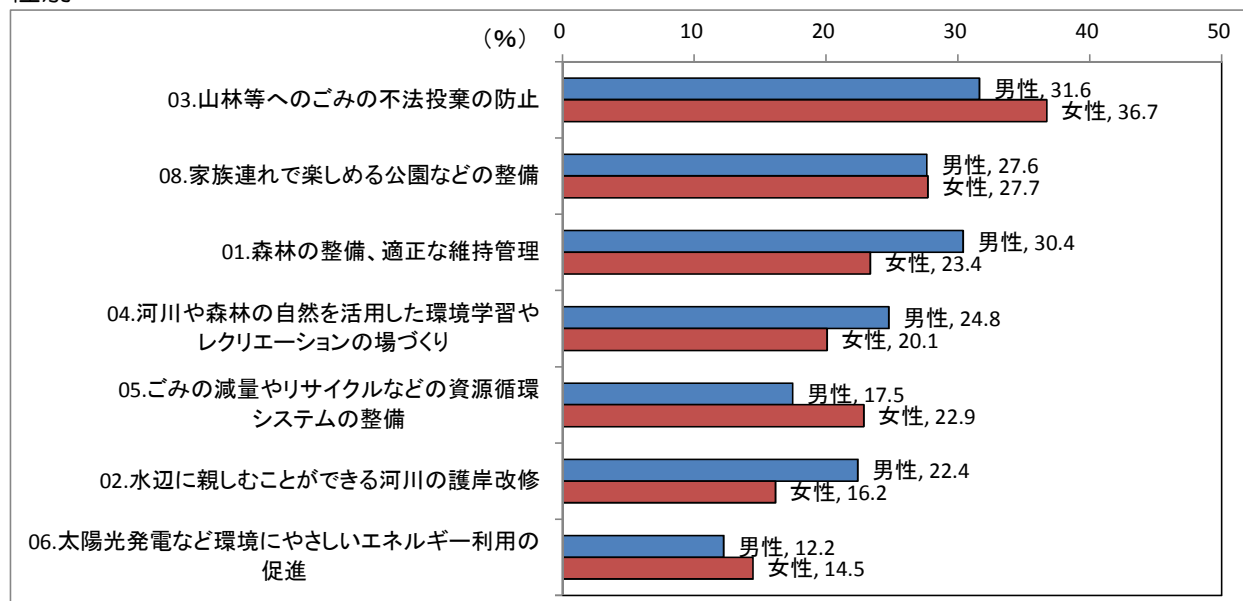
全ての地区で「03. 山林等へのごみの不法投棄の防止」を選択する割合が高くなっています。また、石部南・菩提寺北では「01. 森林の整備、適正な維持管理」を、三雲東・下田・水戸では「08. 家族連れで楽しめる公園などの整備」を選択する割合が、それぞれ他の地区と比べ高くなっています。

#### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

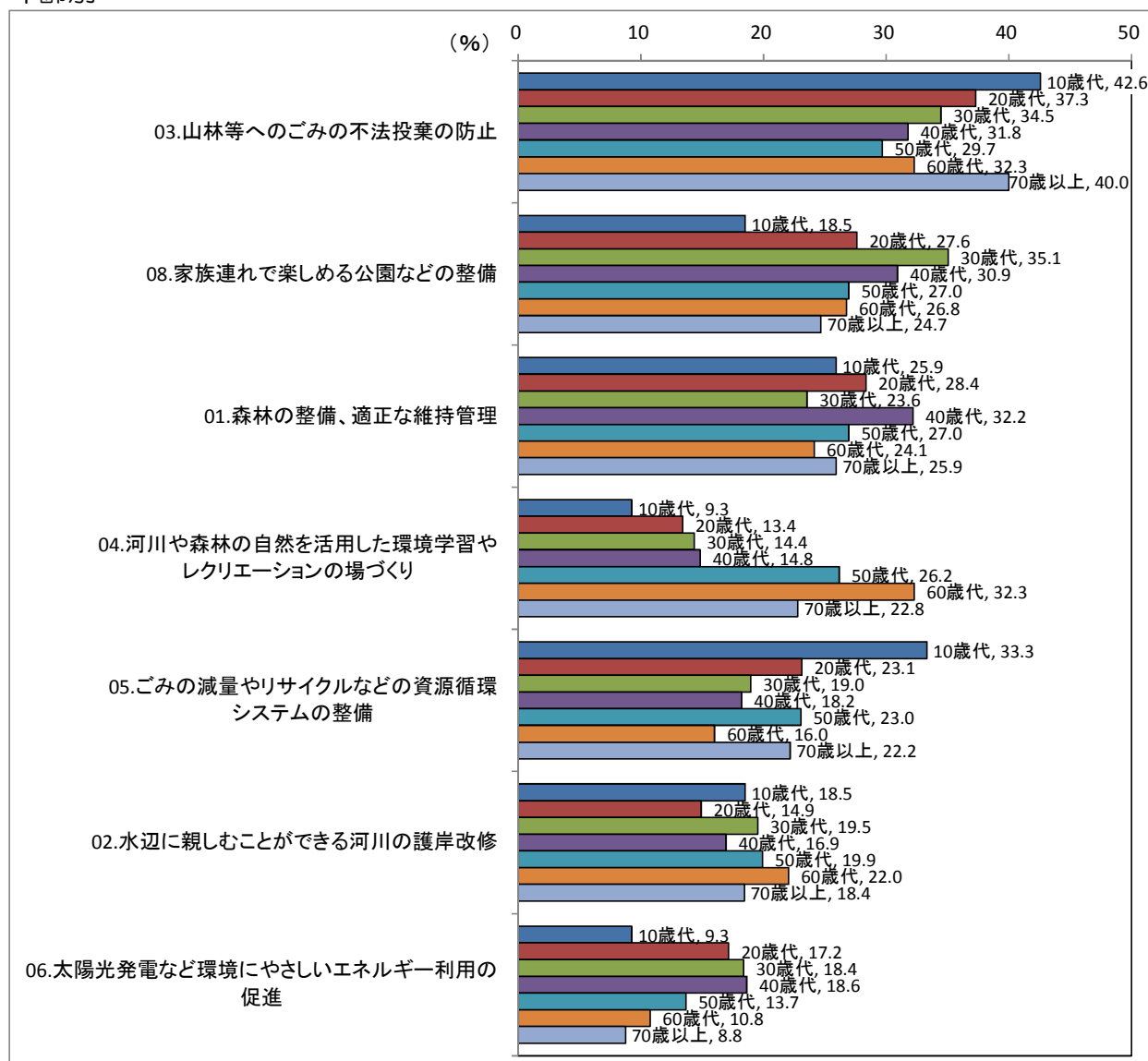
前回の調査に引き続き、1位は「03. 山林等へのごみの不法投棄の防止」ですが、選択される割合が減少しています。一方、「08. 家族連れで楽しめる公園などの整備」、「01. 森林の整備、適正な維持管理」は選択される割合が増え、順位を1つずつ上げています。また、2位であった「05. ごみの減量やリサイクルなどの資源循環」は割合を減少させ、順位も下げています。



## 性別

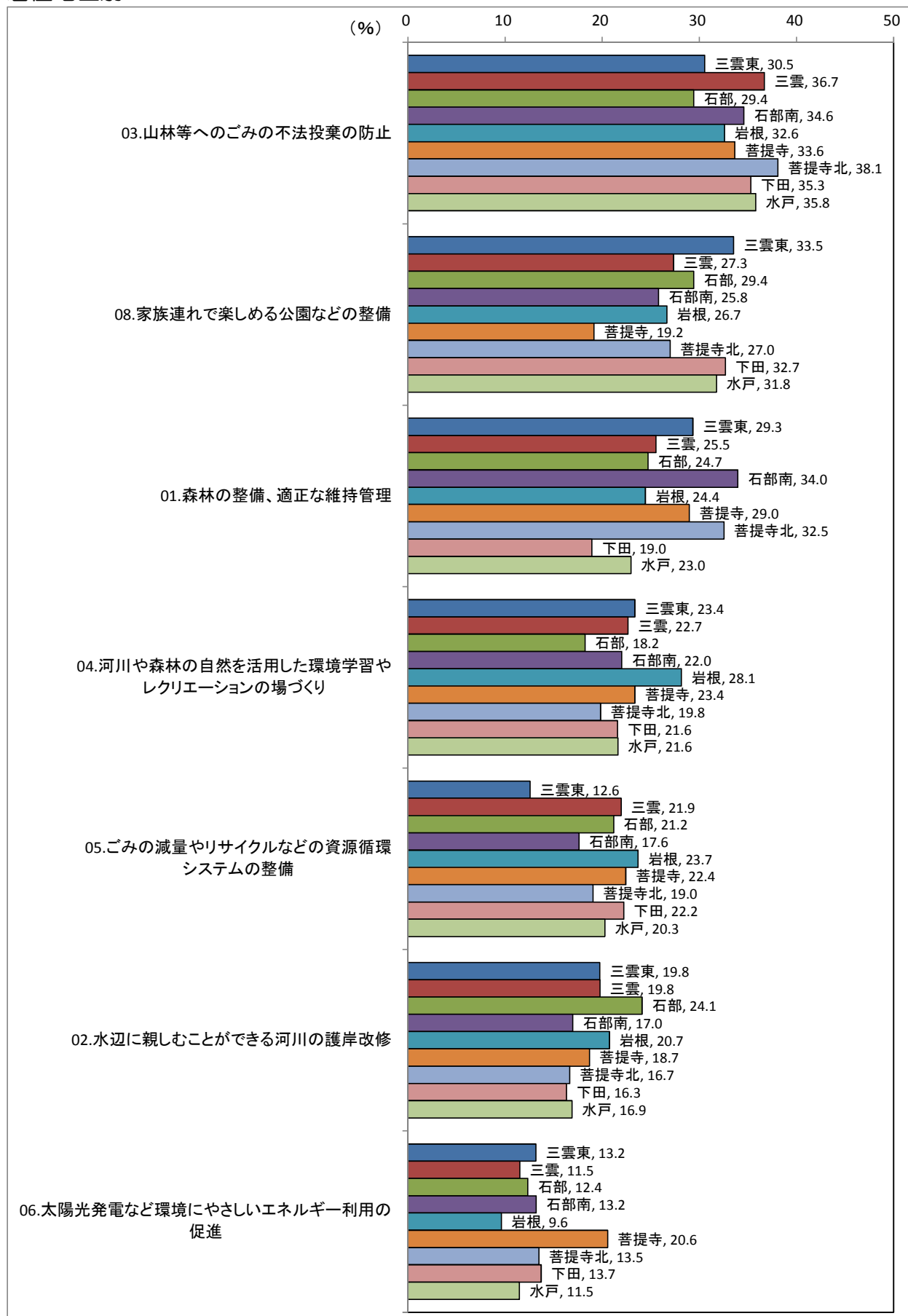


## 年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

## 居住地区別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

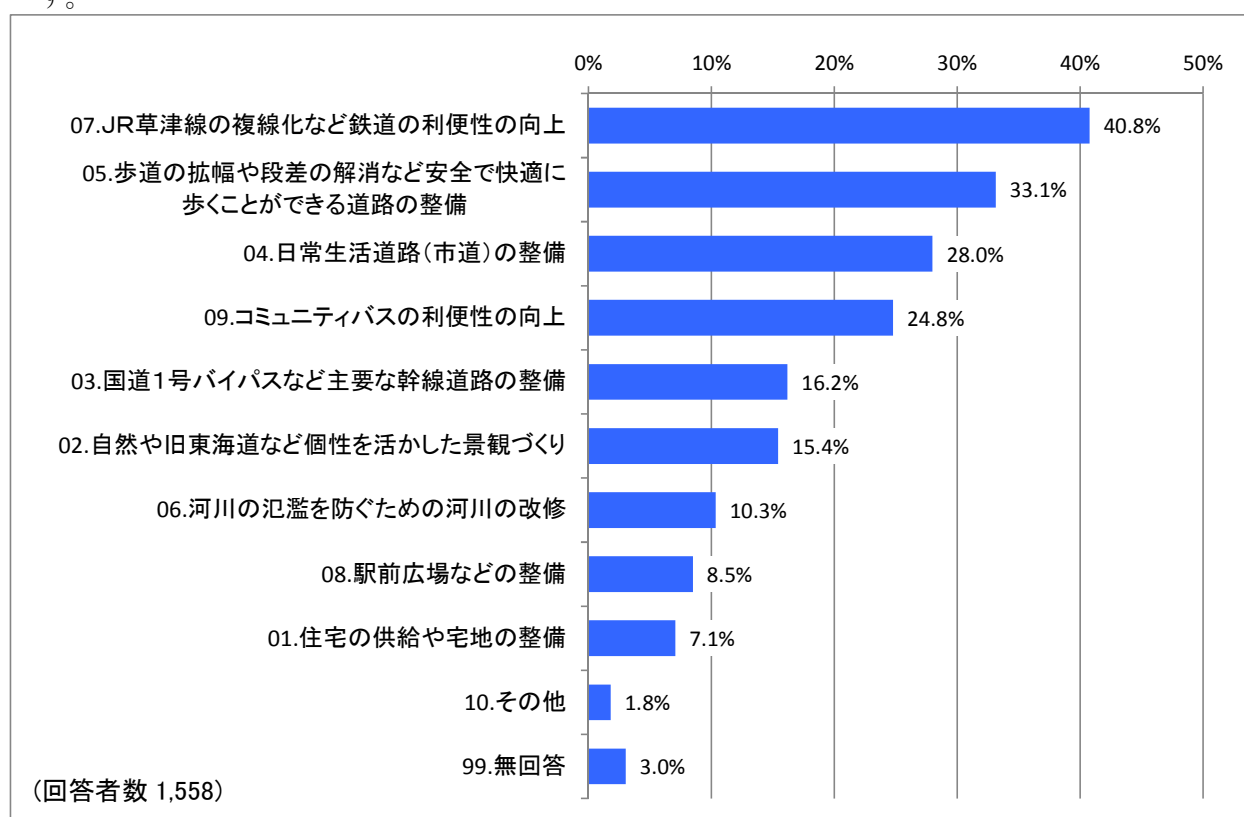
## 4) 生活基盤の整った暮らしやすいまちづくり

### 一般

問 11：生活基盤の整った暮らしやすいまちづくりを推進するために、とくに必要な事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

#### (1) 全体の傾向

生活基盤の整備については、「07. JR草津線の複線化など鉄道の利便性の向上」が最も多く、回答者の40.8%が選択しています。次いで「05. 歩道の拡幅や段差の解消など安全で快適に歩くことができる道路の整備」、「04. 日常生活道路（市道）の整備」、「09. コミュニティバスの利便性の向上」の順となっており、公共交通や身近な生活道路の整備・改良への関心が高くなっています。



#### (2) 性別の傾向

「05. 歩道の拡幅や段差の解消など安全で快適に歩くことができる道路の整備」と「09. コミュニティバスの利便性の向上」を選択する割合が、男性は低く、女性は高くなっています。

#### (3) 年齢別の傾向

年齢が若いほど「07. JR草津線の複線化など鉄道の利便性の向上」を選択する割合が高く、特に10歳代・20歳代では回答者の60%が選択しています。また、70歳以上で「04. 日常生活道路（市道）の整備」、40歳代・70歳以上で「09. コミュニティバスの利便性の向上」を選択する割合が他の年齢に比べ高くなっています。



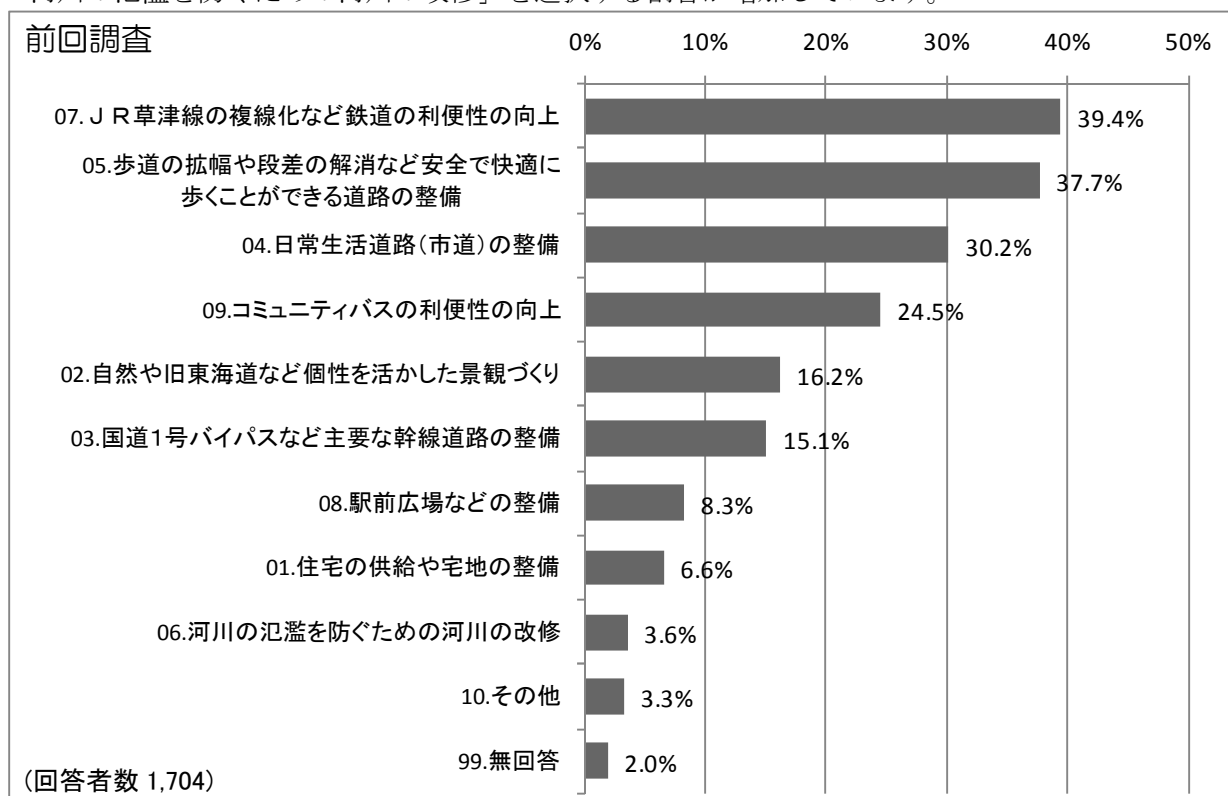
#### (4) 居住地区別の傾向

菩提寺・菩提寺北を除く全ての地区で「07. J R草津線の複線化など鉄道の利便性の向上」が最も多く、三雲・岩根・水戸では回答者の半数近くが選択しています。菩提寺・菩提寺北は「05. 歩道の拡幅や段差の解消など安全で快適に歩くことができる道路の整備」が最も多くなっています。

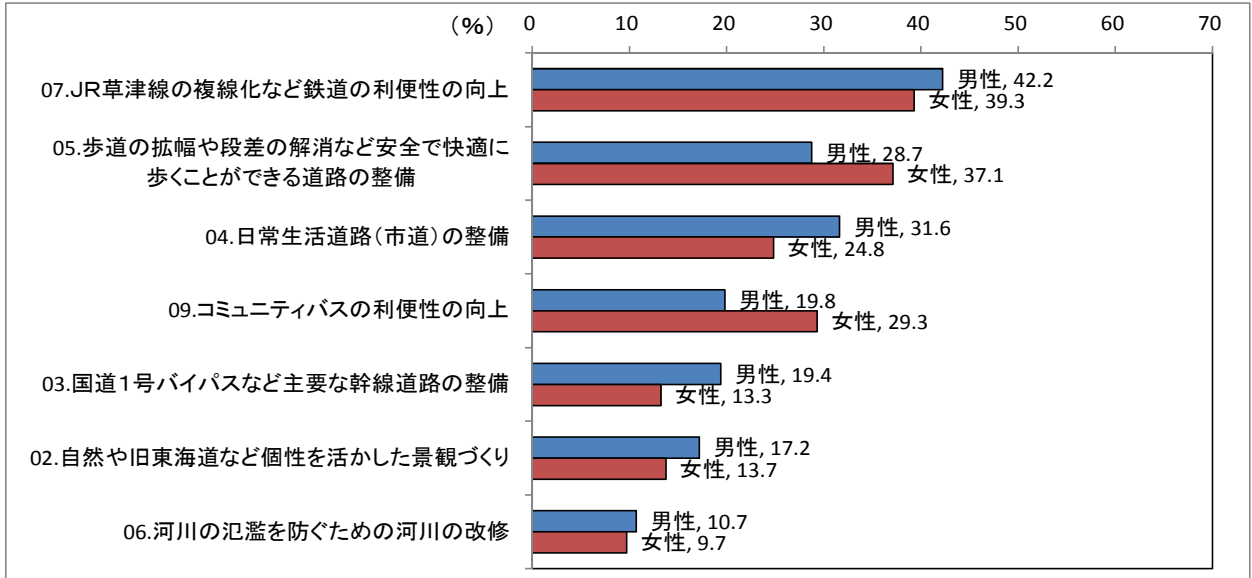
また、三雲では「04. 日常生活道路（市道）の整備」を、菩提寺・下田・水戸では「09. コミュニティバスの利便性の向上」を選択する割合が高くなっています。三雲東では「08. 駅前広場などの整備」を選択する割合が、他地区と比べ突出して高くなっています。

#### (5) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

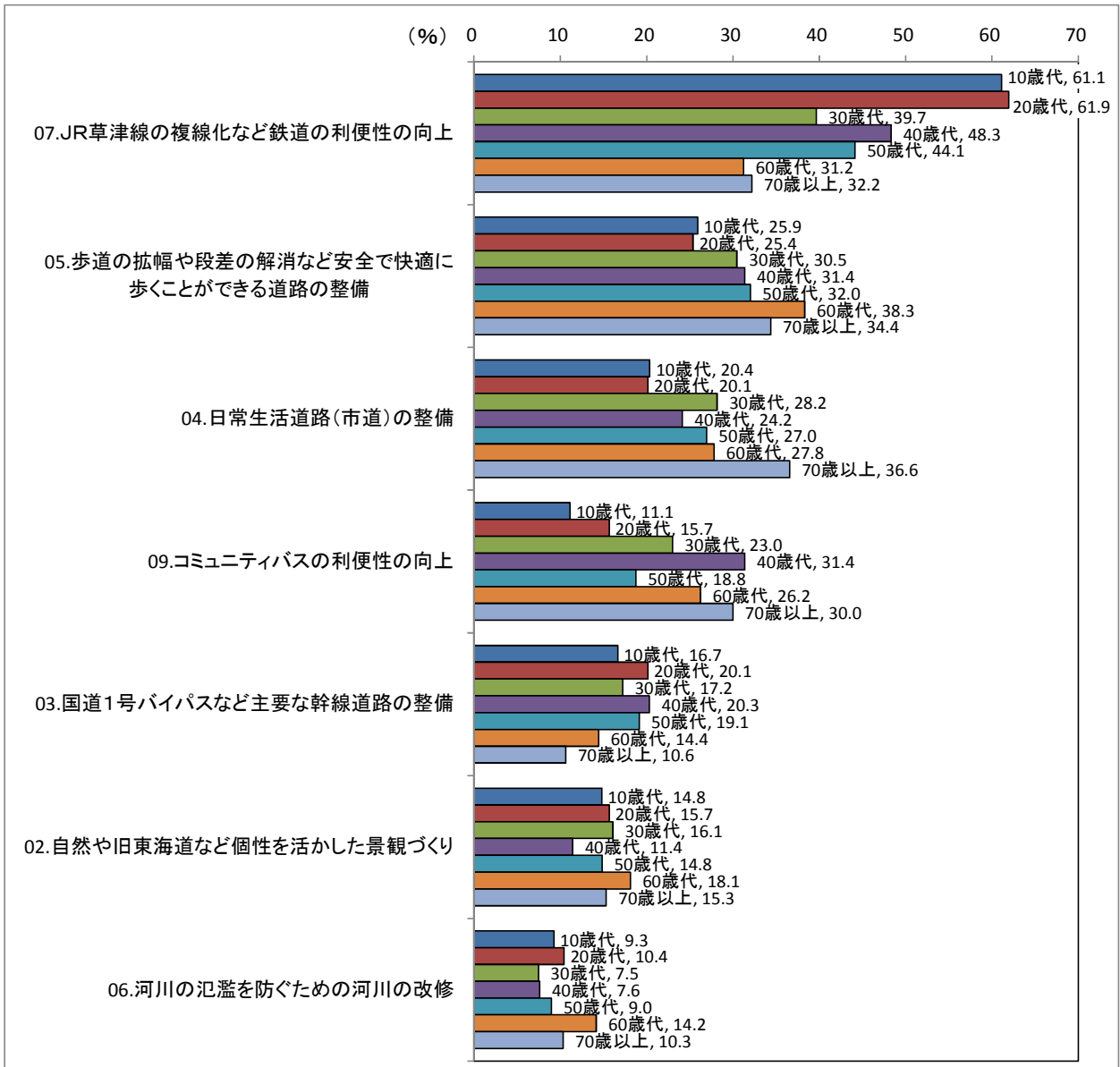
前回の調査と比べ、選択される割合の高い上位 4 番目までの順位に変動はありません。特に、「06. 河川の氾濫を防ぐための河川の改修」を選択する割合が増加しています。



性別

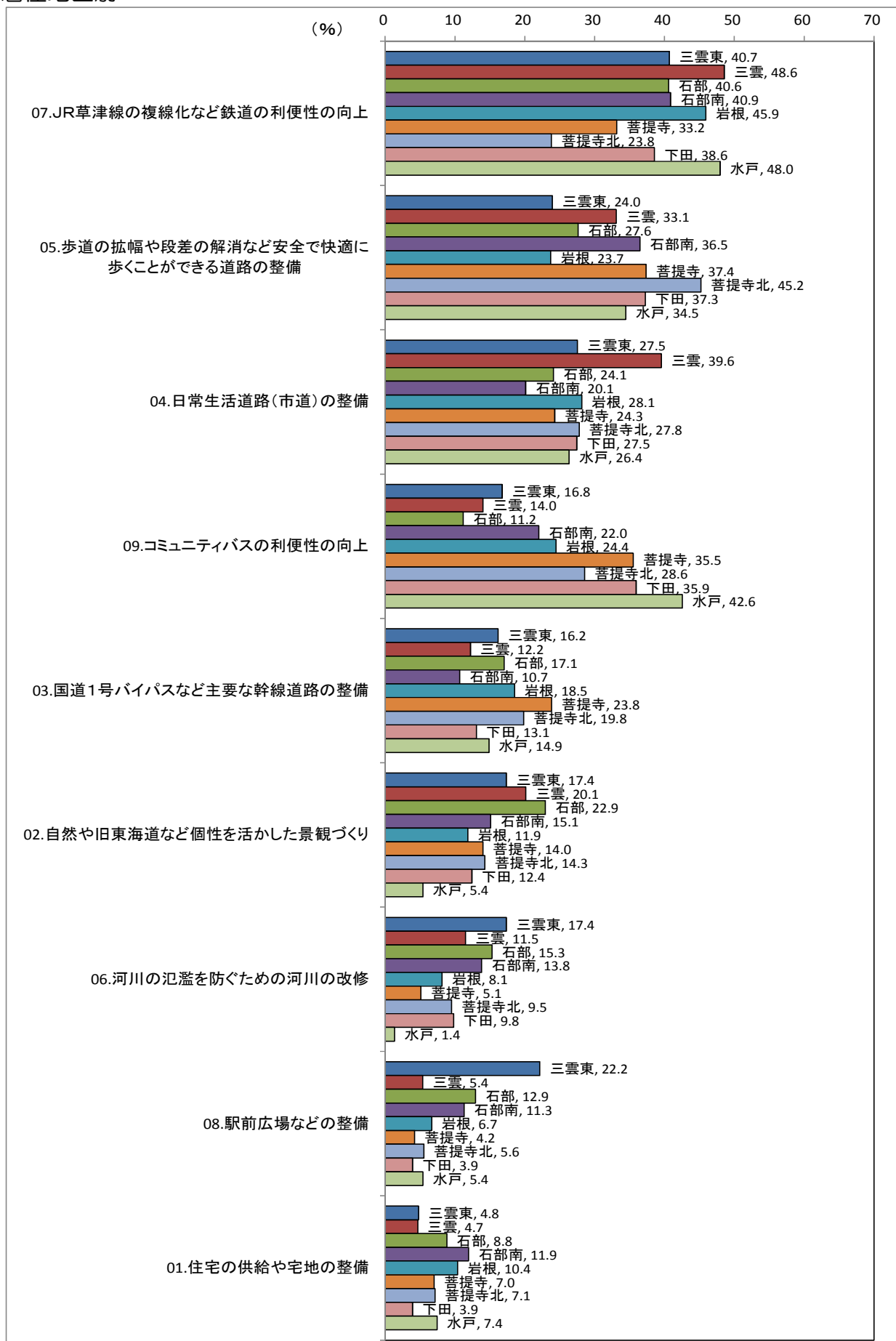


年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

# 居住地区別



(無回答、その他については非表示)

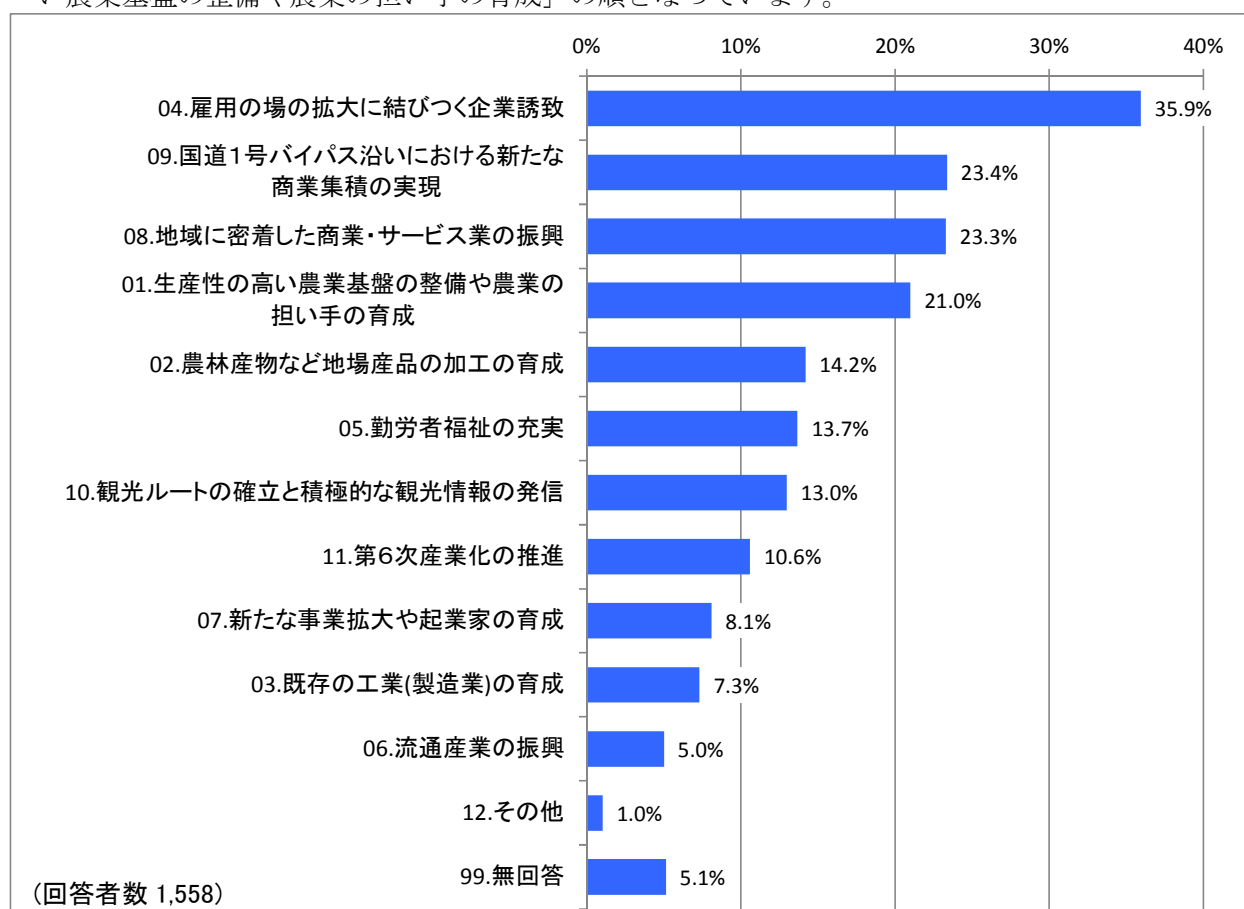
## 5) 産業がさかんで賑わいのあるまちづくり

### 一般

問 12：産業がさかんで賑わいのあるまちづくりを推進するために、とくに必要な事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

#### (1) 全体の傾向

産業がさかんで賑わいのあるまちづくりの推進については、「04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致」が最も多く、回答者の35.9%が選択しています。次いで「09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現」、「08.地域に密着した商業・サービス業の振興」、「01.生産性の高い農業基盤の整備や農業の担い手の育成」の順となっています。



#### (2) 性別の傾向

「04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致」と「09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現」を選択する割合が、男性は高く、女性は低くなっています。

#### (3) 年齢別の傾向

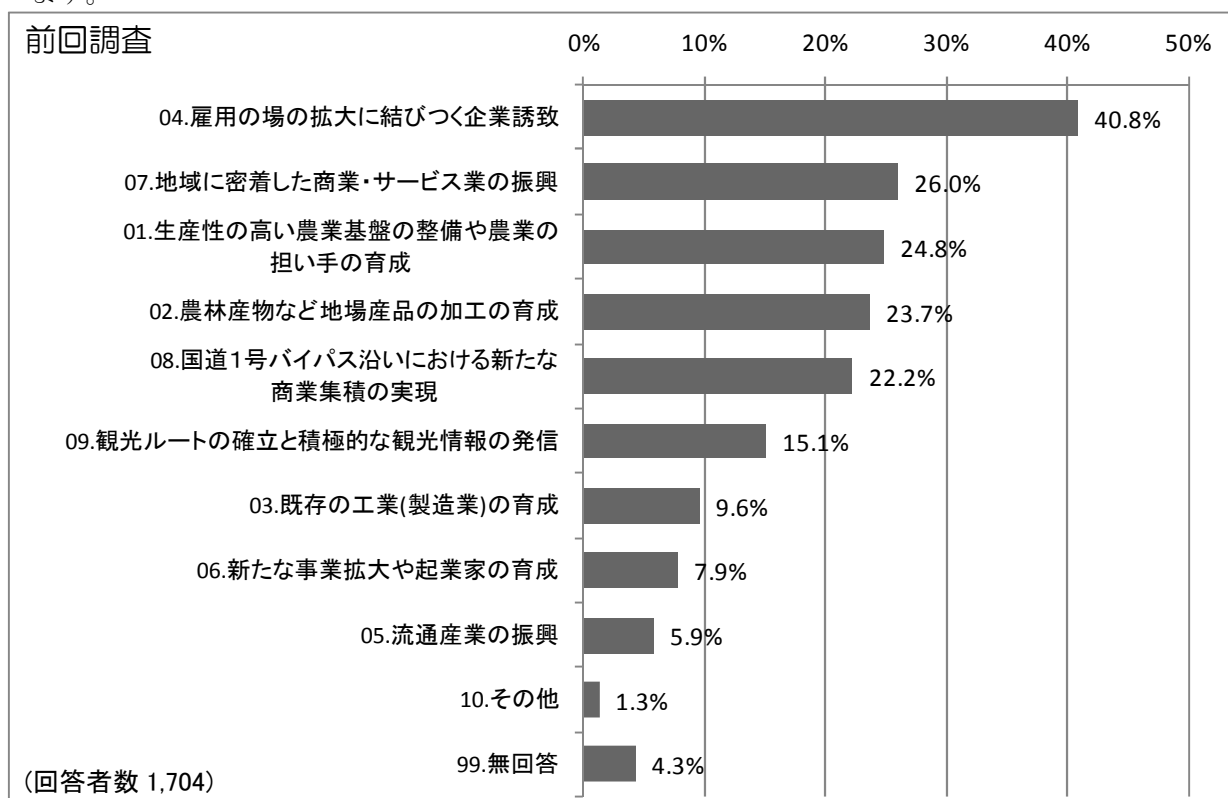
全ての年齢において「04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致」が最も多く、特に40歳代は回答者の40%以上が選択しています。また、20歳代では「09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現」を、10歳代・70歳以上では「08.地域に密着した商業・サービス業の振興」を選択する割合が他の年齢に比べて高くなっています。

#### (4) 居住地区別の傾向

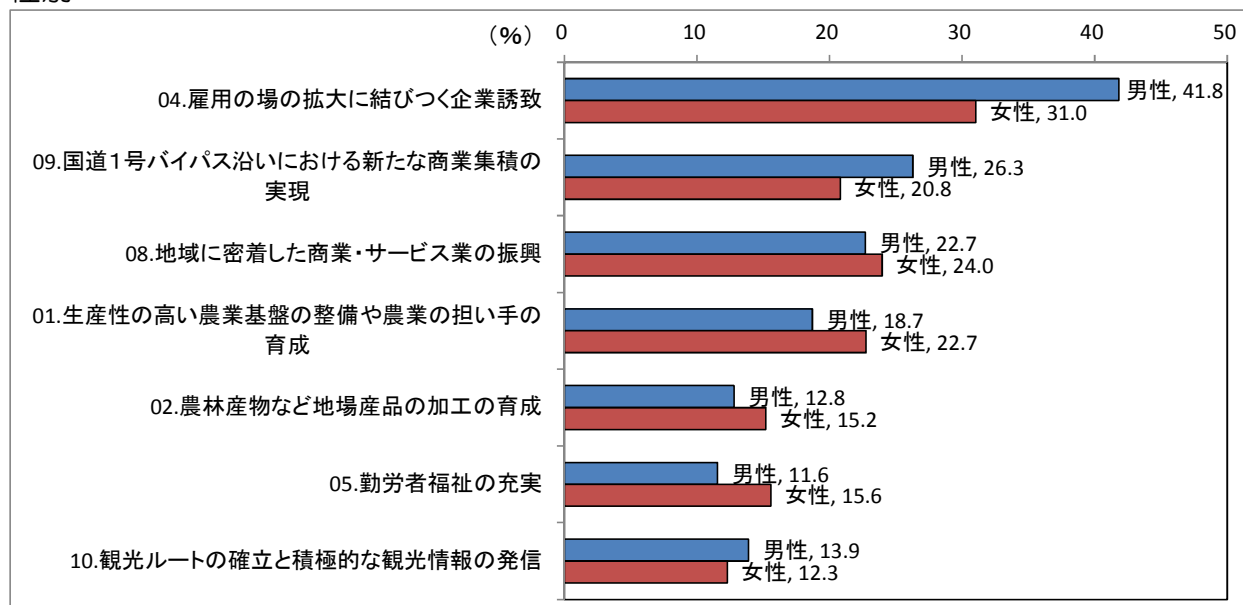
全ての地区で「04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致」が最も多くなっています。また、身近に商業機能が不足している岩根・菩提寺では「09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現」、商店街周辺の石部・下田では「08.地域に密着した商業・サービス業の振興」の選択率が高くなっています。

#### (5) 前回調査報告（平成22年4月）との比較

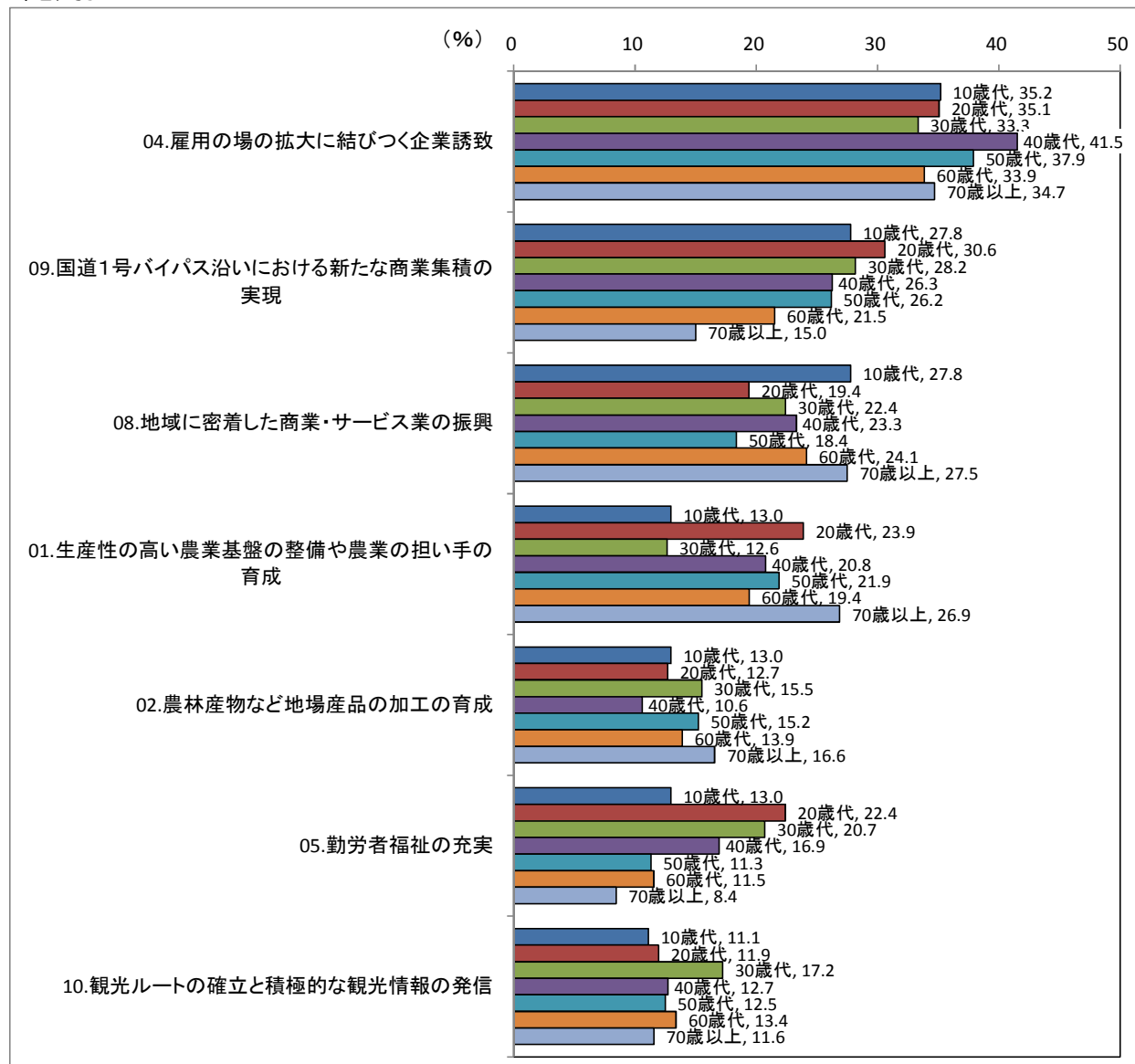
前回の調査に引き続き、1位は「04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致」となっていますが、「09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現」は順位が5位から2位に上がっています。



## 性別

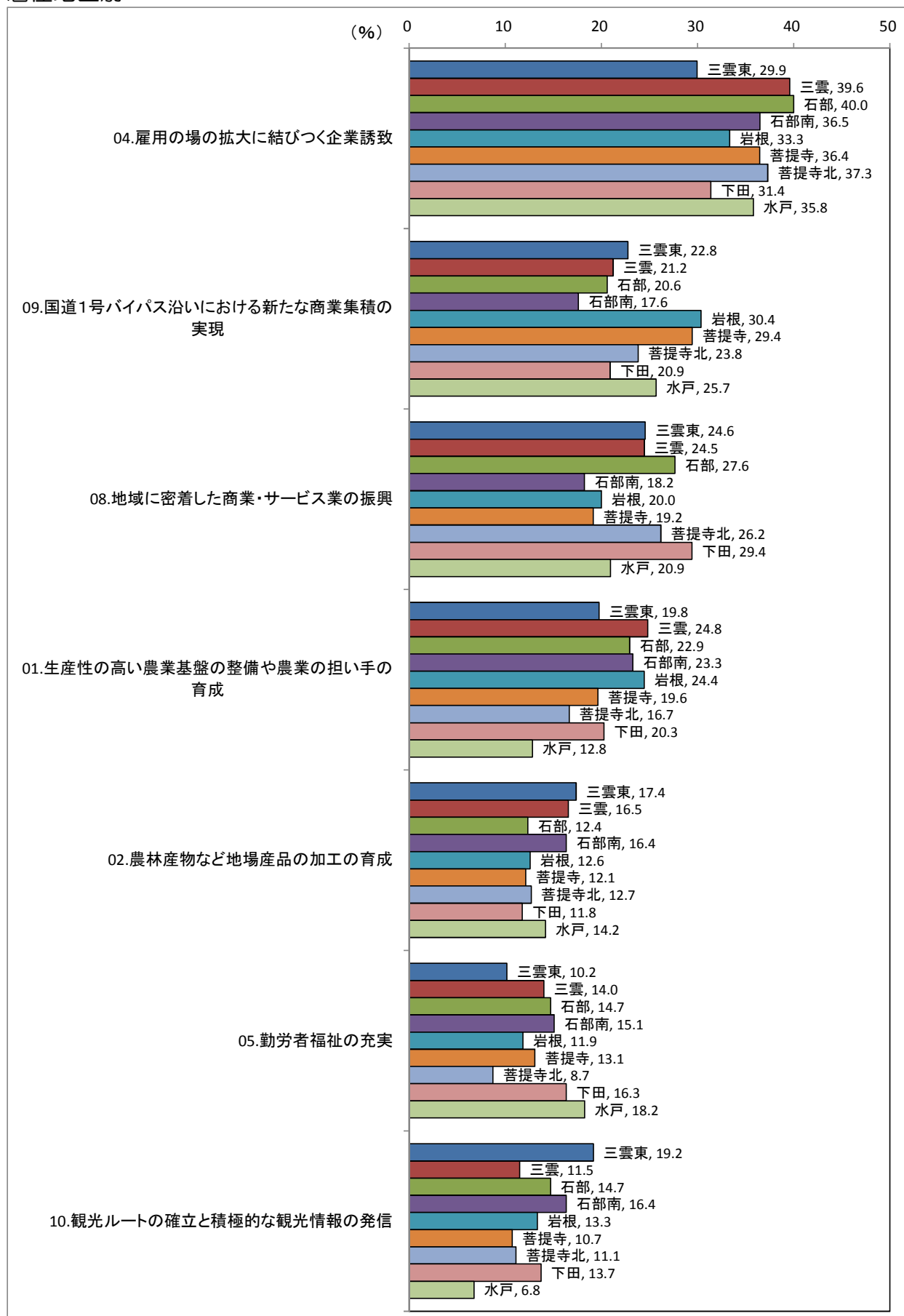


## 年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

# 居住地区別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

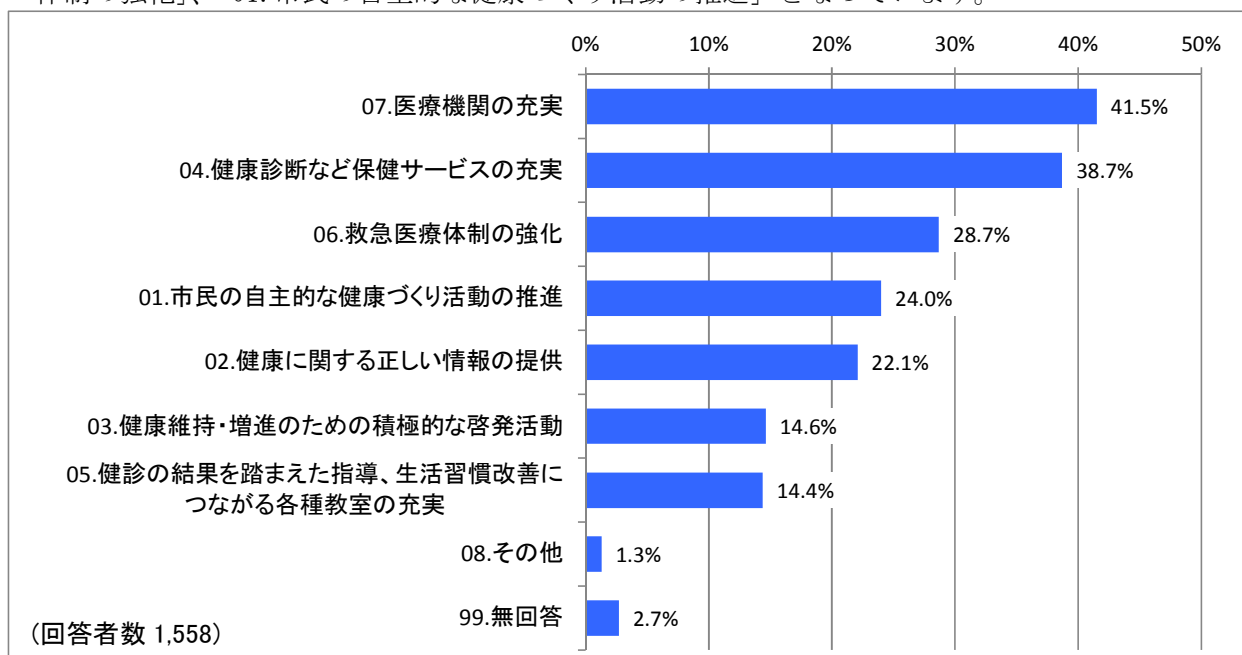
## 6) 健康で暮らし続けられるまちづくり

### 一般

問 13：健康で暮らし続けられるまちづくりを推進するために、とくに充実すべき事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

#### (1) 全体の傾向

健康で暮らし続けられるまちづくりの推進については、「07. 医療機関の充実」が最も多く、回答者の 41.5%が選択しています。次いで「04. 健康診断など保健サービスの充実」、「06. 救急医療体制の強化」、「01. 市民の自主的な健康づくり活動の推進」となっています。



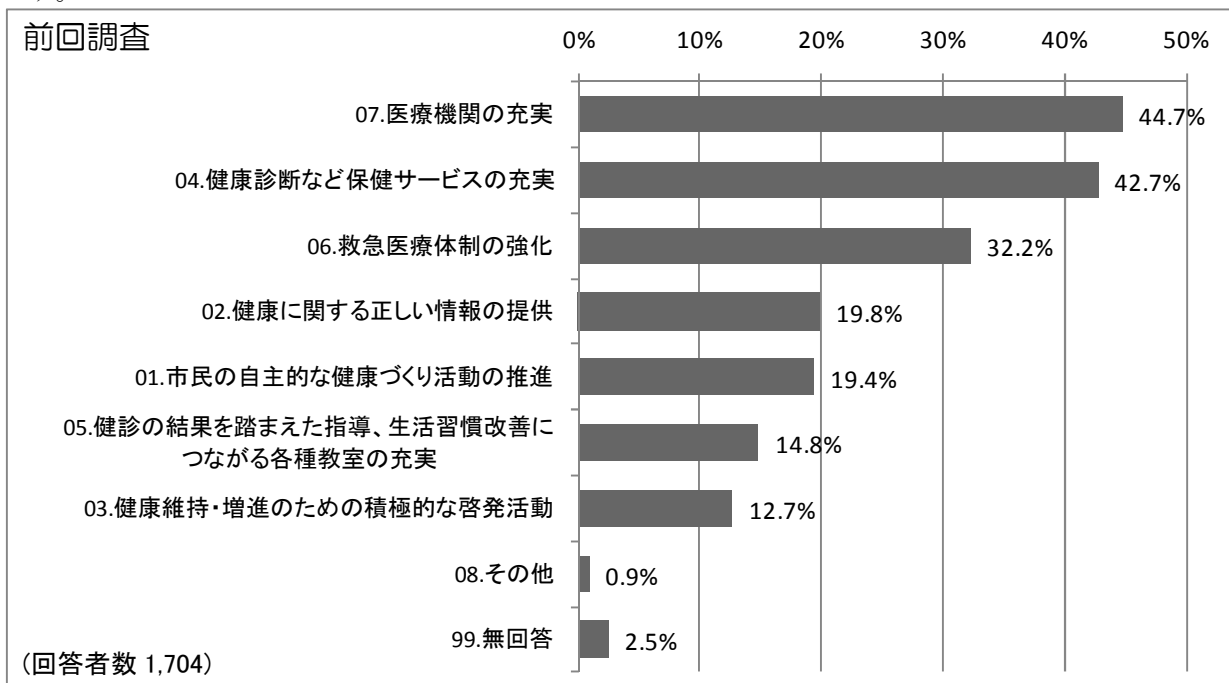
#### (2) 年齢別の傾向

40歳以上は「07. 医療機関の充実」、10～30歳代では「04. 健康診断など保健サービスの充実」が最も多くなっています。また、30歳代は「06. 救急医療体制の強化」を選択する割合が他の年齢に比べて高くなっています。

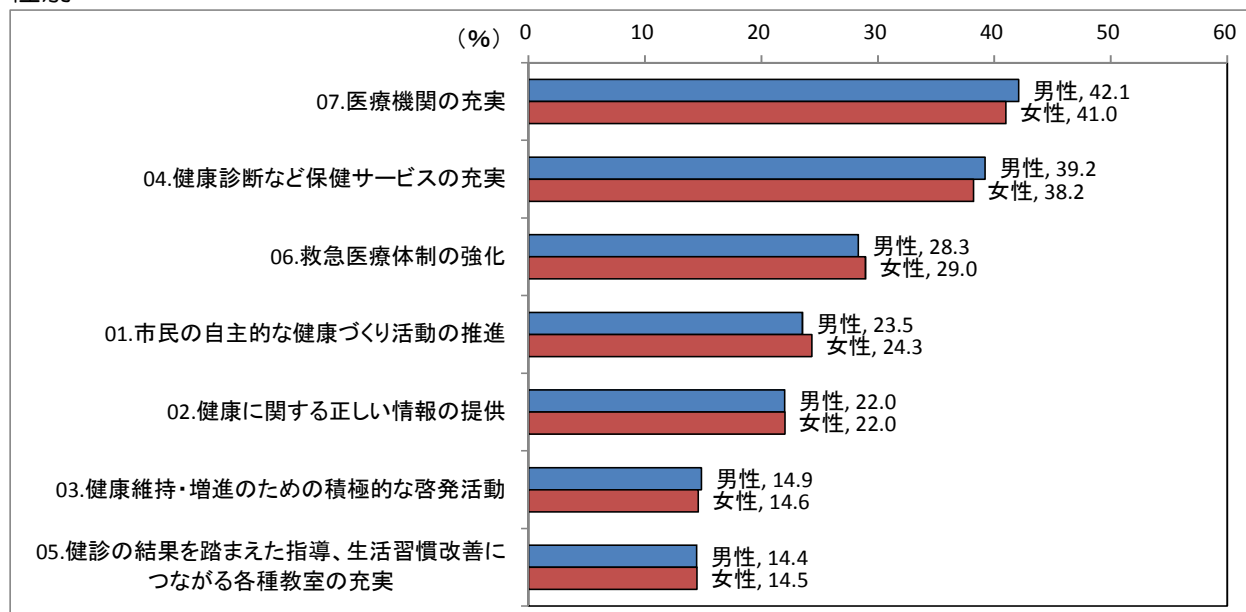


### (3) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

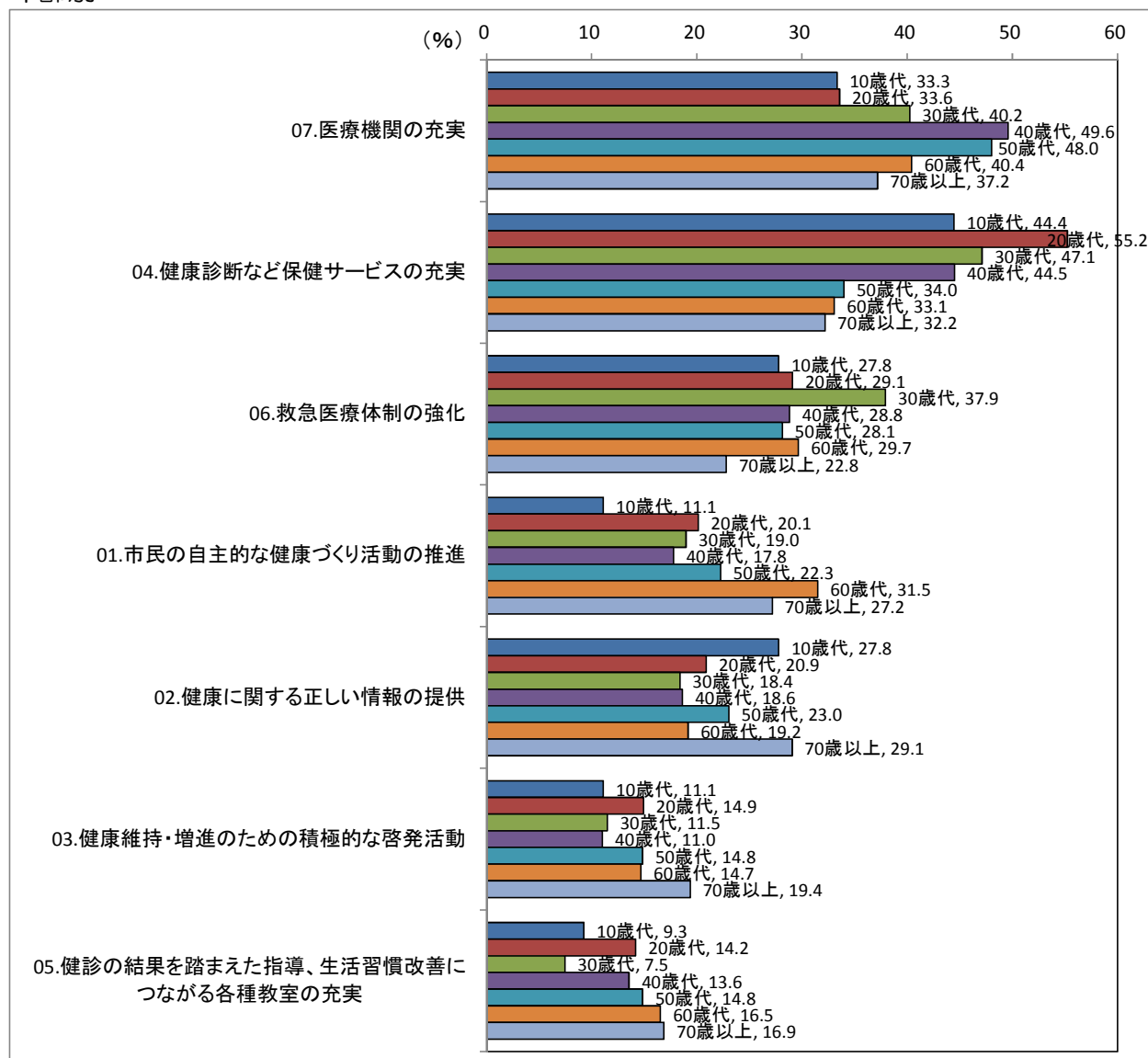
前回の調査に行き続き、「07. 医療機関の充実」等の上位 3 番目までの順位に変動はありません。  
「01. 市民の自主的な健康づくり活動の推進」は選択される割合が増加し、順位も上がっています。



## 性別



## 年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

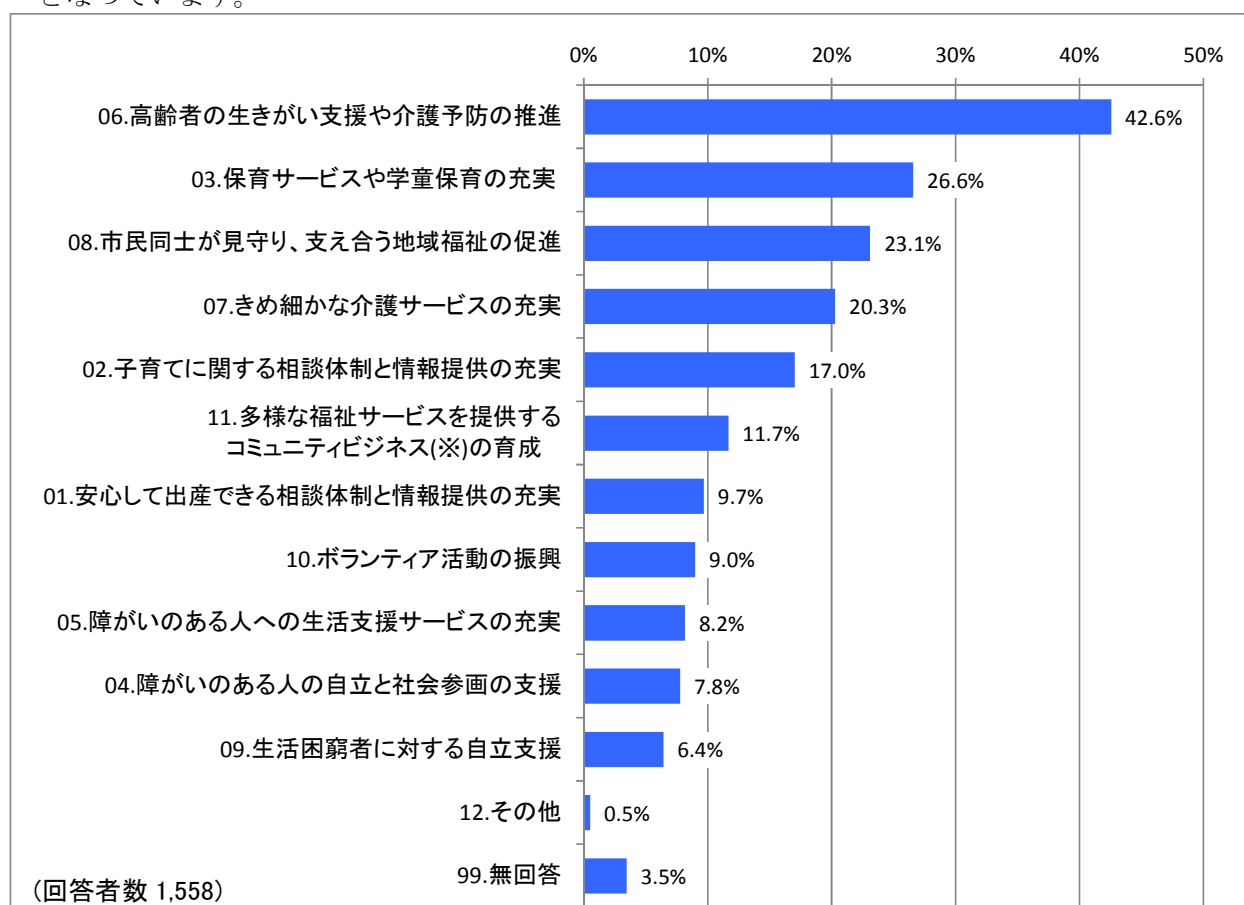
## 7) 互いに支え合うまちづくり

### 一般

問 14：互いに支え合うまちづくりを推進するために、とくに充実すべき事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

#### (1) 全体の傾向

互いに支え合うまちづくりの推進については、「06. 高齢者の生きがい支援や介護予防の推進」が最も多く、回答者の 42.6%が選択しています。次いで「03. 保育サービスや学童保育の充実」、「08. 市民同士が見守り、支え合う地域福祉の促進」、「07. きめ細かな介護サービスの充実」の順となっています。



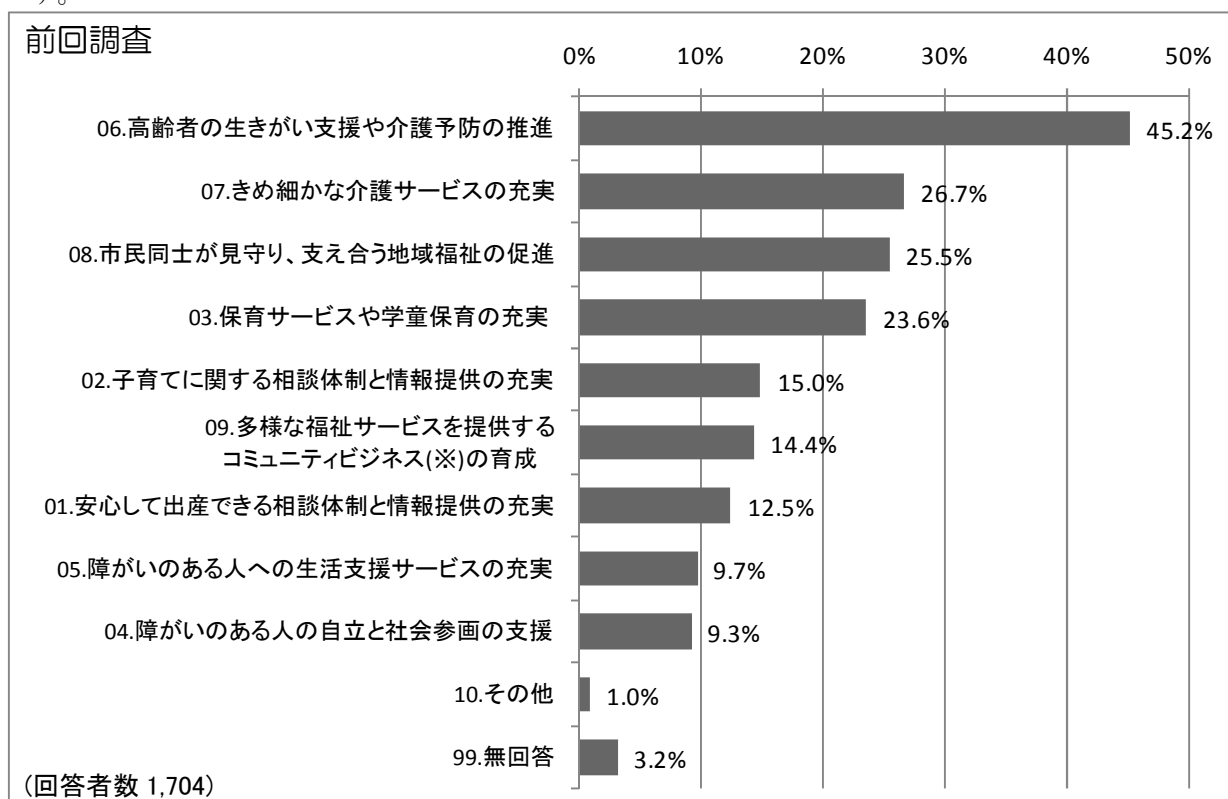
(※) コミュニティビジネス…地域住民が主体となって、経営感覚をもちながら、地域ニーズに応える形で地域に役立つモノやサービスを提供し、地域コミュニティを元気にする事業活動。

#### (2) 年齢別の傾向

年齢が高くなるにつれ、「06. 高齢者の生きがい支援や介護予防の推進」を選択する割合が高く、60歳以上では半数以上が回答しています。また、10～30歳代では「03. 保育サービスや学童保育の充実」を選択する割合が高く、回答者の40%近くを占めています。

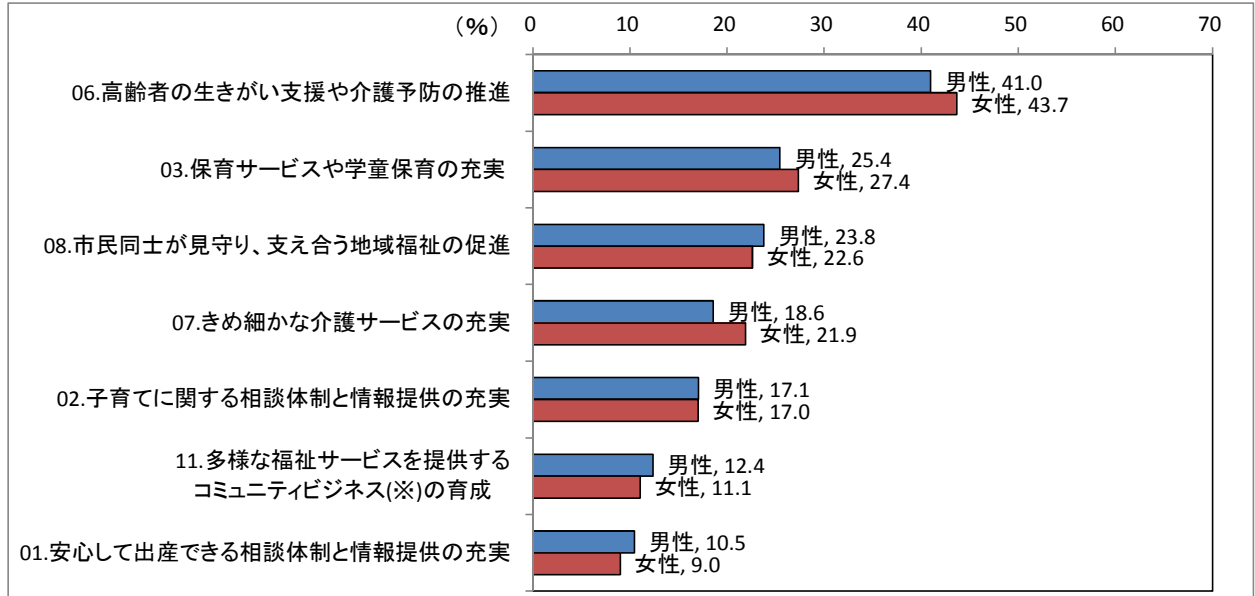
### (3) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

前回の調査に引き続き、1位は「06. 高齢者の生きがい支援や介護予防の推進」ですが、4位であった「03. 保育サービスや学童保育の充実」を選択する割合が増加し、2位にまで上がっています。

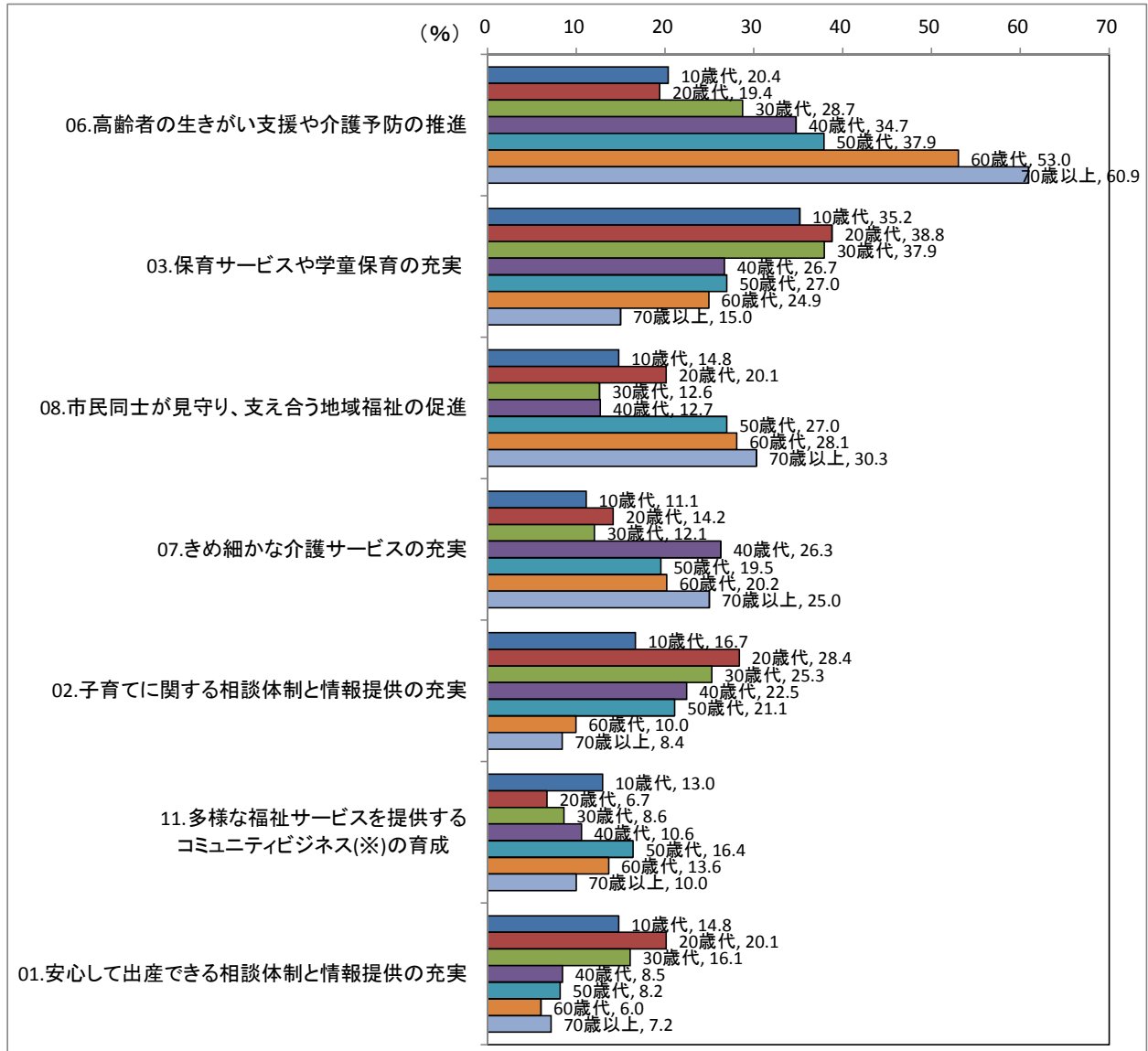


(※)コミュニティビジネス…地域住民が主体となって、経営感覚をもちながら、地域ニーズに応える形で地域に役立つモノやサービスを提供し、地域コミュニティを元気にする事業活動。

性別



年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

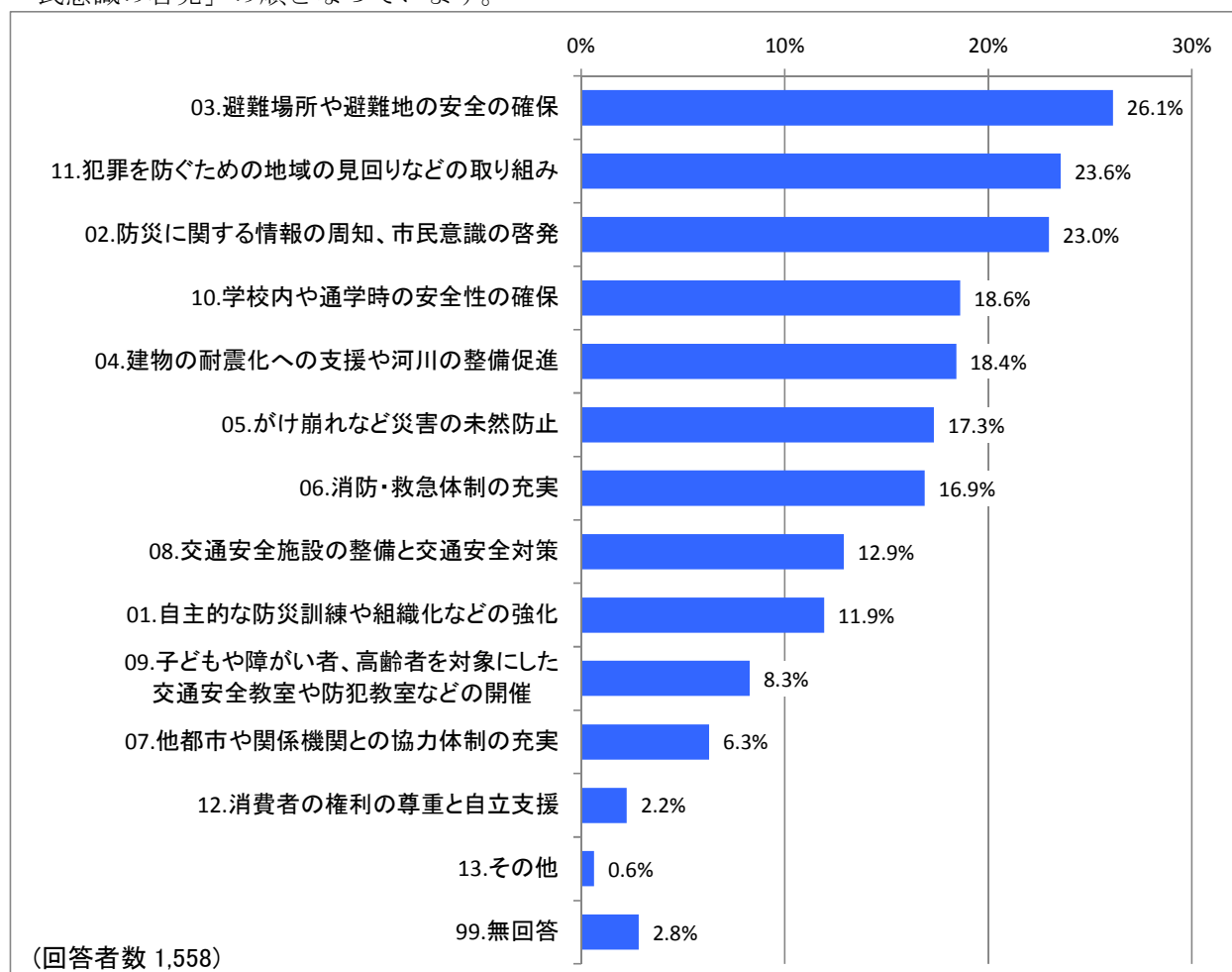
## 8) 安全で安心なまちづくり

### 一般

問 15: 安全で安心なまちづくりを推進するために、とくに充実すべき事からは次のうちどれですか。  
(2つまで選択)

#### (1) 全体の傾向

安全で安心なまちづくりの推進については、「03. 避難場所や避難地の安全の確保」が最も多く、次いで「07. 犯罪を防ぐための地域の見回りなどの取り組み」、「02. 防災に関する情報の周知、市民意識の啓発」の順となっています。



#### (2) 性別の傾向

女性は全体と同様の傾向ですが、男性は「02. 防災に関する情報の周知、市民意識の啓発」が最も多くなっています。

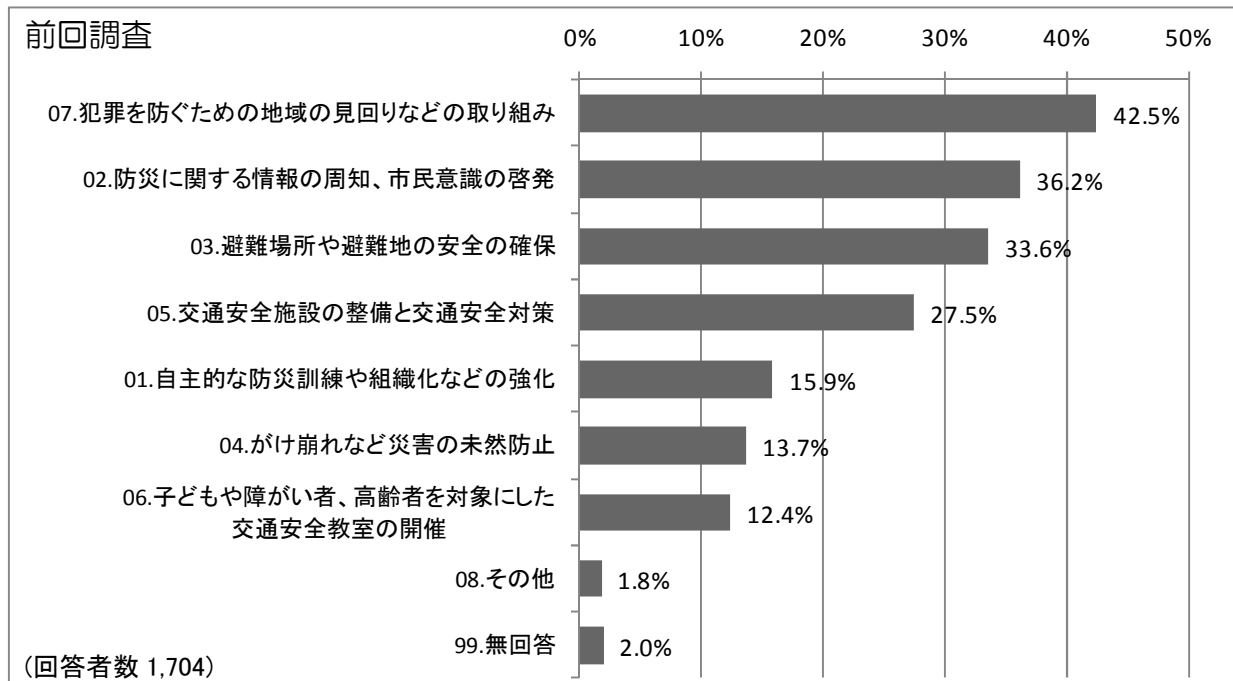
#### (3) 年齢別の傾向

10歳代・20歳代は「04. 建物の耐震化への支援や河川の整備促進」、30歳代・60歳以上で「03. 避難場所や避難地の安全の確保」を選択する割合が高くなっています。また、全ての年齢において「02. 防災に関する情報の周知、市民意識の啓発」を選択する割合が高く、20%を超えています。

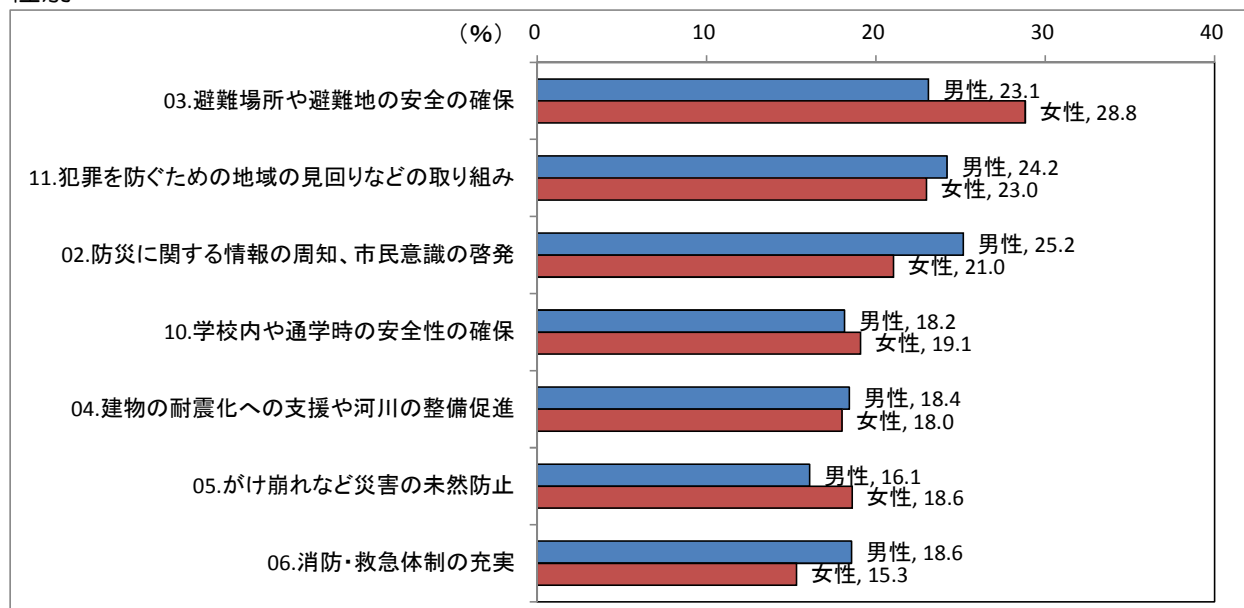
#### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

前回の調査と比べると、3位であった「03. 避難場所や避難地の安全の確保」が順位を上げ1位になっています。

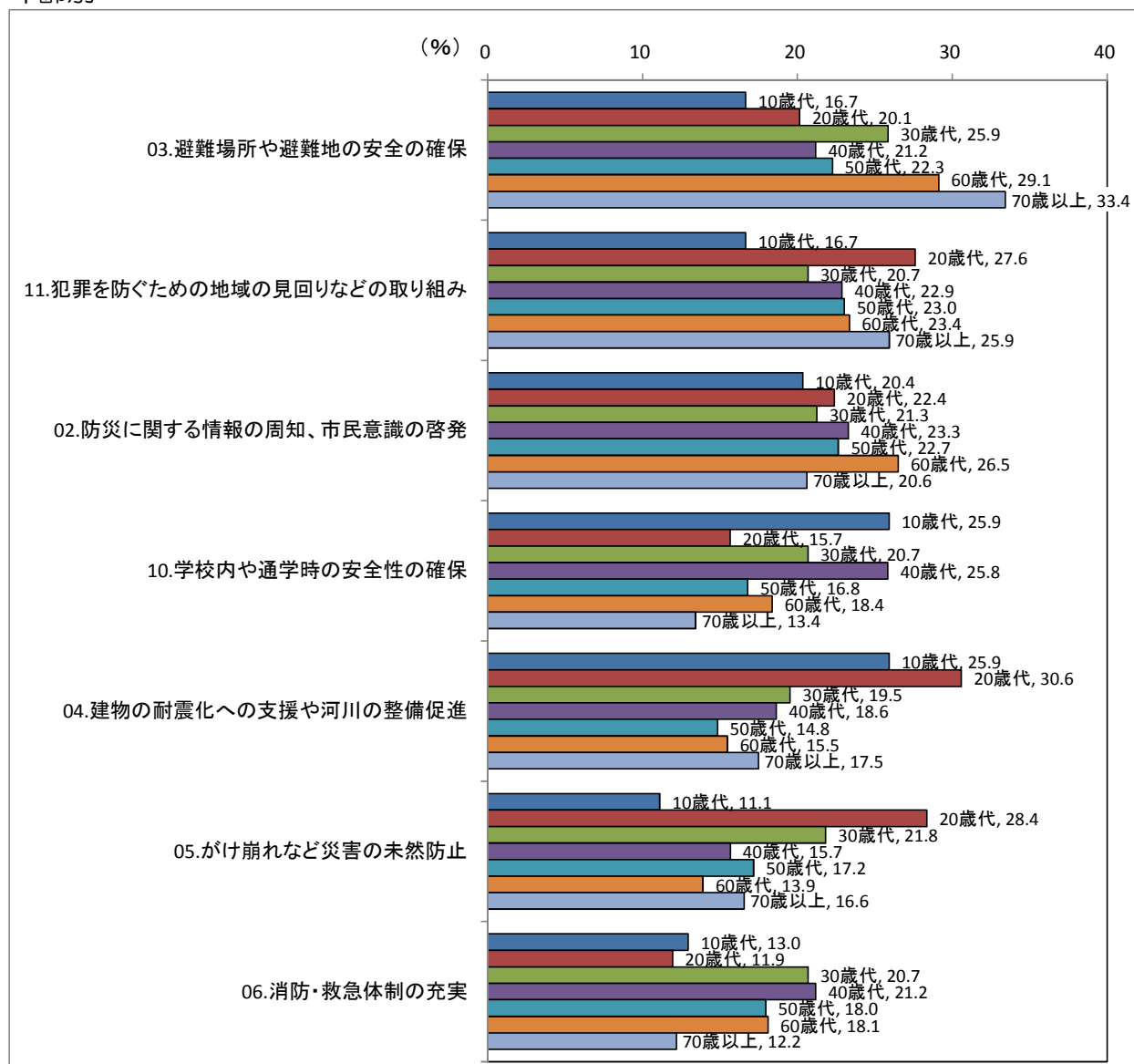
今回調査の新たな選択肢である「04. 建物の耐震化への支援や河川の整備促進」と「10. 学校内や通学時の安全性の確保」の割合が20%近くを占めています。



## 性別



## 年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)



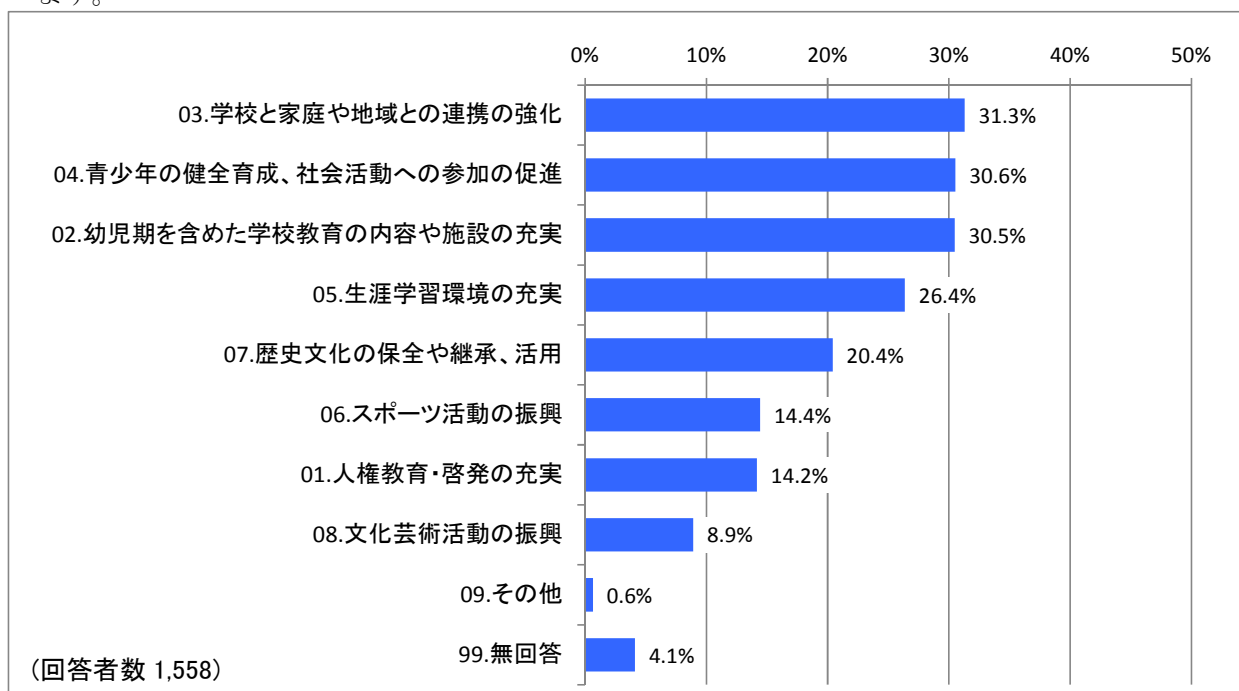
## 9) 誇りとなる市民文化を創造するまちづくり

### 一般

問 16：誇りとなる市民文化を創造するまちづくりを推進するために、とくに充実すべき事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

#### (1) 全体の傾向

誇りとなる市民文化を創造するまちづくりの推進については、「03. 学校と家庭や地域との連携の強化」が最も多く、次いで「04. 青少年の健全育成、社会活動への参加の促進」の順となっています。



#### (2) 性別の傾向

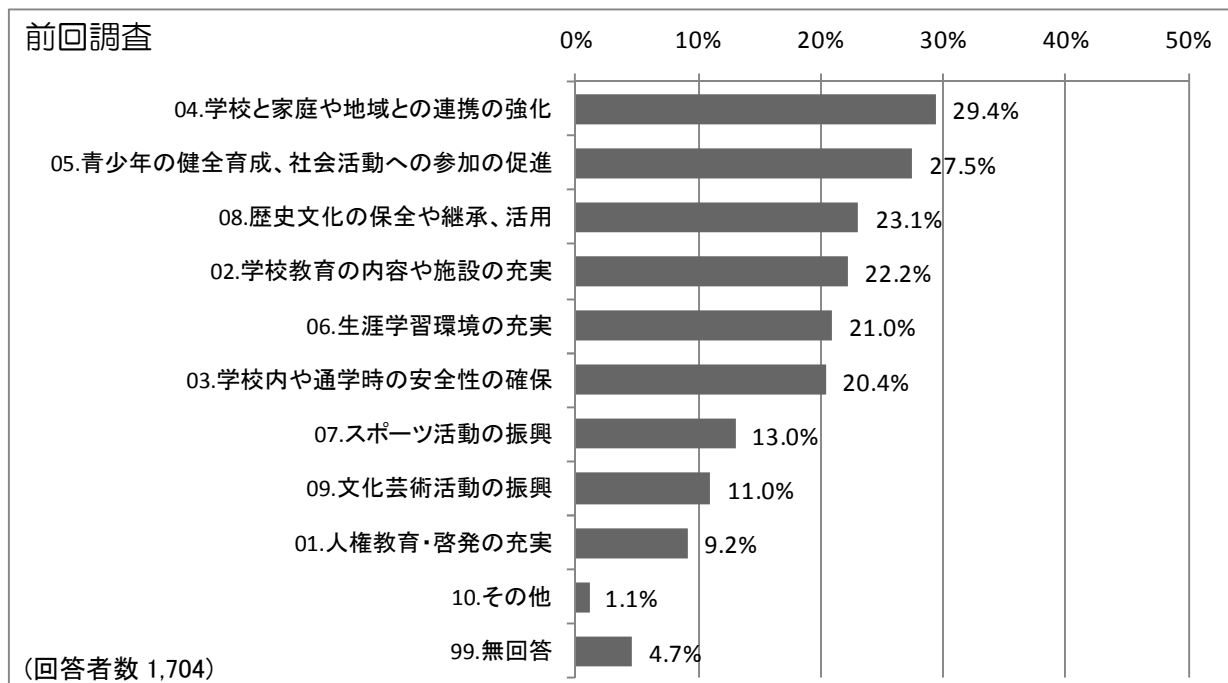
男性は全体と同様の傾向ですが、女性は「02. 幼児期を含めた学校教育の内容や施設の充実」が最も多くなっています。

#### (3) 年齢別の傾向

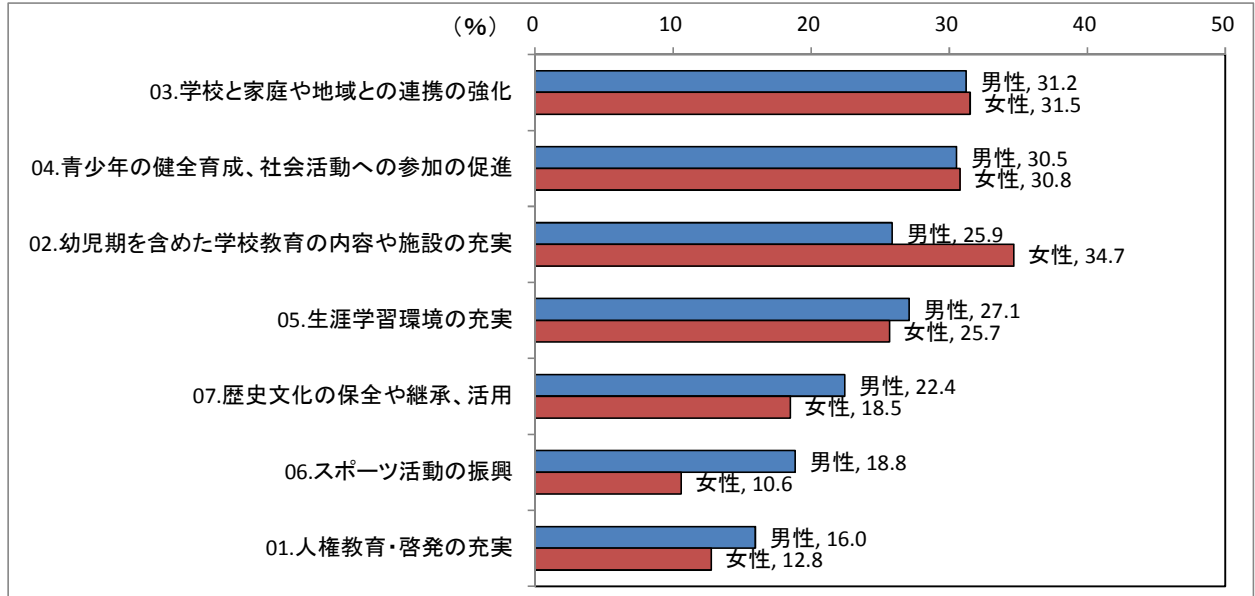
20歳代・30歳代は「03. 学校と家庭や地域との連携の強化」、50歳以上では「04. 青少年の健全育成、社会活動への参加の促進」を選択する割合が高くなっています。また、児童・生徒の親世代にあたる20～50歳代では、「02. 幼児期を含めた学校教育の内容や施設の充実」の選択率が高くなっています。10歳代は「スポーツ活動の振興」が最も多く、回答者の40%近くが選択しています。

#### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

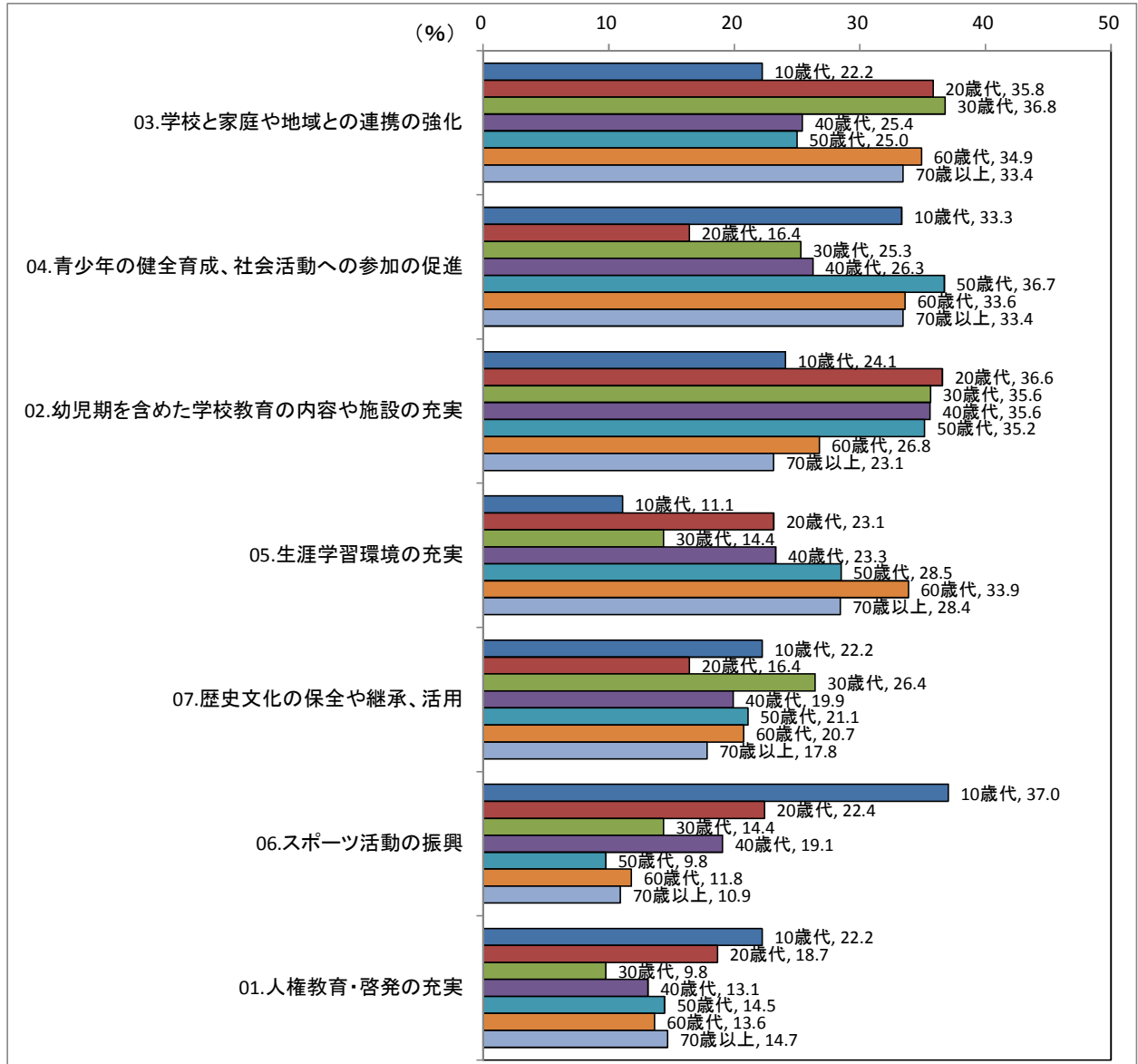
前回の調査と比べると、「03. 学校と家庭や地域との連携の強化」等の上位 2 番目までの順位に変動はありません。今回の調査では「02. 幼児期を含めた学校教育の内容や施設の充実」、「05. 生涯学習環境の充実」、「01. 人権教育・啓発の充実」を選択する割合が増加しています。



性別



年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

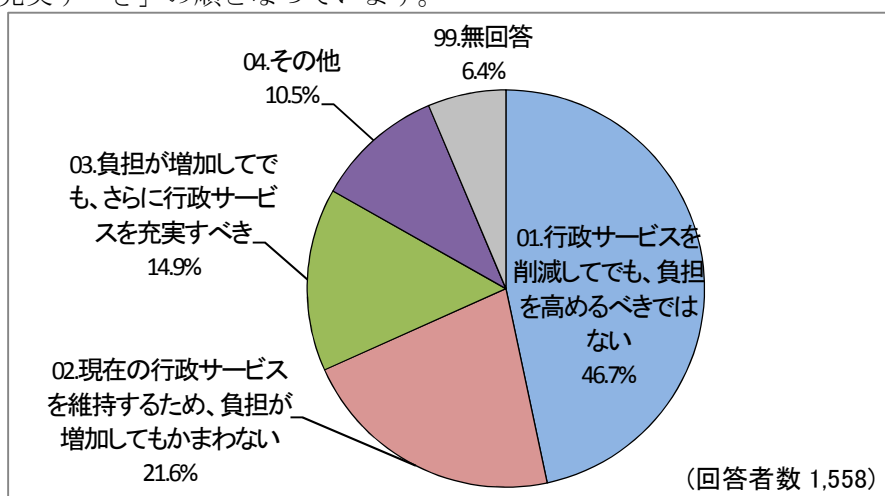
## 10) 行政サービスの水準と市民負担の関係

### 一般

問 17：行政サービスの水準と市民負担の関係について、あなたの考えに一番近いものは次のうちどれですか。（1つだけ選択）

#### (1) 全体の傾向

行政サービスの水準と市民負担の関係については、「01. 行政サービスを削減してでも、負担を高めるべきではない」が最も多く、回答者の46.7%が選択しています。次いで「02. 現在の行政サービスを維持するため、負担が増加してもかまわない」、「03. 負担が増加してでも、さらに行政サービスを充実すべき」の順となっています。

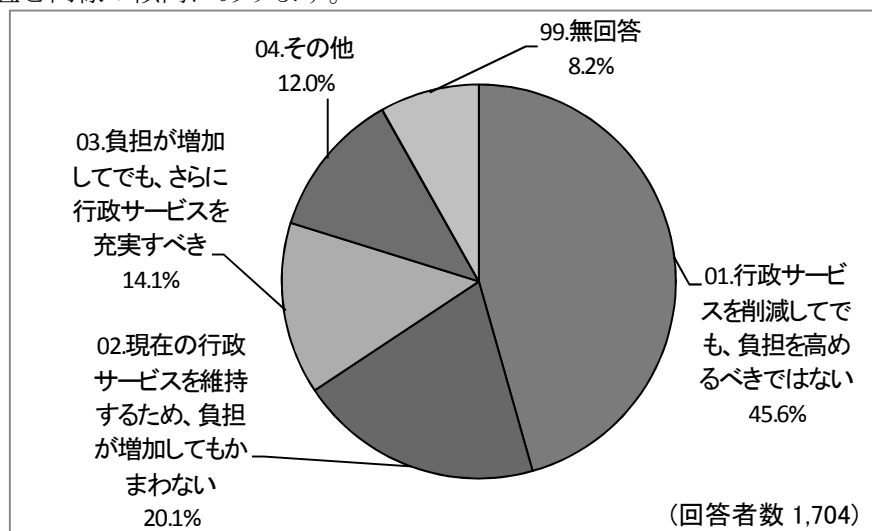


#### (2) 年齢別の傾向

全ての年齢において、「01. 行政サービスを削減してでも、負担を高めるべきではない」を選択する割合が高くなっています。また、20歳代では「03. 負担が増加してでも、さらに行政サービスを充実すべき」を選択する割合が他の年齢と比べ、やや高くなっています。

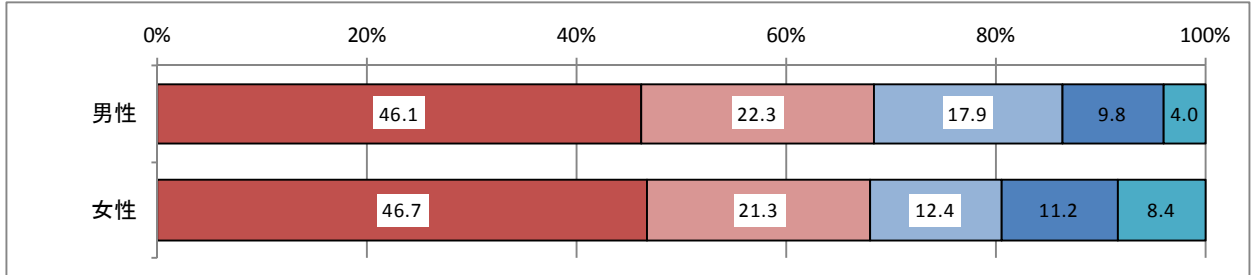
#### (3) 前回調査報告（平成22年4月）との比較

前回の調査と同様の傾向にあります。

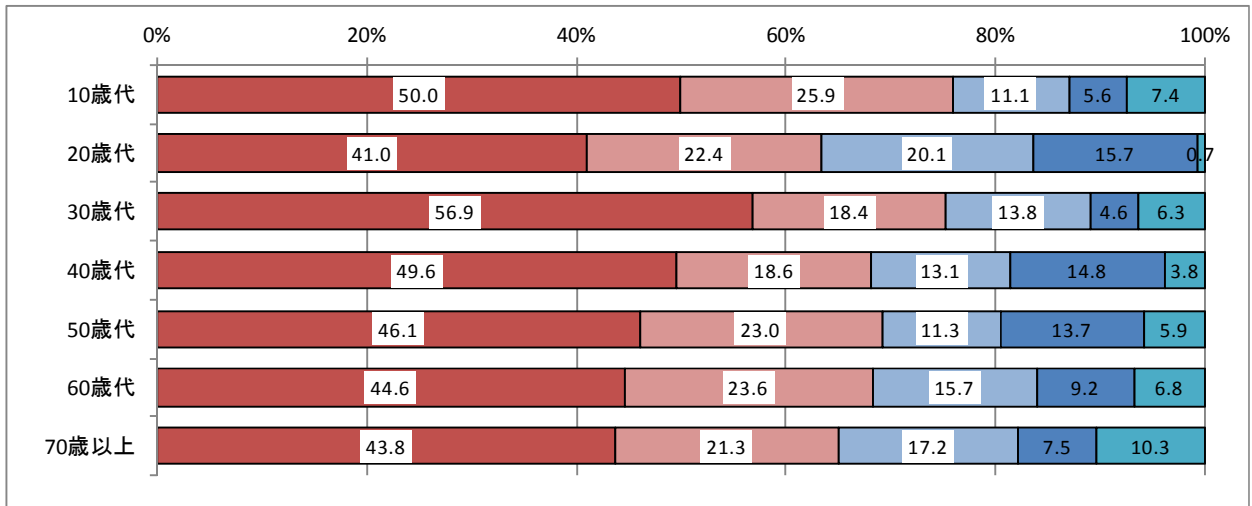


- 01.行政サービスを削減しても、負担を高めるべきではない
- 02.現在の行政サービスを維持するため、負担が増加してもかまわない
- 03.負担が増加しても、さらに行政サービスを充実すべき
- 04.その他
- 99.無回答

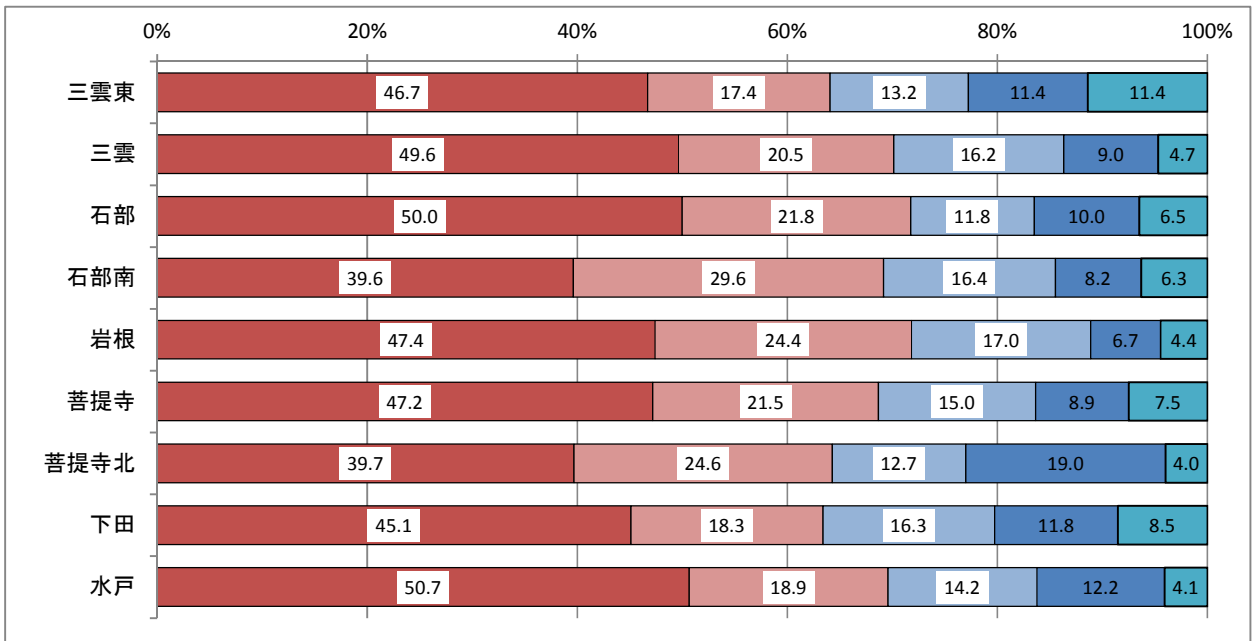
### 性別



### 年齢別



### 居住地区別



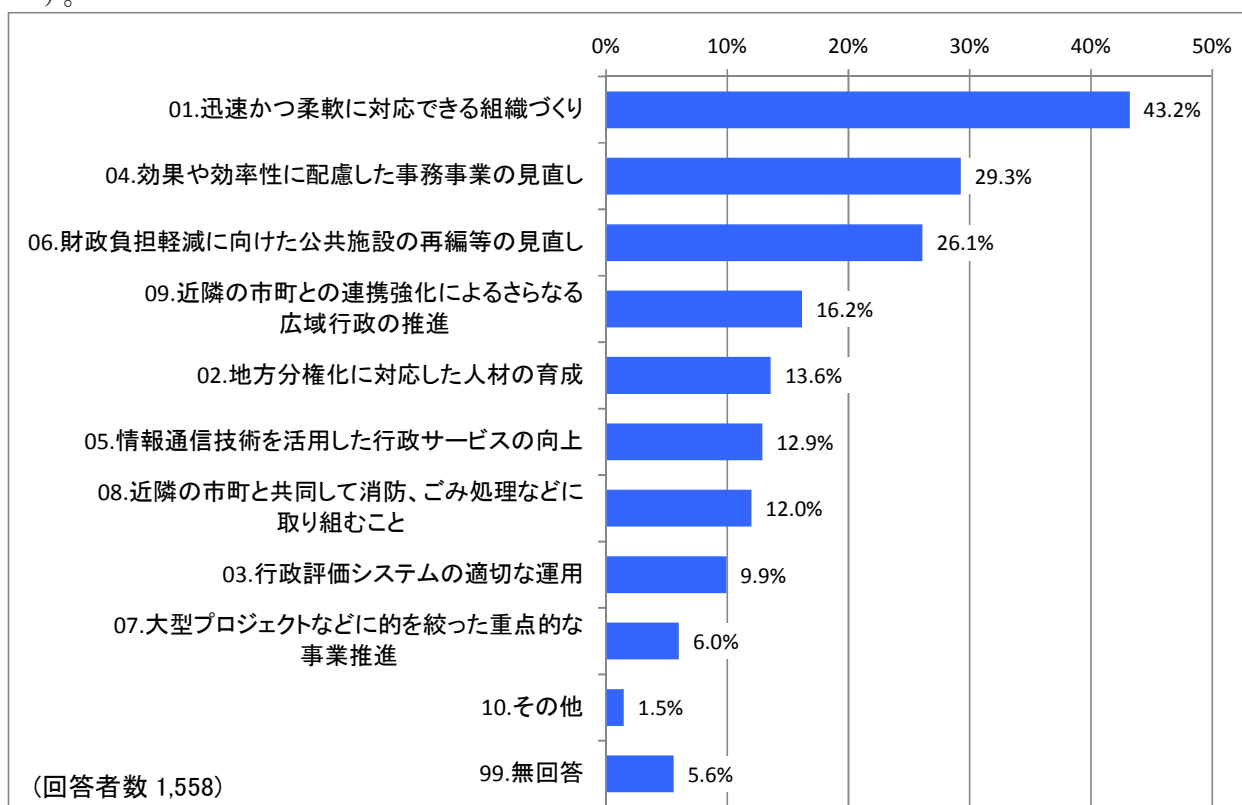
## 11) 効率的・効果的な行財政システムづくり

### 一般

問 18：効率的・効果的な行財政システムづくりを推進するために、とくに必要な事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

#### (1) 全体の傾向

効率的・効果的な行財政システムづくりの推進については、「01. 迅速かつ柔軟に対応できる組織づくり」が最も多く、回答者の43.2%が選択しています。次いで「04. 効果や効率性に配慮した事務事業の見直し」、「06. 財政負担軽減に向けた公共施設の再編等の見直し」の順となっています。



#### (2) 性別の傾向

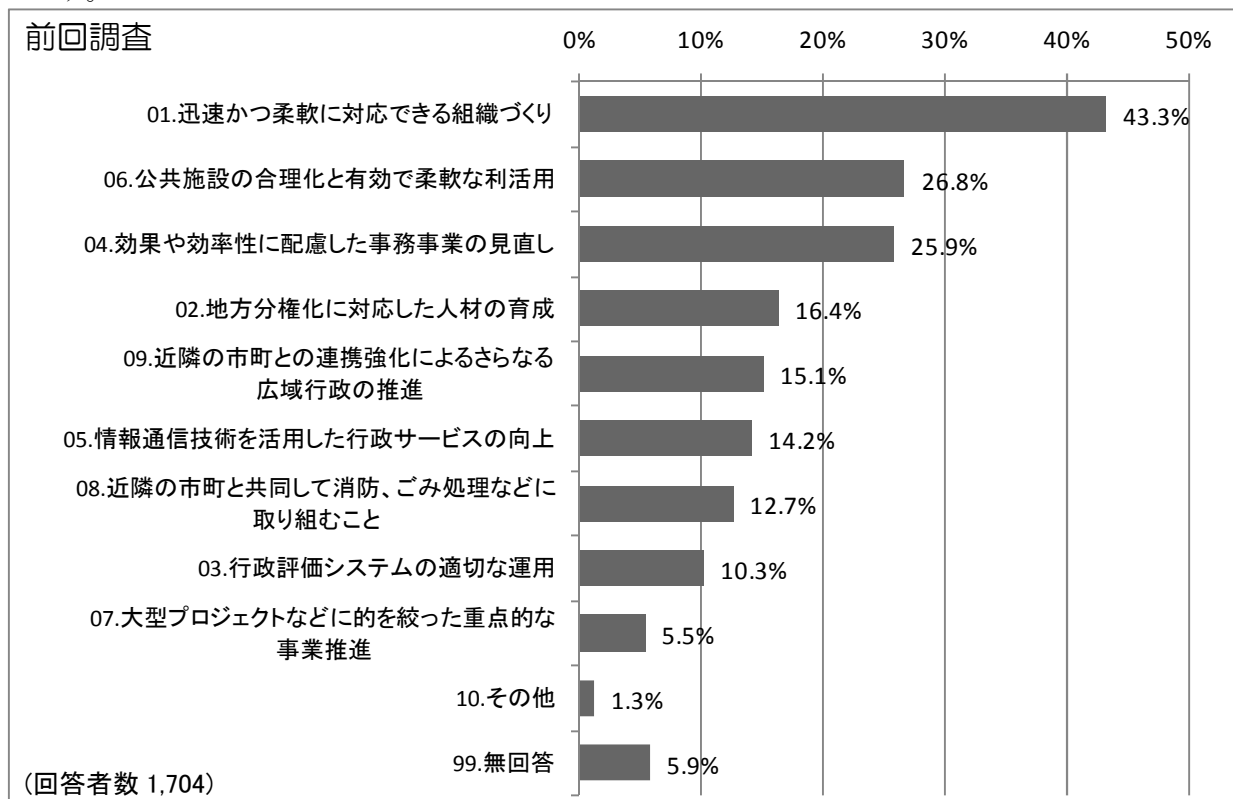
「04. 効果や効率性に配慮した事務事業の見直し」を選択する割合が、男性は高く、女性は低くなっています。

#### (3) 年齢別の傾向

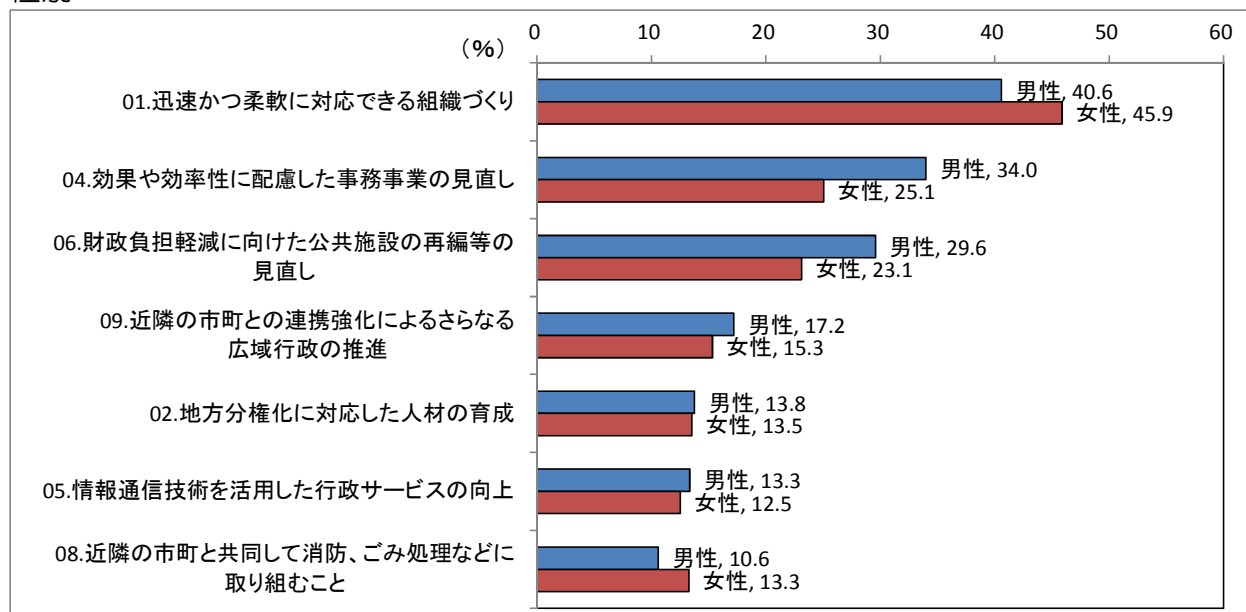
全ての年齢において、「01. 迅速かつ柔軟に対応できる組織づくり」を選択する割合が高く、特に30歳代・40歳代は半数を超えています。また、50歳代・60歳代では「04. 効果や効率性に配慮した事務事業の見直し」と「06. 財政負担軽減に向けた公共施設の再編等の見直し」を選択する割合が他の年齢と比べ、やや高くなっています。

#### (4) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

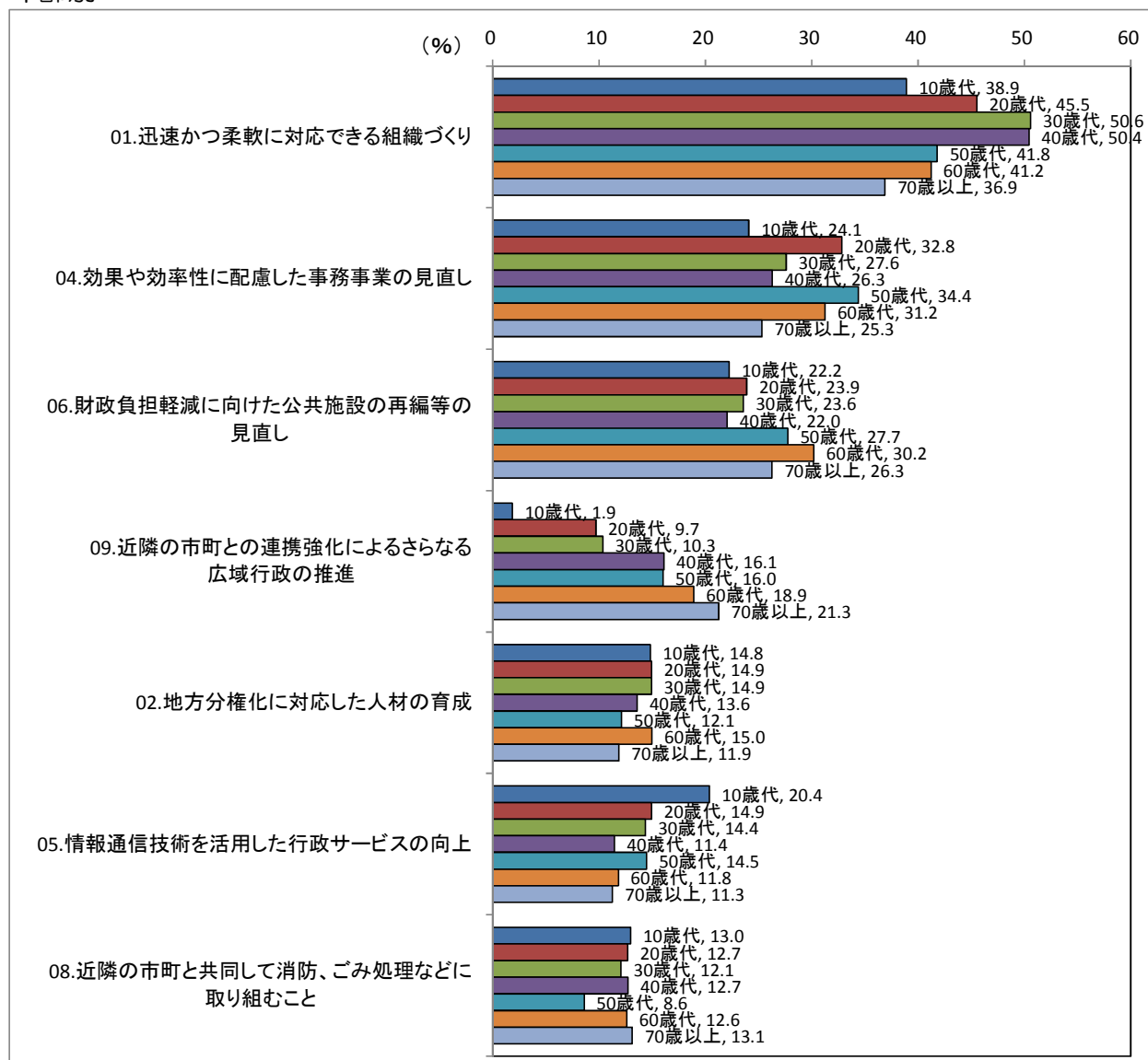
前回の調査に引き続き、1位は「01. 迅速かつ柔軟に対応できる組織づくり」となっていますが、「04. 効果や効率性に配慮した事務事業の見直し」を選択する割合が増え、順位を2位に上げています。



## 性別



## 年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)



## 12) 公共施設の再編

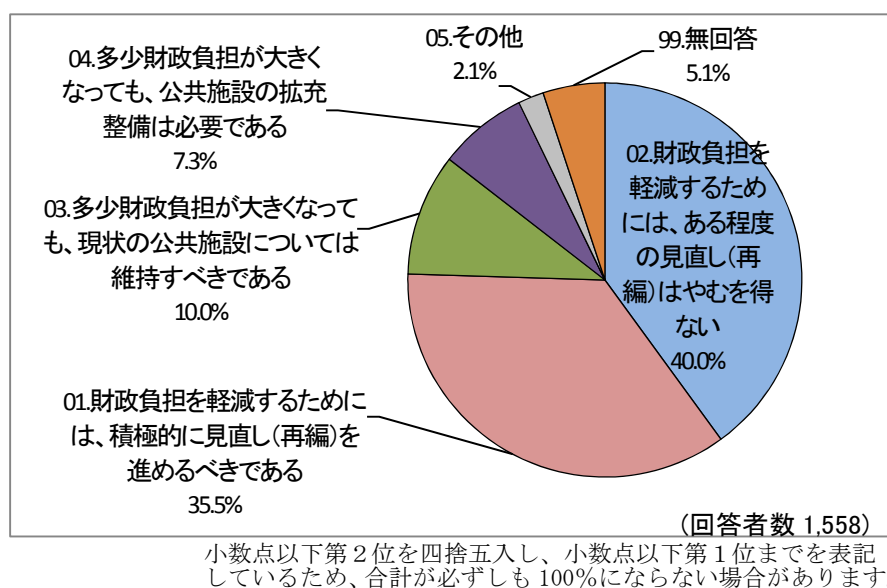
### 一般

問 19：公共施設の見直し（再編）（※）について、あなたの考えに一番近いものは次のうちどれですか。（1つ選択）

（※）ここでいう「公共施設の見直し（再編）」とは、施設運営の民営化の推進、施設数や規模の適正化、施設配置の適正化等を想定。

#### (1) 全体の傾向

公共施設の見直し（再編）については、「02. 財政負担を軽減するためには、ある程度の見直し（再編）はやむを得ない」が最も多く、次いで「01. 財政負担を軽減するためには、積極的に見直し（再編）を進めるべきである」となっており、再編に肯定的な考えを持つ方が 70%を超えています。



#### (2) 年齢別の傾向

20～60 歳代では「01. 財政負担を軽減するためには、積極的に見直し（再編）を進めるべきである」を選択する割合が高く、回答者の 40%以上が選択しています。一方、10 歳代は「04. 多少財政負担が大きくなっても、公共施設の拡充整備は必要である」、70 歳以上は「03. 多少財政負担が大きくなっても、現状の公共施設については維持すべきである」を選択する割合が他の年齢に比べ高く、回答者の 10%以上が選択しています。

#### (3) 居住地区別の傾向

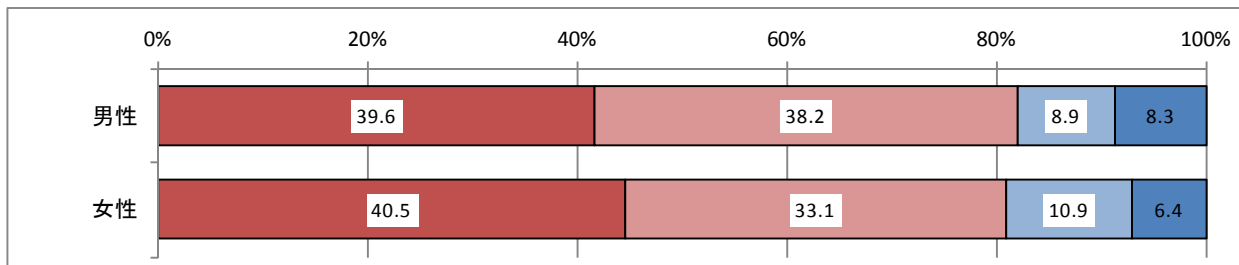
石部は、「02. 財政負担を軽減するためには、ある程度の見直し（再編）はやむを得ない」を選択する割合が他の地区に比べ低く、30%に満たない状況です。菩提寺は、「04. 多少財政負担が大きくなっても、公共施設の拡充整備は必要である」を選択する割合が他の地区に比べ高く、回答者の 10%以上が選択しています。

## 凡例

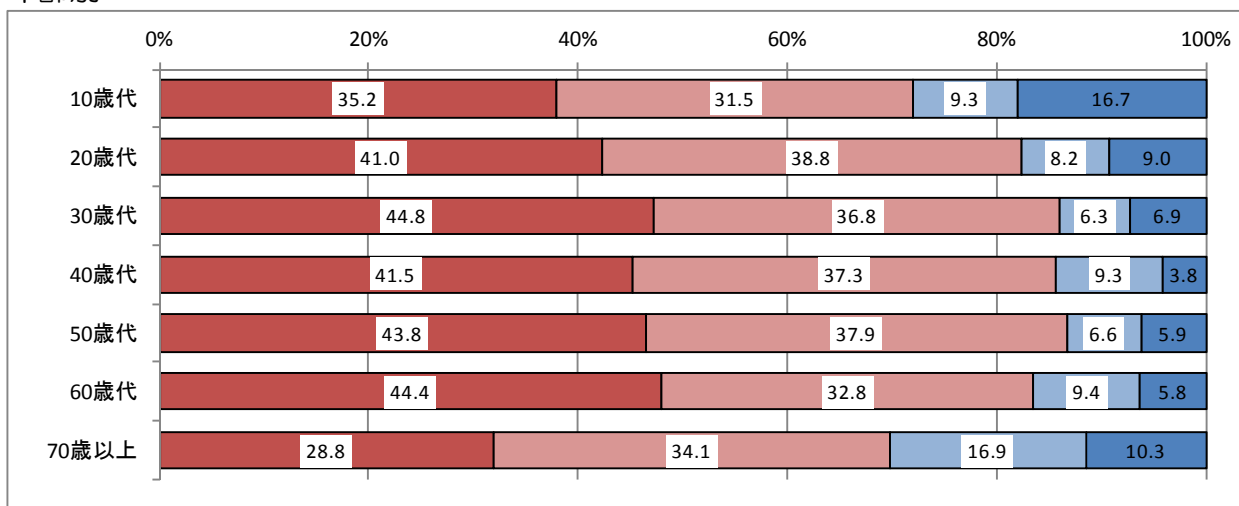
- 01.財政負担を軽減するためには、積極的に見直し(再編)を進めるべきである
- 02.財政負担を軽減するためには、ある程度の見直し(再編)はやむを得ない
- 03.多少財政負担が大きくなっても、現状の公共施設については維持すべきである
- 04.多少財政負担が大きくなっても、公共施設の拡充整備は必要である

小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

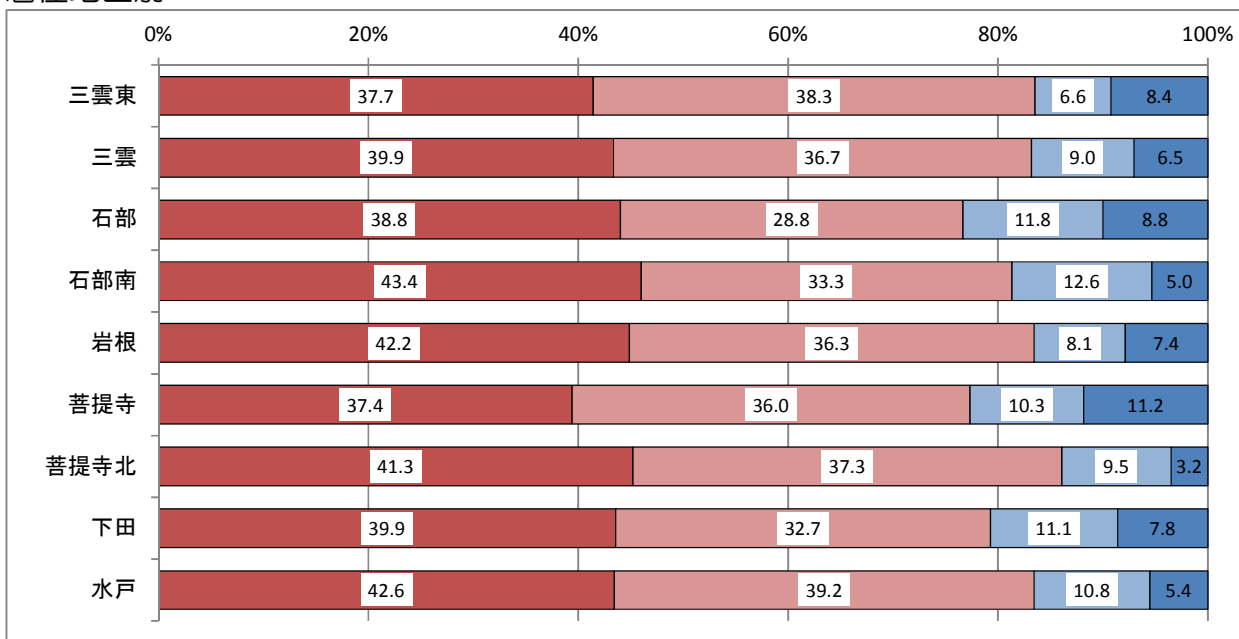
## 性別



## 年齢別



## 居住地区別



## 6. これまでのまちづくり

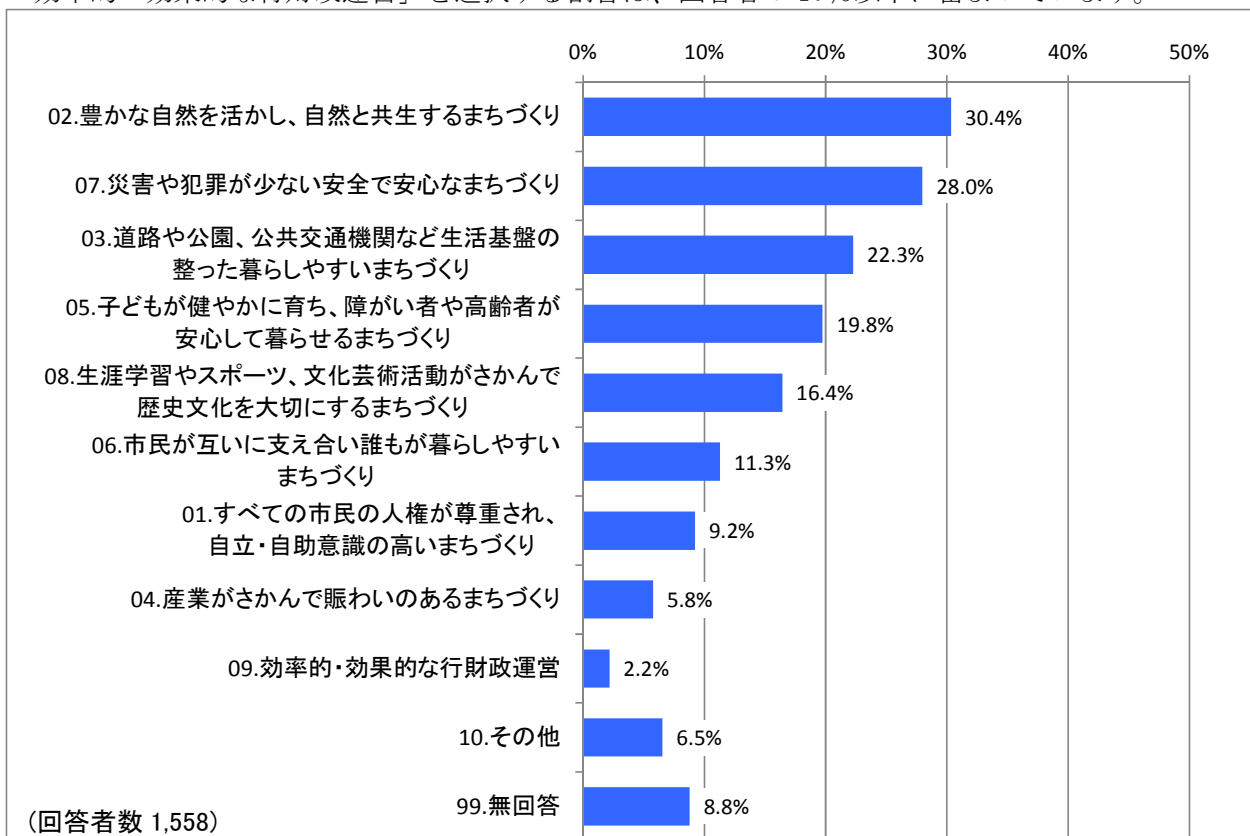
### 1) これまでのまちづくりについて評価できる取り組み

#### 一般

問 20：これまでの湖南省のまちづくりについて、取り組みが評価できると思う事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

#### (1) 全体の傾向

これまでのまちづくりの取り組みについてはやや厳しい評価となっており、回答者の 25%を超えているのは、「02. 豊かな自然を活かし、自然と共生するまちづくり」、「07. 災害や犯罪が少ない安全で安心なまちづくり」の2つのみとなっています。また、「01. すべての市民の人権が尊重され、自立・自助意識の高いまちづくり」、「04. 産業がさかんで賑わいのあるまちづくり」、「09. 効率的・効果的な行財政運営」を選択する割合は、回答者の 10%以下に留まっています。

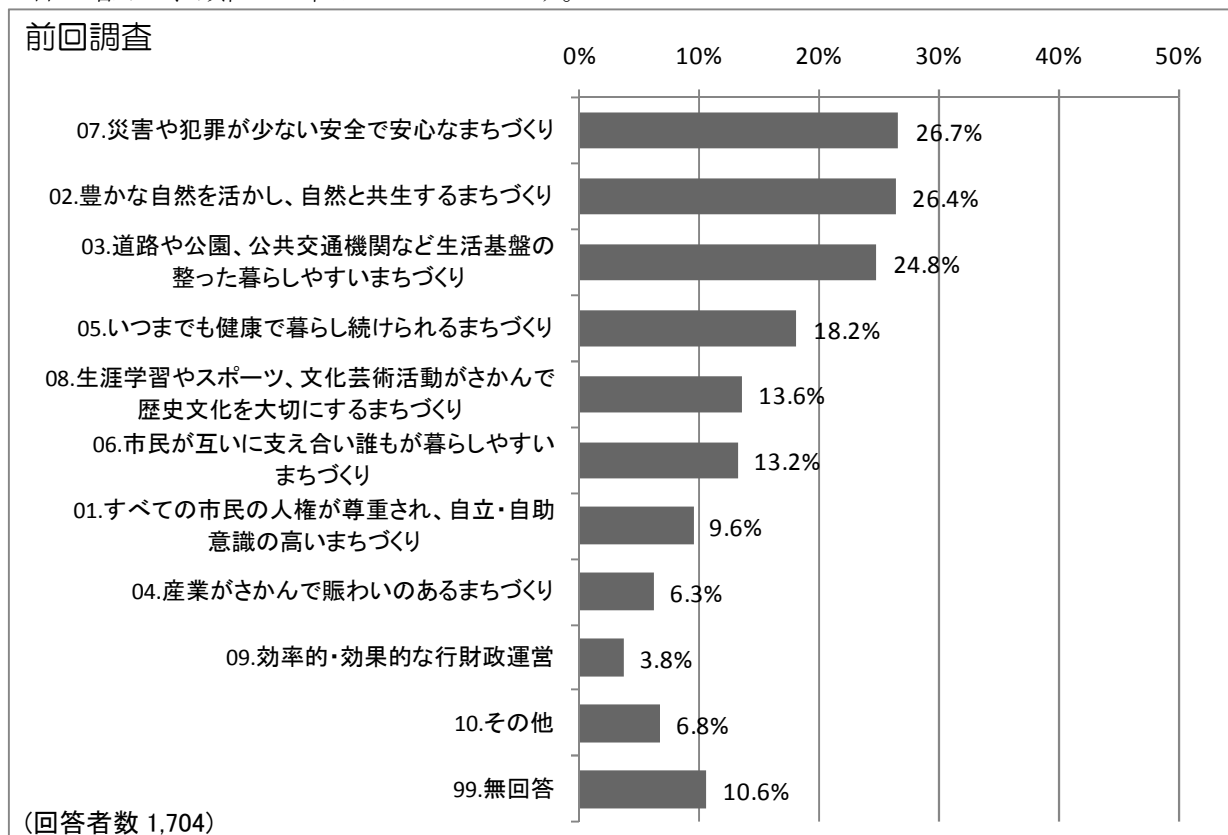


#### (2) 年齢別の傾向

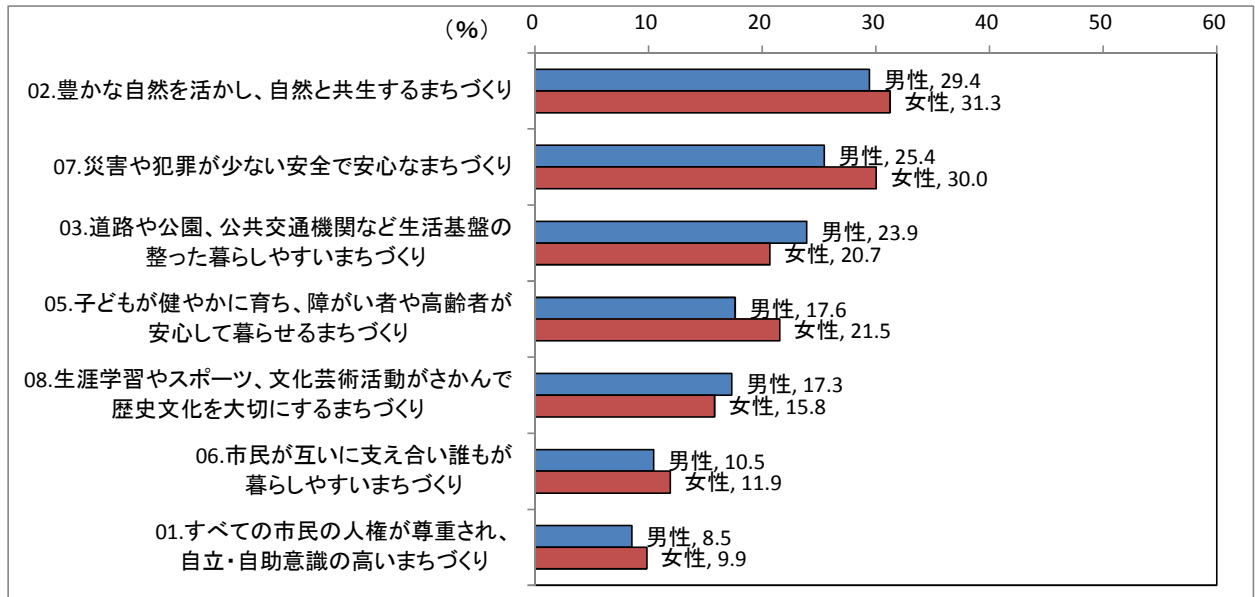
10歳代で「07. 災害や犯罪が少ない安全で安心なまちづくり」を選択する割合が突出して高くなっています。また、20歳代・30歳代では「03. 道路や公園、公共交通機関など生活基盤の整った暮らしやすいまちづくり」を、30歳代・70歳代では「05. 子どもが健やかに育ち、障がい者や高齢者が安心して暮らせるまちづくり」を選択する割合がやや高くなっています。

### (3) 前回調査報告（平成 22 年 4 月）との比較

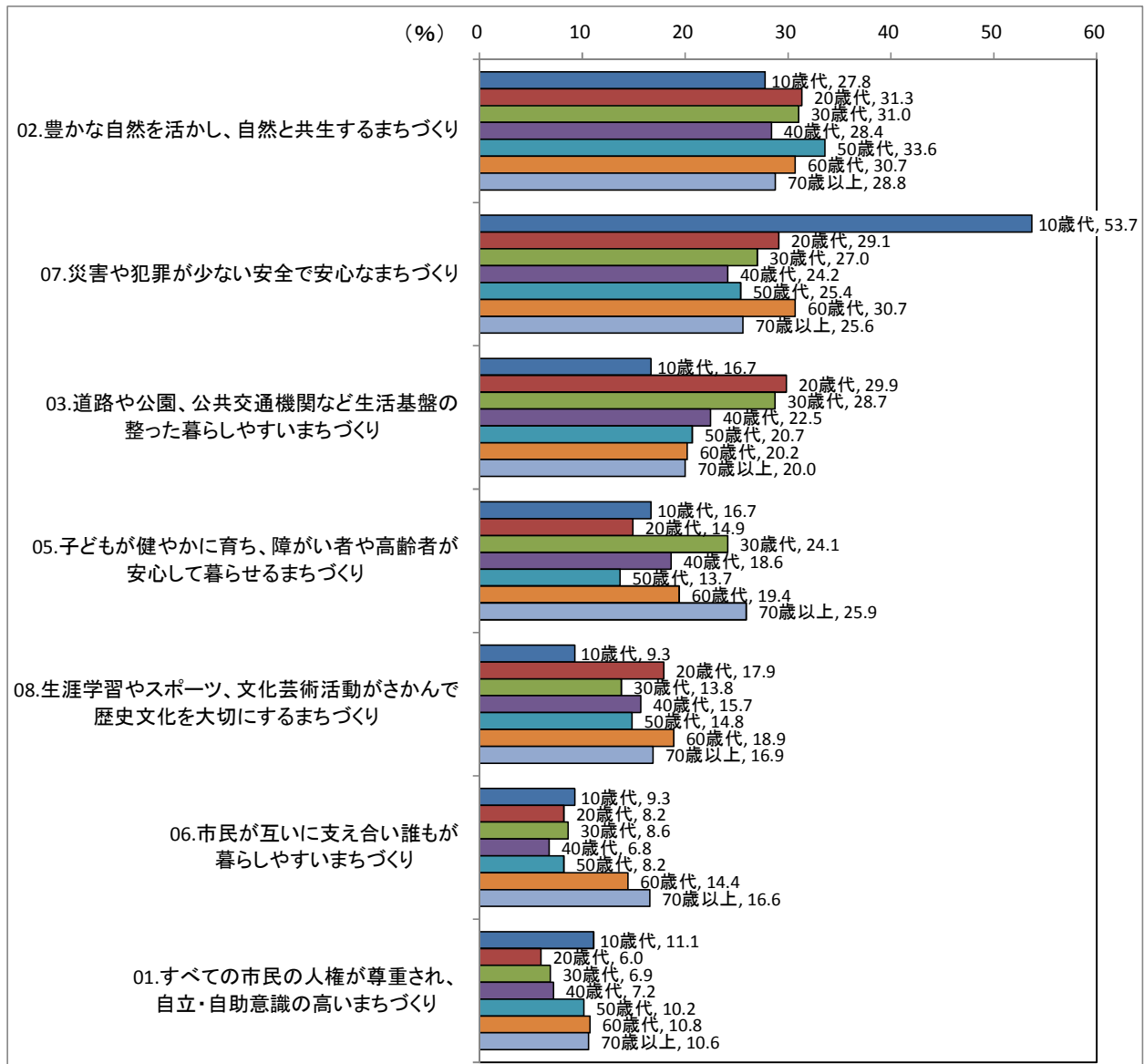
前回の調査と比べると、「02. 豊かな自然を活かし、自然と共生するまちづくり」を選択する割合が増加し、順位が 1 位に上がっています。



## 性別



## 年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

## 7. 湖南省の土地利用について

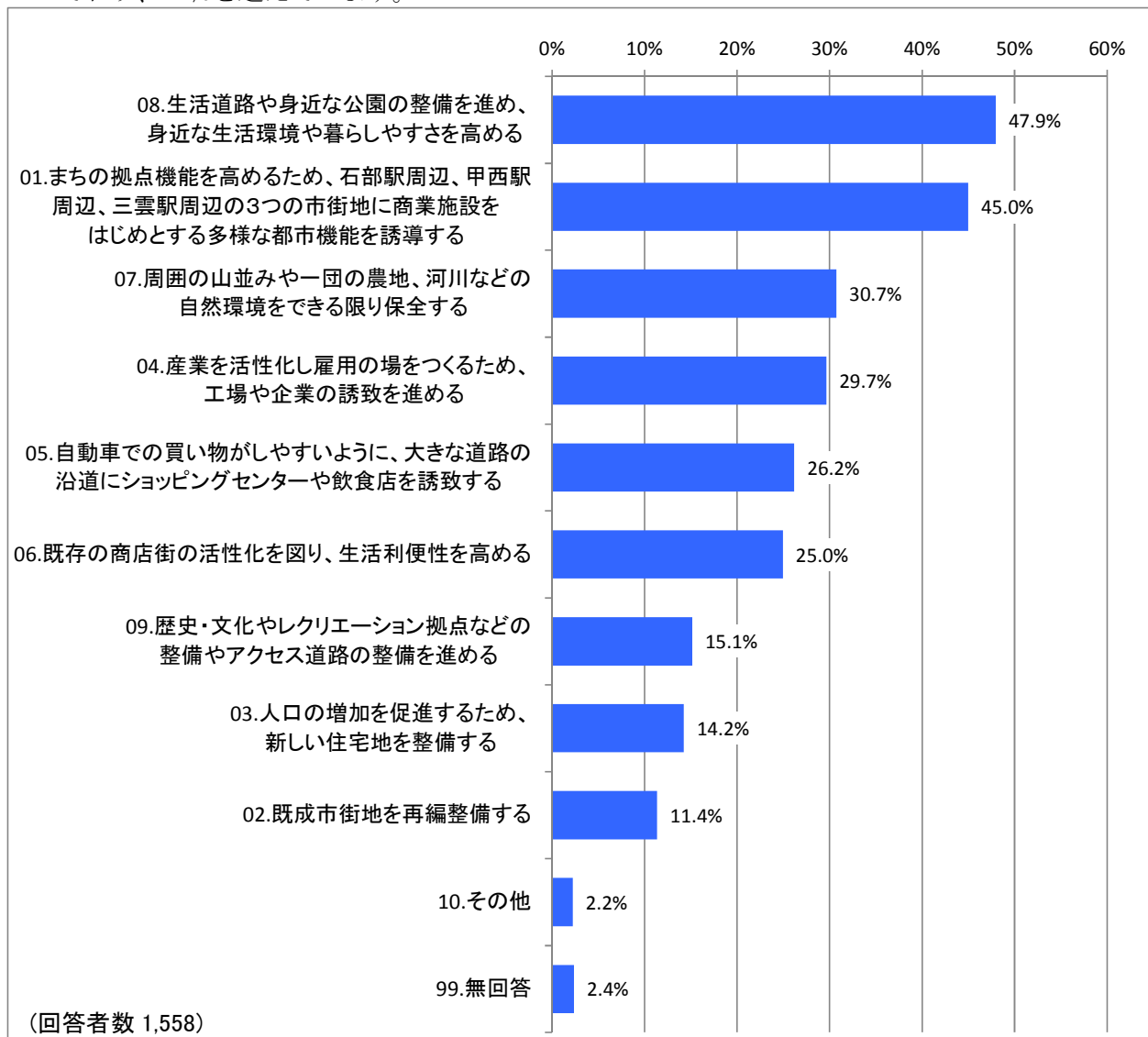
### 1) 土地利用の方針

#### 一般

問 21：まちづくりの基本となる湖南省の土地利用の方針として、今後、どのように進めていくべきだと思いますか。（3つまで選択）

#### (1) 全体の傾向

土地利用の方針については、「08.生活道路や身近な公園の整備を進め、身近な生活環境や暮らしやすさを高める」が最も多く、次いで「01.まちの拠点機能を高めるため、石部駅周辺、甲西駅周辺、三雲駅周辺の3つの市街地に商業施設をはじめとする多様な都市機能を誘導する」の順となっており、40%を超えています。



## (2) 性別の傾向

男性は「04. 産業を活性化し雇用の場をつくるため、工場や企業の誘致を進める」を選択する割合がやや高くなっています。

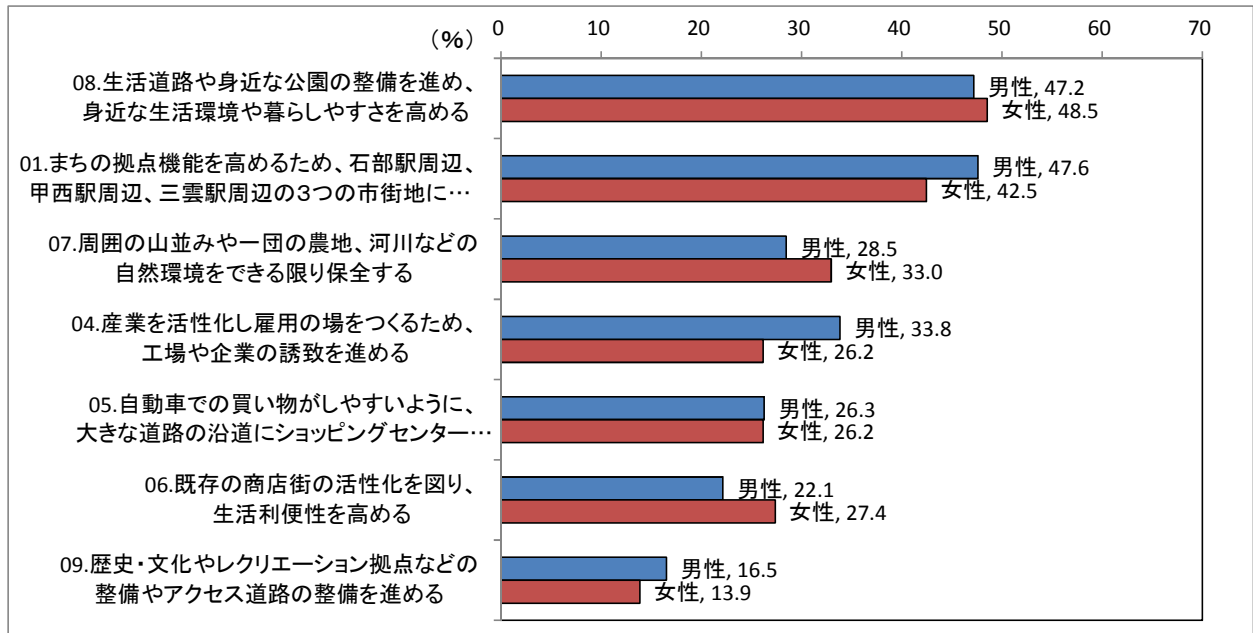
## (3) 年齢別の傾向

10 歳代で「01. まちの拠点機能を高めるため、石部駅周辺、甲西駅周辺、三雲駅周辺の3つの市街地に商業施設をはじめとする多様な都市機能を誘導する」を選択する割合が突出して高くなっています。また、10～30 歳代は「05. 自動車での買い物がしやすいように、大きな道路の沿道にショッピングセンターや飲食店を誘致する」を、70 歳代では「06. 既存の商店街の活性化を図り、生活利便性を高める」を選択する割合がやや高くなっています。

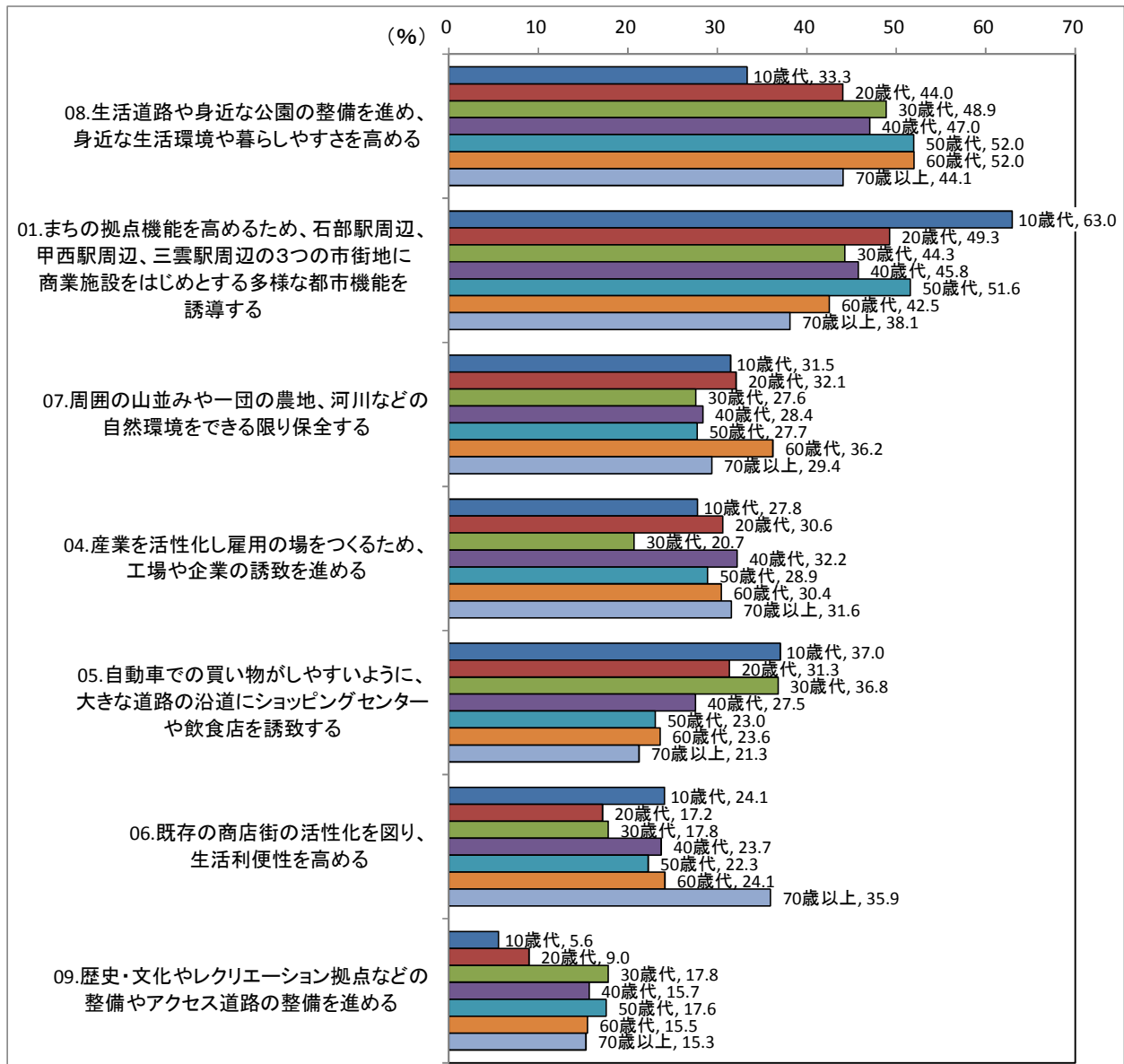
## (4) 居住地区別の傾向

三雲東・石部・石部南は「01. まちの拠点機能を高めるため、石部駅周辺、甲西駅周辺、三雲駅周辺の3つの市街地に商業施設をはじめとする多様な都市機能を誘導する」が最も多く、特に三雲東では回答者の60%以上が選択しています。また、下田では「06. 既存の商店街の活性化を図り、生活利便性を高める」を選択する割合が他の地区より高くなっています。

## 性別

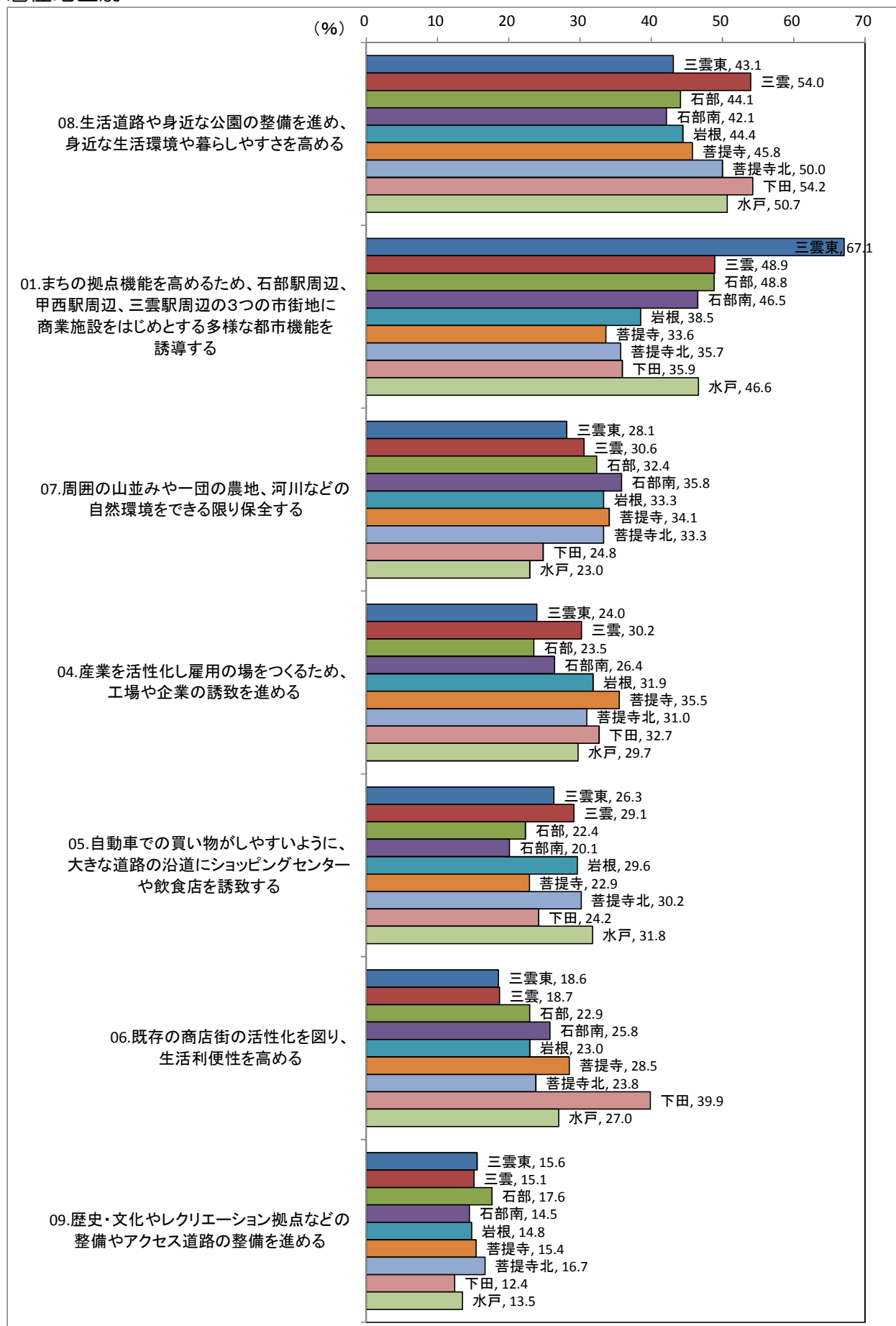


## 年齢別





## 居住地区別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

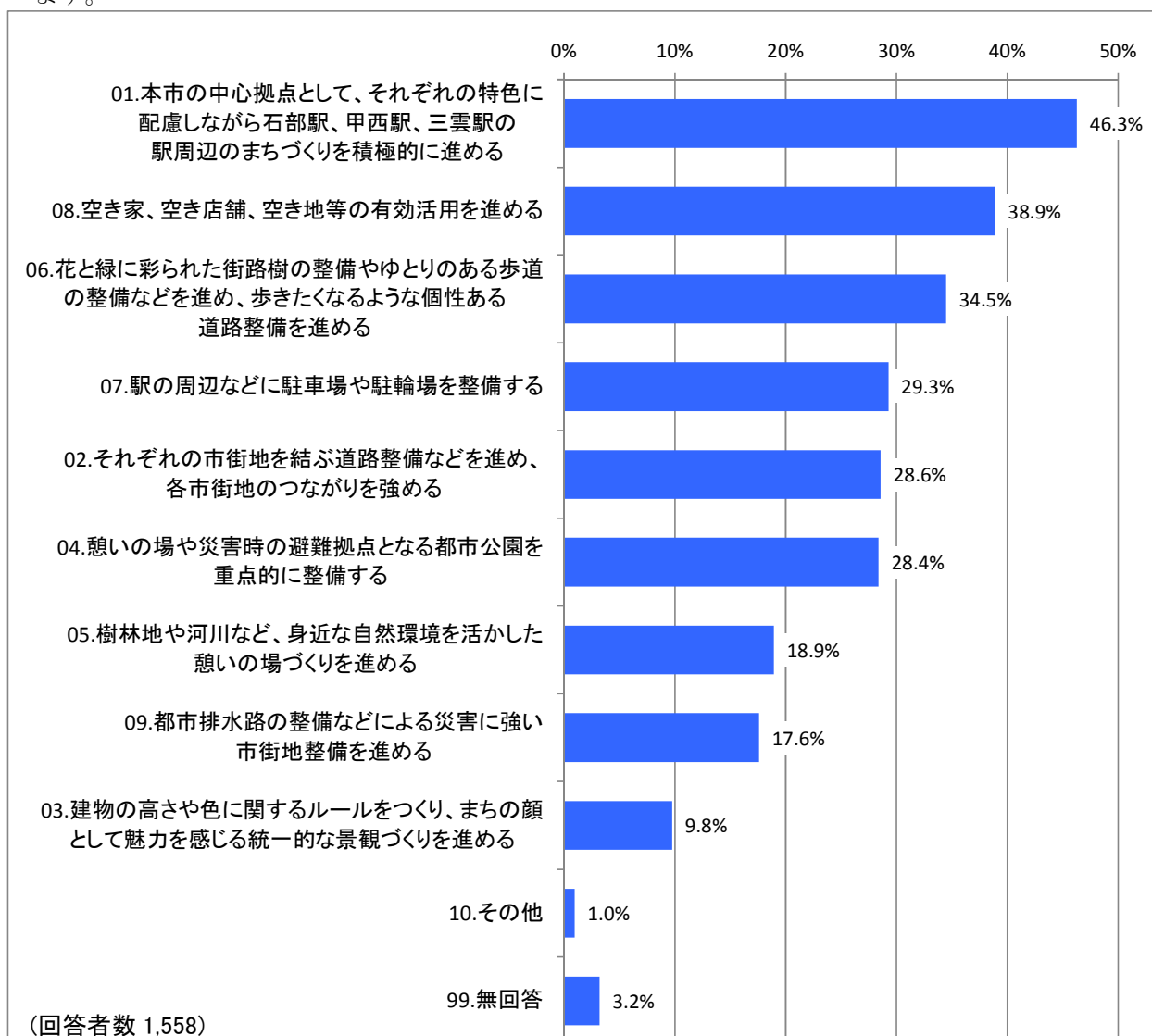
## 2) 拠点となる各市街地の整備のあり方

### 一般

問 22：湖南省の拠点となる各市街地の整備のあり方について、今後、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。（3つまで選択）

#### (1) 全体の傾向

各市街地の整備のあり方については、「01.本市の中心拠点として、それぞれの特色に配慮しながら石部駅、甲西駅、三雲駅の駅周辺のまちづくりを積極的に進める」が最も多く、次いで「08.空き家、空き店舗、空き地等の有効活用を進める」、「06.花と緑に彩られた街路樹の整備やゆとりのある歩道の整備などを進め、歩きたくなるような個性ある道路整備を進める」の順となっています。



## (2) 性別の傾向

男性は「02. それぞれの市街地を結ぶ道路整備などを進め、各市街地のつながりを強める」を選択する割合が高くなっています。

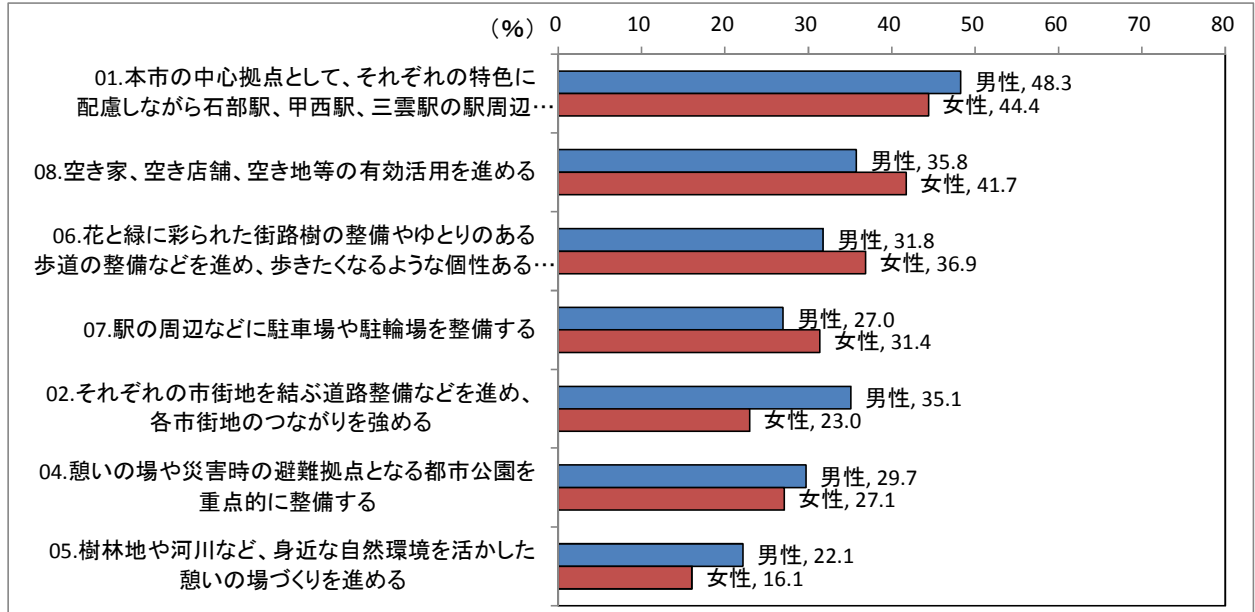
## (3) 年齢別の傾向

30歳代は「08. 空き家、空き店舗、空き地等の有効活用を進める」が最も多くなっています。また、10歳代は「02. それぞれの市街地を結ぶ道路整備などを進め、各市街地のつながりを強める」と「05. 樹林地や河川など、身近な自然環境を活かした憩いの場づくりを進める」を、50歳以上では「06. 花と緑に彩られた街路樹の整備やゆとりのある歩道の整備などを進め、歩きたくなるような個性ある道路整備を進める」を選択する割合がやや高くなっています。

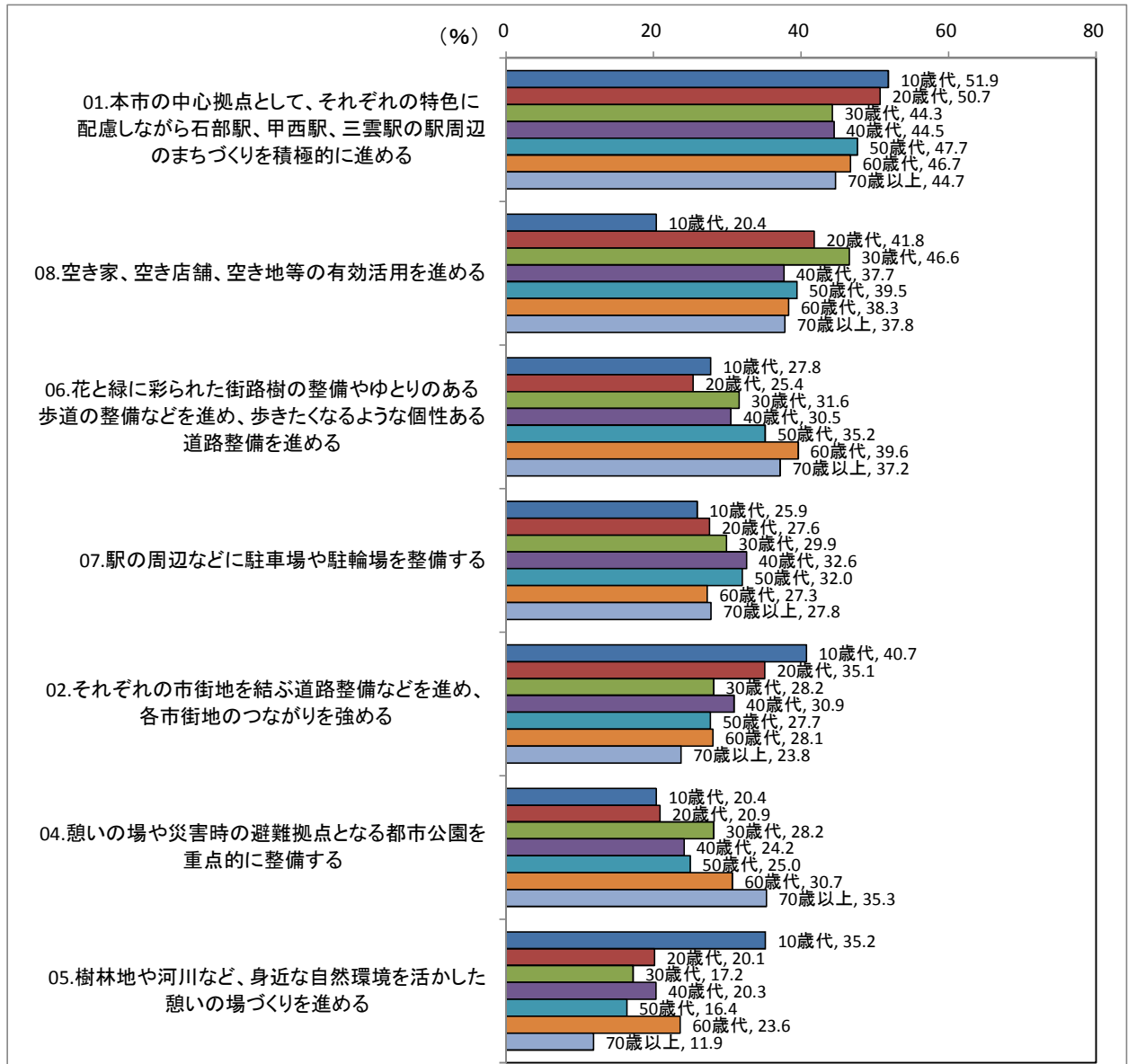
## (4) 居住地区別の傾向

三雲東は「01. 本市の中心拠点として、それぞれの特色に配慮しながら石部駅、甲西駅、三雲駅の駅周辺のまちづくりを積極的に進める」が突出して多く、回答者の70%以上が選択しています。また、岩根・菩提寺・菩提寺北・下田は「08. 空き家、空き店舗、空き地等の有効活用を進める」が最も多くなっています。

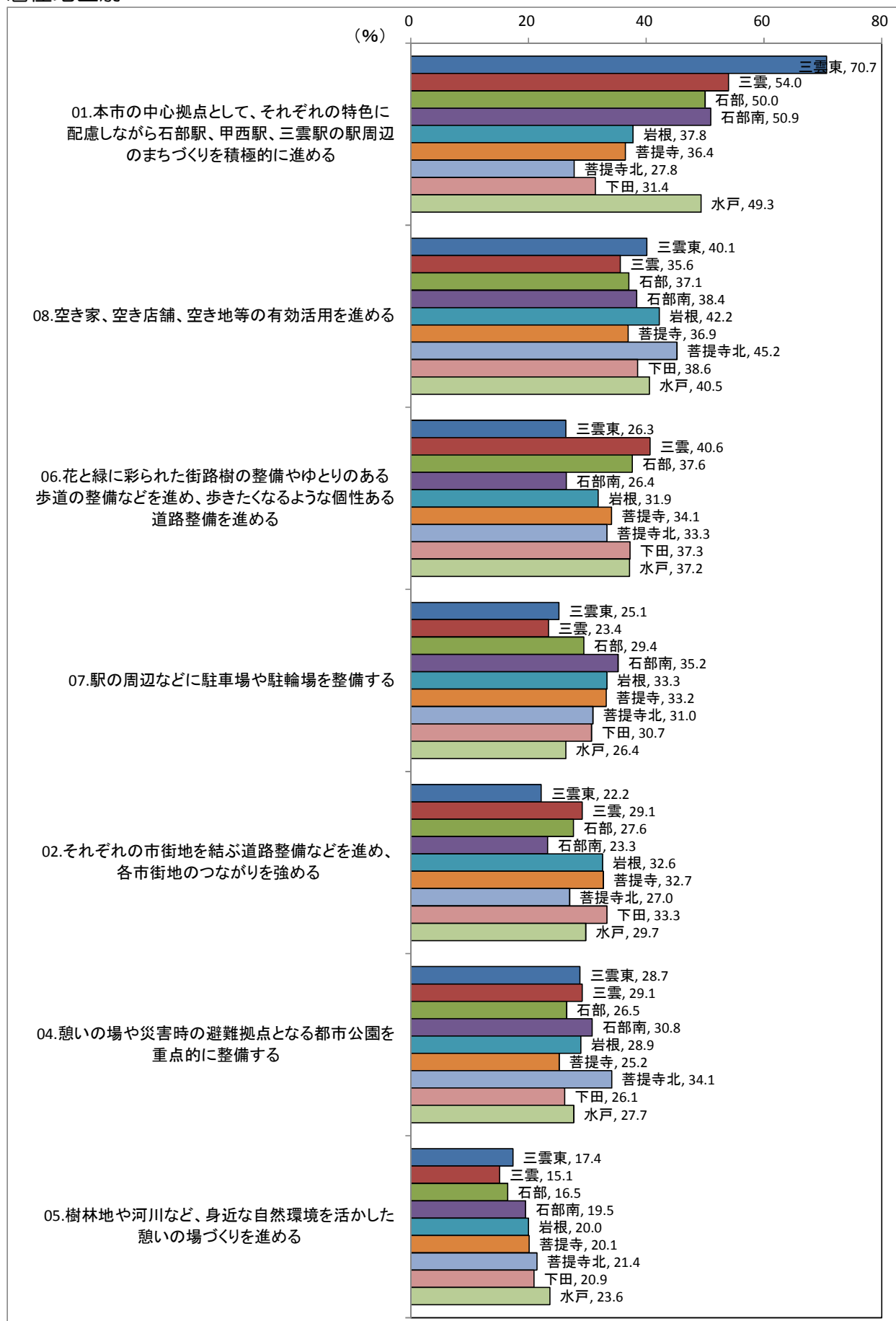
## 性別



## 年齢別



# 居住地区別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

## 8. 自由記述

### 一般

自由記述については、459 人の方から 549 件の意見が得られました。

大分類別にみると、「生活基盤」と「行財政システム」に関する意見が多くなっています。また、小分類別にみると、「公共交通利便性向上、駅舎改善等」が最も多く、「まちづくりの展望の提示」、「行政の効率化（財政健全化、人員削減、事業の見直し・重点配分等）」などが上位となっています。

6つの目標	大分類	小分類	件数
みんなで共に進めるしくみをつくろう	人権尊重 2	人権尊重の推進	2
	自立・自助 26	市民主体、市民と行政との協働によるまちづくり	15
情報公開・広報の充実等		11	
うるおいのあるまちをつくろう	自然との共生 32	自然環境・田園環境の保全（森林・河川、田畑の保全等）	15
		身近な公園・緑地、レクリエーション施設等の整備等	12
		山林、河川等への不法投棄防止、美化・緑化活動	4
		下水道整備	1
活気あるまちをつくろう	生活基盤 163	公共交通利便性向上、駅舎改善等	93
		道路網・河川整備、渋滞の緩和等、道路・排水溝等の維持管理	21
		市街地整備（駅前整備・中心核づくり・土地利用等）	21
		安全に利用できる道路整備（歩道・自転車道の整備・新設等）	18
		住環境の整備・良好な景観形成、空家の問題	9
		墓地の整備	1
	産業 50	商工業振興（大型店舗・工場の誘致、既存商業街の活性化等）	24
		観光振興（観光PR、道の駅整備、ゆらら温泉の充実等）	16
		農林業振興	6
		働く場の確保	4
ほっとする暮らしをつくろう	健康 11	病院整備、緊急医療体制の整備等	10
		健康づくりの推進（情報提供、保健サービスの充実等）	1
	福祉 36	子育て支援・環境充実等	16
		高齢者福祉・介護の充実、福祉施設の整備	14
		地域で支え合う地域福祉の促進	3
		障害者福祉の充実	3
	安心・安全 47	防犯対策（街灯の整備、パトロール充実等）	16
		安全で安心なまちづくり	13
		防災対策（防災行政無線の活用、避難場所の確保等）	8
		市民マナーの低下（ペットの糞、ポイ捨て、車・自転車の運転等）	5
		騒音・振動・異臭等（工場・道路）	3
交通安全施設の整備、交通安全対策		2	

6つの目標	大分類	小分類	件数
いきいきとした暮らしをつくろう	教育・文化 12	生涯学習環境の充実（図書館の充実）、スポーツ・文化振興等	5
		学校教育・施設の充実、青少年の健全育成等	3
		市民交流、ふれあい交流機会、イベントの充実等	2
		歴史文化の保全や継承等	2
明日を拓くしくみをつくろう	行財政システム 125	まちづくりの展望の提示	49
		行政の効率化（財政健全化、人員削減、事業の見直し・重点配分等）	27
		行政サービス向上（対応の充実、西庁舎の運営、施設の活用等）	19
		合併の不满（地域格差、サービス低下、合併後の検証等）	17
		職員の人材育成	6
		税金・公共料金負担減	4
		近隣自治体との連携	3
その他	その他 45	アンケートへの不满	14
		暮らしやすいまちづくり	6
		その他	25
<b>合計</b>			<b>549</b>

## 中学生

自由記述については、377人の方から468件の意見が得られました。

大分類にみると、「産業」に関する意見が141件で最も多く、次いで「教育・文化」に関する意見が多くなっています。また、小分類にみると、「ショッピングセンター、レストラン、本屋など商業店舗の充実」が最も多く、「スポーツ、文化振興、図書館(本や使用方法の充実)等施設の充実」、「鉄道やバス等公共交通利便性向上、駅・バリアフリーの整備等」などが上位となっています。

6つの目標	大分類	小分類	件数
みんなで共に進めるしくみをつくろう	人権尊重 3	いじめや差別のないまち	3
	自立・自助 0		
うるおいのあるまちをつくろう	自然との共生 78	大きい公園、身近な公園、滑り台、釣り場の整備	35
		自然がいっぱいなまち(緑や花の豊富なまち)、緑を増やす活動	15
		ゴミ拾い・雑草除去等の美化活動、ゴミのないまち	14
		自然環境・田園環境の保全(森林・河川、田んぼの保全等)	12
		環境にやさしいまち、風力発電を増やす	2
活気あるまちをつくろう	生活基盤 80	鉄道やバス等公共交通利便性向上、駅・バリアフリーの整備等	44
		安全に利用できる道路整備(道の拡幅、段差解消、街灯の設置等)	36
	産業 141	ショッピングセンター、レストラン、本屋など商業店舗の充実	77
		映画館、ゲームセンター、遊園地など遊ぶ場所の充実	38
		便利なまち、賑やかなまち、活気のあるまち、都会的にしてほしい	18
		建物を建て替える、建物を建てる	6
		湖南市のPR、ゆるキャラをつくる	2
ほっとする暮らしをつくろう	健康 0		
	福祉 13	高齢者や障害者が暮らしやすいまち	9
		子育て支援、助け合い	4
	安心・安全 12	防犯・防災など安全性の高いまち	9
		その他(子どもが安心して暮らせる、安全で安心なまちづくり)	3
いきいきとした暮らしをつくろう	教育・文化 97	スポーツ、文化振興、図書館(本や使用方法の充実)等施設の充実	52
		地域のふれあい交流機会、イベント・まつりの充実等	23
		学校教育、設備の充実、子どもが健全に暮らせるまち	19
		歴史文化の保全や継承	3
明日を拓くしくみをつくろう	行財政システム 8	行政の効率化(財政健全化、無駄の削除等)	4
		税金が高い	4
その他	その他 36	その他	36
<b>合計</b>			<b>468</b>